



Avaya IP Office で 9500 シリーズ電話を使用する

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

通知

本ドキュメントに記載する情報を作成時点で完全かつ正確なものにするために十分な注意を払っておりますが、Avaya はいかなる誤りに対しても責任を一切負いません。Avaya は個人や団体に対し、事前の許可なく本ドキュメントに記載されている情報を変更・修正する権利を保有しています。

本ドキュメントにおける免責事項

「ドキュメント」とは、一般に製品のユーザーに対して提供する製品情報、操作方法、性能規格などを含む情報で、さまざまな媒体で発行されます。ドキュメントに販売用資料は含まれません。Avaya は、ドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対しても、それらが Avaya により、または明確に Avaya の代理として実行されたものでない限り、責任を負いません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責事項

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。また、それらのリンク内で説明、提供された製品、サービス、情報の正確性は、必ずしも Avaya の保証の対象になるものではありません。Avaya は、それらのリンクが常に機能するかどうかは保証できません。また、リンクされたページを利用できるかについても管理は行っていません。

保証

Avaya は、Avaya のハードウェアおよびソフトウェアに対し、限定保証を提供しています。お手持ちの販売契約書を参照して限定保証の条項をご確認ください。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails?detailId=C20091120112456651010>) の「Warranty & Product Lifecycle」リンク内、または Avaya が指定する後継サイトに掲載されています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナーから本製品をご購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではなく、この Avaya チャネルパートナーとなることに注意してください。

「ホステッドサービス」とは、Avaya または正規の Avaya チャネルパートナー（該当する場合）のいずれかから、お客様が入手する Avaya ホステッドサービスサブスクリプションのことを指します。それらについては、該当のホステッドサービスに関するホステッド SAS、またはその他のサービス説明書にて詳しく説明されています。ホストサービスサブスクリプションを購入する場合、お客様には前述の限定保証は適用されない場合がありますが、当該ホストサービスに付随するサポートサービスは、該当ホストサービスのサービス説明ドキュメントの詳述に沿って受けることができます。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー（該当する場合）にお問い合わせください。

ホストサービス

以下はお客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー（該当する場合）よりホステッドサービスサブスクリプションをご購入した場合にのみ適用されます。ホステッドサービス利用規約は Avaya Web サイト [HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenseinfo) の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」（Avaya ホステッドサービス利用規約）または Avaya の指定する後継サイトに記載されており、Avaya ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用する、あるいは他者にアクセスまたは利用を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体（以下、状況に応じて適宜「お客様」および「エンドユーザー」）を代表し、利用規約に同意するものとみなされます。お客様が会社またはその他法人を代表して利用規約に同意した場合、お客様は当該団体を利用規約に従わせる権限を有することを表明したことになります。そのような権限をお持ちでない場合、または利用規約に同意することを希望しない場合、お客様はホステッドサービスにアクセスしたり当該サービスを利用したりすることはできず、他者にホステッドサービスのアクセスまたは利用を許可することもできません。

ライセンス

Avaya の Web サイト (<https://support.avaya.com/LicenseInfo>) の「AVAYA SOFTWARE LICENSE TERMS (Avaya Products)」リンク内、または Avaya が指定する後継サイトに掲載のソフトウェアライセンス条項は、Avaya または Avaya チャネルパートナーとの取

引契約に基づき、Avaya Inc.、Avaya 関連会社または Avaya チャネルパートナー（これらのうちいずれが該当するもの）から購入した Avaya ソフトウェアをダウンロード、使用および/またはインストールしたすべてのユーザーに適用されます。Avaya、Avaya 関連会社、または Avaya チャネルパートナー以外からソフトウェアを入手した場合、他の書面による Avaya との同意がない限り、Avaya はこのライセンスを拡張しません。また Avaya は、ライセンスなしにソフトウェアを使用・販売する人物に対して法的措置を取る権利を保有します。ソフトウェアのインストール、ダウンロード、および使用、または他者にそれらの行為を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体（以下、「お客様」および「エンドユーザー」）を代表し、お客様と Avaya もしくは Avaya 関連会社（以下、「Avaya」）間で使用許諾に合意し、契約が成立するものとします。

ライセンス範囲の詳細が以下に記載されている旧 Nortel ソフトウェアを除き、Avaya は、下記に示すライセンスの種類範囲内でお客様にライセンスを供与します。ライセンスのタイプが注文ドキュメントで明示されない場合、適用可能なライセンスは、該当する場合、後述の「指定システム (DS) ライセンス」セクションで規定される指定システムライセンスと見なされます。ライセンスの適用数およびライセンスが供与される容量単位は 1 とします。ただし、それ以外のライセンス数、または容量単位が該当のドキュメントまたはお客様に提供されるその他の資料に記載されている場合を除きます。「ソフトウェア」とは、スタンドアロン製品かハードウェアへのプレインストール製品かを問わず、Avaya または Avaya チャネルパートナーが提供しているオブジェクトコードのコンピュータプログラム、およびそのアップグレード、アップデート、バグ修正、または修正版を指します。「指定プロセッサ」とは、単一のスタンドアロンのコンピュータデバイスを意味します。「サーバー」とは、複数のユーザーが利用するソフトウェアアプリケーションをホストする（物理的または仮想的な）指定プロセッサを意味します。「インスタンス」とは、(i) 1 台の物理マシンにおいて、または (ii) 1 台のソフトウェア展開済み仮想マシン（「VM」）またはこれに類するデプロイメントにおいて、特定の時間に実行されるソフトウェアの単一のコピーを意味します。

ライセンスタイプ

指定システムライセンス (DS) : エンドユーザーがインストールおよび使用できる本ソフトウェアの各コピーまたはインスタンス件数は 1) 注文書に明示される指定プロセッサ数、または 2) 注文書やドキュメントに明示されるか Avaya によって書面で承認されるソフトウェアのインスタンス数を上限とします。Avaya は、注文書に明記されている指定プロセッサの識別に必要な、種類、シリアル番号、機能キー、インスタンス、場所または他の固有情報の提供をお客様にお願いする場合があります。または、Avaya がこの目的のために指定する電子的手段により、エンドユーザーが前述の情報を Avaya に提供するよう依頼する場合があります。

コンカレントユーザーライセンス (CU) : エンドユーザーは、本ソフトウェアにアクセスし、使用するユニットの数が、いかなる時点においても、注文書もしくはドキュメントに記載された、または Avaya により書面で承認された使用許諾数を超えない限り、本ソフトウェアを複数の指定プロセッサ、または 1 台以上のサーバーにインストールして使用できます。「ユニット」とは、Avaya が単独の裁量でライセンス料設定の基礎とする単位を意味します。なおユニットには、エージェント、ポートもしくはユーザー、個人もしくは職務名義（ウェブマスター、ヘルプデスクなど）の電子メールアドレスもしくはボイスメールアドレス、または本ソフトウェアで使用する管理データベースにおいて特定のユーザーと本ソフトウェアのインターフェイスとなるディレクトリエントリが含まれますが、これらに限定されません。ユニットは、特定の、識別されたサーバーまたは本ソフトウェアのインスタンスにリンクさせることができます。

クラスターライセンス (CL) : エンドユーザーは、注文書もしくはドキュメントに記載された、または Avaya により書面で承認されたクラスター数までに限り、本ソフトウェアの各コピーまたはインスタンスをインストールして使用できます。指定されていない場合は、デフォルトのクラスター数は 1 つです。

エンタープライズライセンス (EN) : エンドユーザーは、注文書もしくはドキュメントに記載された、または Avaya により書面で承認された、企業全体での本ソフトウェアの無制限のインスタンス数の使用に限り、本ソフトウェアの各コピーまたはインスタンスをインストールおよび使用できます。

特定ユーザー数ライセンス (NU) : エンドユーザーは、注文書もしくはドキュメントに記載されているように、または Avaya により書面で承認されたように、(i) 承認された指定ユーザー（以下に定義）1 人につき、単一の指定プロセッサまたはサーバーで本ソフトウェアの各コピーまたはインスタンスをインストールして使用できます。あるいは (ii) 承認された指定ユーザーのみが本ソフトウェアにアクセスして使用する場合に限り、1 台のサーバー上に本ソ

ソフトウェアの各コピーまたはインスタンスをインストールして使用できます。「指定ユーザー」とは、Avaya が本ソフトウェアへアクセスし本ソフトウェアを使用することを明示的に認めたユーザーまたはデバイスを意味します。なお、Avaya の単独の裁量により、「指定ユーザー」は、特定の情報によって指定される場合があります。かかる情報の例として、氏名、職務名（ウェブマスター、ヘルプデスクなど）、個人や職務名の電子メールもしくはボイスメールアカウント名、または特定のユーザーと本ソフトウェアのインターフェイスとなる、本ソフトウェアで使用される管理データベース内のディレクトリエントリ名が挙げられますが、これらに限定されません。

シュリンクラップライセンス (SR) : エンドユーザーは、注文書もしくはドキュメントに記載されているように、または Avaya により書面で承認されたように、本ソフトウェアに付属する、または適用される「シュリンクラップ」または「クリックスルー」ライセンス (以下、「シュリンクラップライセンス」といった使用許諾契約の契約条件に従い、本ソフトウェアをインストールして使用することができません。

トランザクションライセンス (TR) : エンドユーザーは、特定の期間中に指定され、注文書もしくはドキュメントに記載された、または Avaya により書面で承認されたトランザクション数まで本ソフトウェアを使用できます。「トランザクション」とは Avaya が自己の裁量で、ライセンスの価格設定の基礎とするユニットを意味し、本ソフトウェアの使用、アクセス、インタラクション (クライアント/サーバー間もしくはカスタマー/組織間)、または特定の期間内 (例えば、時間ごと、日ごと、月ごと) における本ソフトウェアの操作によって測定されることが可能です。これらに限定されません。トランザクションの例には、それぞれのあいさつの再生/メッセージ待機の有効化、パーソナライズされたプロモーション (任意のチャネル)、コールバック操作、ライブエージェントまたは Web チャットのセッション、通話のルーティングまたはダイレクト (任意のチャネル) が含まれますが、これらに限定されません。エンドユーザーは Avaya の事前の同意と追加料金の支払いなしに、指定されたトランザクション数を超えることはできません。

Heritage Nortel ソフトウェア

「旧 Nortel ソフトウェア」とは、2009 年 12 月の Nortel Enterprise Solutions Business の事業譲渡の一部として Avaya によって取得されたソフトウェアを意味します。現在、旧 Nortel ソフトウェアは、<https://support.avaya.com/LicenseInfo> にある「Heritage Nortel Products」リンクの Heritage Nortel Products リスト内、または Avaya によって指定された後継サイトに記載されているソフトウェアです。旧 Nortel ソフトウェアに関して、Avaya はお客様に対して、本ソフトウェアライセンス条件にもとづき、本ドキュメントに記載された目的のためのみに、かつ埋め込んだ状態でのみ、実行のために、Avaya 機器とのコミュニケーションのために、承認されたアクティベーションまたは承認された使用レベルの範囲で、旧 Nortel ソフトウェアを利用するライセンスを付与します。Heritage Nortel ソフトウェアの料金は、注文書または請求書に記載されるとおり、承認を得たアクティブ化または使用の範囲に基づくこととなります。

著作権

別段に明記される場合を除き、Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホストサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、製品 (コンテンツの選択、配置、デザインを含む) の所有権は Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法や他の知的財産権法 (データベース保護に関する独自の権利を含む) によって保護されています。Avaya による明示的な許可がない限り、内容の全部または一部 (コードやソフトウェアを含む) を、手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明示的な同意なく、これらを複製、転送、配布、保存、使用することは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

仮想化

以下の規定は、製品が仮想マシンに配置される場合に適用されます。各製品には独自の注文コードとライセンスタイプがあります。別段の定めがある場合を除き、製品の各インスタンスについてそれぞれライセンスを取得し、発注する必要があります。たとえば、エンドユーザーまたは Avaya チャネルパートナーが同じ種類の製品のインスタンスを 2 つインストールする場合、その種類の製品を 2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

「サードパーティコンポーネント」とは、ソフトウェアまたはホステッドサービスに含まれる特定のソフトウェアプログラムまたはその一部に、サードパーティ契約にもとじて配布されるソフトウェア (オープンソースソフトウェアを含む) を意味します (以下、

「サードパーティコンポーネント」)。この契約には、ソフトウェアの特定部分についての著作権に関する条項 (以下、「サードパーティ条項」) が含まれています。必要に応じて、配布された Linux OS ソースコード (Linux OS ソースコードを配布した製品関連) に関する情報について、またサードパーティコンポーネントの著作権所有者や適用されるサードパーティ条項の確認情報は、本製品、本書または Avaya の Web サイト (<https://support.avaya.com/Copyright>)、もしくは Avaya によって指定された後継サイトをご覧ください。サードパーティ条項として提供されるオープンソースソフトウェアのライセンス条項は、本ソフトウェアライセンス条項で付与されるライセンス権と整合していますが、オープンソースソフトウェアの変更や配布など、お客様に有利となる他の権利を含む場合があります。サードパーティ条項は、該当するサードパーティコンポーネントに関する限り、本ソフトウェアライセンス条項より優先的に適用されます。ただし、本ソフトウェアライセンス条項が該当するサードパーティ条項よりお客様に厳格な制約を課す場合に限りされます。

次の規定は、H.264 (AVC) コーデックが製品と共に配布される場合のみ適用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること (以下、「AVC ビデオ」)、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C. : [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

サービスプロバイダ

次の規定は、AVAYA チャネルパートナーによる AVAYA 製品またはサービスのホスティングに適用されます。製品またはホストサービスでは、サードパーティコンポーネントを使用する場合がありますが、こうしたコンポーネントにはサードパーティの契約条項が適用され、サービスプロバイダはサードパーティのサプライヤから直接、ライセンスを別途取得する必要があります。AVAYA チャネルパートナーによる AVAYA 製品のホスティングは、AVAYA によって書面で承認される必要があります。ホスト製品にサードパーティのソフトウェア (MICROSOFT のソフトウェアやコーデックに限定されません) を使用しているまたは組み込まれている場合、AVAYA チャネルパートナーは、自己の費用負担により、必要なライセンス契約を該当するサードパーティサプライヤから別途取得する必要があります。

コーデックについて、Avaya のチャネルパートナーが H.264 または H.265 コーデックを使用する製品をホスティングしている場合、当該パートナーは、自己がすべての関連手数料およびロイヤリティに責任を負うことを認識し、同意します。H.264 (AVC) コーデックは、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(I) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること (以下、「AVC ビデオ」)、および/または (II) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。H.264 (AVC) codec および H.265 (HEVC) codec の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

法令遵守

お客様は、Avaya 製品が使用される国または法域で適用される法律および規制 (通話記録、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正、演奏権に関する法律および規制を含みますが、これらに限定されません) を遵守する自己の責任を認識し、これに同意します。

不正利用を防止するために

「不正使用」とは、お客様の電話通信システムへの利用に際して正規の認可を受けていない当事者 (例えば、貴社の従業員、エージェント、下請け業者、または貴社の代理人以外) が通信システムを不正に使用することを意味します。お客様のシステムに関連した不正利用のリスクがあるということ、さらに不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya 通信不正利用防止ライン

米国およびカナダに在住するお客様は、不正利用の被害にあっている疑いを抱き、技術的な支援またはサポートを必要とする場合、Technical Service Center Toll Fraud Intervention Hotline (Tel: +1-800-643-2353) へお電話でご連絡ください。その他のサポート

の電話番号については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

セキュリティ脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーに関する情報は、<https://support.avaya.com/security> の「Security Policies and Support」セクションに記載されています。

Avaya 製品の疑わしいセキュリティ脆弱性は、Avaya 製品セキュリティサポートフロー (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従って処理されます。

商標

本サイトおよび Avaya 提供の文書、ホステッドサービス、製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク（以下、「マーク」）は、Avaya およびその関連会社、ライセンサー、サプライヤ、もしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、Avaya またはマークを所有している可能性があるサードパーティの書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。本サイト、ドキュメント、ホストサービス、および製品には、Avaya または該当するサードパーティの明確な同意なく、マークのライセンスまたは権利を黙示、禁反言などにより付与する内容は一切含まれないものとします。

Avaya は、Avaya Inc. の登録商標です。

Avaya 以外のすべての商標は、それぞれの所有者に所有権があります。

Linux[®] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

第 1 部: ご使用の電話	11
第 1 章: 電話の概要	12
重要な安全情報.....	12
その他のユーザーガイド.....	12
電話スタンド.....	13
第 2 章: 電話キーとディスプレイ	14
電話キー.....	14
通話ソフトキー.....	15
プログラム可能な機能ボタン.....	16
第 3 章: ステータス表示	18
ステータスアイコン.....	18
ステータスを示す文字.....	18
第 4 章: アピアランスボタン	20
コールアピアランスボタン.....	21
回線ブリッジボタン.....	21
コールカバレッジボタン.....	22
回線アピアランスボタン.....	22
第 2 部: 発信と応答	24
第 5 章: 通話の発信	25
電話をかける.....	25
追加の通話発信.....	26
連絡先から発信する.....	26
通話履歴から発信する.....	27
前の番号にリダイヤルする.....	28
リストモードでリダイヤルする.....	28
直前の番号のモードでリダイヤルする.....	28
ページコールの発信.....	29
ビジー通知.....	29
En-Bloc ダイヤル.....	30
En-Bloc モードを使用して番号をダイヤルする.....	30
En-Bloc ダイヤルの有効化/無効化.....	30
自分の番号を非公開にする.....	31
通話の音量を調整する.....	31
呼をミュートにする.....	32
通話の終了.....	32
第 6 章: 通話への応答	33
新規通話に応答する.....	33
別の通話に応答する.....	34
自分のボイスメールに通話を転送する.....	34
アラート中の通話を無音（不応答）にする.....	35
着信通話の切断.....	35

ページコール.....	36
他の通話の表示.....	36
コールピックアップを使用.....	36
コールピックアップ短縮コード.....	37
第 7 章: リダイヤル.....	39
リストモードでリダイヤルする.....	39
前の番号にリダイヤルする.....	40
リダイヤルモードの選択.....	40
第 8 章: 通話の転送.....	41
通話をボイスメールに転送する.....	41
保留呼の転送.....	42
携帯電話に通話を転送する.....	43
第 9 章: 通話の保留.....	44
会議通話を保留する.....	44
通話の保留.....	45
通話の保留解除.....	45
通話の切り替え.....	45
保留呼の転送.....	46
第 10 章: 通話をパークする.....	47
パークの短縮コード.....	47
パーク通話（機能メニュー）.....	48
ステータスメニューを使用して通話のパークを解除する.....	49
パークとページ.....	49
第 11 章: 会議.....	51
会議の開始.....	51
通常通話を会議に切り替える.....	52
保留して他の参加者を追加する.....	52
保留せずに他の参加者を追加する.....	52
会議の詳細を表示する.....	53
参加者の切断／ミュート.....	54
会議通話の保留.....	54
会議を終了する.....	54
状況依存の会議.....	55
会議の短縮コード.....	56
第 3 部: 通話をリダイレクトする.....	57
通話リダイレクトオプション.....	57
第 12 章: 呼の転送.....	59
無条件転送（ステータスメニュー）.....	60
無条件転送（機能メニュー）.....	60
話中転送/無応答転送（機能メニュー）.....	61
無応答転送（ステータスメニュー）.....	62
話中転送（ステータスメニュー）.....	63
通話転送の短縮コード.....	63
第 13 章: 応答不可.....	65
DND のオン/オフ（機能メニュー）.....	65

DND のオフ (ステータスメニュー)	66
応答不可の例外	66
応答不可の短縮コード	67
第 14 章: フォローミー	68
フォローミー転送先 (機能メニュー)	68
フォローミー (ステータスメニュー)	69
現在の番号へフォローミー転送 (機能メニュー)	69
フォローミー (ステータスメニュー)	70
フォローミーの短縮コード	70
第 15 章: ツイニング	72
モバイルツイニングをオンに切り替える	73
ツイニング番号を変更する	73
携帯電話に通話を転送する	74
ツイニングされた通話を回収する	74
モバイルツイニングをオフに切り替える	74
第 4 部: 連絡先と通話ログ	76
第 16 章: コンタクト	77
電話帳検索の仕組み	78
外部連絡先の管理	81
連絡先を表示する	81
電話帳からの発信	82
電話帳を他の機能に使用する	83
新しい連絡先の追加	83
通話履歴から連絡先を追加する	84
連絡先の編集	85
連絡先の削除	85
第 17 章: コールログを使用する	87
不在着信	87
グループ通話の不在着信	87
通話履歴にアクセスする	88
通話履歴から発信する	88
通話の詳細を表示する	89
通話履歴から通話を削除する	90
通話履歴全体を削除する	90
通話履歴の通話を連絡先に追加する	91
第 5 部: ボイスメール	92
第 18 章: ボイスメール	93
メッセージランプ機能	93
ビジュアルボイスメニューにアクセスする	94
ビジュアルボイスを使用したメッセージのチェック	94
メッセージを残す	95
ボイスメール電子メールの使用	96
メールボックスのあいさつを録音する	96
名前の録音	97
ボイスメールコードの変更	98

ボイスメールのオン/オフ切り替え.....	98
通話をボイスメールに転送する.....	99
着信呼をメールボックスに送信する.....	99
ボイスメールの短縮コード.....	99
その他のメールボックスガイド.....	100
第 6 部: その他の機能.....	101
第 19 章: アカウントコード.....	102
強制アカウントコード.....	102
手動アカウントコード入力.....	103
第 20 章: ヘッドセットの操作.....	104
ヘッドセットの使用.....	104
ヘッドセットの発呼者ボリューム.....	105
自動ゲイン制御.....	105
デフォルトハンズフリー音声パス.....	105
第 21 章: ハンズフリースピーカーの操作.....	107
ハンズフリーの使い方.....	107
スピーカー音量.....	108
既定のオーディオパス.....	108
自動ゲイン制御.....	108
第 22 章: ログイン/ログアウト.....	110
ログイン.....	111
別のユーザーの電話にログインする.....	111
「未ログイン」電話でログインする.....	112
未登録の電話でログインする.....	112
ログアウト.....	112
セキュリティ暗証番号の変更.....	113
電話機をロックする.....	114
電話機のロック解除.....	114
自動ロック.....	115
ログイン短縮コード.....	116
第 23 章: グループ.....	117
グループメンバーシップ.....	117
グループメンバーシップのオン/オフの切り替え（ステータスメニュー）.....	118
グループメンバーシップのオン/オフの切り替え（機能メニュー）.....	118
グループサービスステータスとフォールバック.....	119
グループサービスステータスの変更（機能メニュー）.....	120
グループサービスステータスの変更（ステータスメニュー）.....	121
グループのフォールバック転送先を変更する.....	121
短縮コード.....	122
第 7 部: 電話設定.....	123
第 24 章: 着信音制御.....	124
着信音の無効化.....	124
着信ランプ表示.....	124
ガブレッツ着信音.....	125
リング音ボリューム.....	126

ナ化ジドウウウウ.....	126
第 25 章: 表示コントロール	127
ディスプレイの明るさ.....	127
ディスプレイのコントラスト.....	128
1 列/2 列表示.....	128
前回の通話時間表示.....	129
コールタイマー表示.....	129
表示言語.....	130
待機通話の自動表示.....	130
非アクティブタイマー (自動復帰)	131
第 26 章: 音量とサウンド	132
キーのブツ音.....	132
イートン.....	133
リング音ボリューム.....	133
受話器音量.....	133
ヘッドセット音量.....	134
スピーカー音量.....	134
自動ゲイン制御.....	134
デフォルトハンズフリー音声パス.....	135
第 27 章: プログラム可能な機能ボタン	136
プログラム可能ボタンの編集.....	136
プログラム可能なボタンの機能.....	137
短縮ダイヤルボタン.....	138
不在用テキストボタン.....	138
アカウントコードボタン.....	138
自動応答ボタン.....	138
[不在転送] ボタン.....	139
[コールパーク] ボタン.....	139
[他へのコールパーク] ボタン.....	139
[コールピックアップ] ボタン.....	140
[任意のコールピックアップ] ボタン.....	140
ミーティング会議ボタン.....	140
切断ボタン.....	140
フラッシュフックボタン.....	140
グループボタン.....	141
ページボタン.....	141
[パーク保留して呼出] ボタン.....	141
[着信音オフ] ボタン.....	141
[個人管理] ボタン.....	141
[離席] ボタン.....	142
非表示入力発信ボタン.....	142
タイマー.....	142
ツイニングボタン.....	142
ユーザーボタン.....	143
第 8 部: その他	144
第 28 章: 短縮コード	145

第 29 章: システム管理	148
システム情報の確認.....	148
タイムサーバーステータスの確認.....	149
日付の設定.....	149
時刻の設定.....	150
タイムオフセットの設定.....	151
システムを再起動する.....	151
メモリカードの管理.....	153
システムアラームのレポート.....	154
第 30 章: ステータスメニュー	155
応答不可.....	155
ダイヤレト.....	156
フォーミー.....	156
話中転送.....	156
不応答転送.....	157
無条件転送.....	158
転送先.....	158
グループメンバーシップ.....	159
グループステータス.....	159
モバイルツイニングをオフに切り替える.....	160
パーチュウノール.....	160
システムアラーム.....	161
第 31 章: メニュー	162
ステータスメニュー.....	162
機能メニュー.....	162
A Menu.....	163
メニューアクセス制御.....	163
第 32 章: テキスト文字を入力する	165
電話帳検索の文字を入力する.....	165
追加のアクセント付き文字を入力する.....	165
その他の機能で文字を入力する.....	166

第 1 部: ご使用の電話

第 1 章: 電話の概要

このガイドでは、Avaya IP Office 電話システムで 9500 シリーズ電話機を使用する方法について説明します。

9504 および 9508 電話は IP Office システムでのみサポートされています。これは、9400 シリーズの同等機種と物理的にも機能的にも同じですが、他の Avaya 電話システムではサポートされていません。

1. ボタンモジュールをサポートしている電話では、モジュールを追加すると、サポートされるボタンの数を増やすことができます。

関連リンク

[重要な安全情報](#) (12 ページ)

[その他のユーザーガイド](#) (12 ページ)

[電話スタンド](#) (13 ページ)

重要な安全情報

警告

- 本ハンドセットは、金属ピンやステープルなどの小さな金属体に反応することがあります。
- 電力サージ、EFT（電氣的ファストトランジェント）、ESD（静電気放電）中は、通話がドロップする場合があります。電力サージ、EFT、ESD 後に電話機が再起動する場合がありますが、これは正常な動作です。
- 携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Avaya 電話の近くで使用すると、電波障害が生じる場合があります。
- 電話を直接屋外の通信ネットワークに接続しないでください。

関連リンク

[電話の概要](#) (12 ページ)

その他のユーザーガイド

IP Office システムはさまざまな電話をサポートしています。これがお使いの電話のユーザーガイドではないと思われる場合は、次のいずれかのリンクを参照してください。また、ボイスメールガイドやその他のユーザーアプリケーションへのリンクもあります。

電話ユーザーガイド

- [IP Office Analog Phone User Guide](#)
- [IP Office 9500 Series Quick Reference](#)
- [IP Office 9500 Series Phone User Guide](#)
- [IP Office 9600 Series Quick Reference](#)
- [IP Office 9600 Series Phone User Guide](#)
- [IP Office J100 Series Quick Reference](#)
- [IP Office J100 Series Phone User Guide](#)

アプリケーションユーザーガイド

- [Using the IP Office User Portal](#)
- [Using Avaya Workplace Client for IP Office](#)
- [Using one-X Portal for IP Office](#)

メールボックスユーザーガイド

- [Using IP Office Embedded Voicemail IP Office Mode](#)
- [Using IP Office Embedded Voicemail Intuity Mode](#)
- [Using a Voicemail Pro Intuity Mode Mailbox](#)
- [Using a Voicemail Pro IP Office Mode Mailbox](#)

関連リンク

[電話の概要](#) (12 ページ)

電話スタンド

すべての電話には、電話のベースに取り付けるスタンドが含まれます。スタンドを使用すると、2つの異なる角度のいずれでも電話を使用できるようになります。

スタンドの位置を変更するときは、スタンドが選択した位置にロックされているか必ず確認してください。

関連リンク

[電話の概要](#) (12 ページ)

第 2 章: 電話キーとディスプレイ

このセクションでは、電話に表示されるキーとコントロールの概要について説明します。

関連リンク

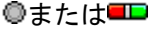
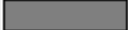
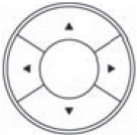
[電話キー](#) (14 ページ)

[通話ソフトキー](#) (15 ページ)










[プログラム可能な機能ボタン](#) (16 ページ)

電話キー

電話には次のキーがあります（キーは電話の特定のモデルによって異なる場合があります）。

キー	名前	説明
	アピアランス または 機能	これらのキーには次の 2 つの役割があります。 <ul style="list-style-type: none">• アピアランスボタン - これらのボタンは、通話の発信と受信に使用します。各ボタンは個別の呼び出しを表します。例えば、会話中の現在接続している通話、保留中の通話、応答待ちの新しい着信呼を表します。「アピアランスボタン (20 ページ)」を参照してください。• 機能ボタン - 他のキーは、プログラム可能機能ボタンとして使用できます。ボタンの横のラベルは、その機能を表します。一部のボタンは、再プログラミング可能です。詳しくは、「プログラム可能な機能ボタン (136 ページ)」を参照してください。
	ソフトキー	ディスプレイの下にあるこのキーは、状況に応じて機能が変化します。キーがアクティブなときは、キー上にテキストラベルがキー上に表示されて機能を示します。「 通話ソフトキー (15 ページ)」を参照してください。
	方向キー	このダイヤルは、一連の方向キーとして機能します。 <ul style="list-style-type: none">• 上/下方向キーを使用して、リストをスクロールできます。• 左/右方向キーを使用して、メニューの別のレベルに進んだり、そのレベルを終了したりすることもできます。サブメニューにアクセスするメニューオプションは、名前後の「...」ドット（省略記号）、または「>」記号で示されます。• 設定を変更する際に、左/右方向キーを使用して利用可能な設定をスクロールできる場合があります。

次のページに続く...

キー	名前	説明
	OK ボタン	方向キーの中央にあるこのボタンには、複数の機能があります。 <ul style="list-style-type: none"> 電話がアイドル状態の場合、オフフックにしてダイヤルする操作と同様に機能します。 通話中またはメニュー操作中の場合、このボタンを押すと、画面下部の左端のソフトキーと同じ機能になります。
	メッセージ	このキーは、ボイスメールシステムにアクセスするときに使用します。デフォルトでは、このキーで電話機のディスプレイに表示される一連のメニューを使用します。「 ボイスメール (93 ページ)」を参照してください。
	PHONE	このキーは、使用中のメニューを終了したり、電話の通常のボタン表示に戻す際に使用します。通話中は、アピアランスメニューに表示されるオプションの切り替えにも使用できます。
	メインメニュー	このキーを使用して、電話機の設定や情報のメニューにアクセスします。これらの設定は、電話システムではなく電話機自体に保存されます。
	連絡先	このキーは、名前と電話番号を含む、利用可能な各種電話帳（個人用と共有）を表示するときに使用します。「 コンタクト (77 ページ)」を参照してください。
	コール ログ	このキーは直近の通話（応答通話、不在着信、発信通話）の記録を表示します。新しい不在着信があると、このボタンが点灯します。「 コールログを使用する (87 ページ)」を参照してください。
- +	量	キーの + (プラス) 側または - (マイナス) 側を押して、音量を調整します。電話機がアイドル状態の場合、このボタンは着信音音量を調整します。話中の場合、このボタンは、その際使用しているハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーの通話音量を調整します。
	イヤホン	このキーは電話機のヘッドセットソケットに接続したヘッドセットを使用して、通話に応答したり通話を終了したりするときに使用します。ヘッドセットを使用して通話に接続すると、このボタンが点灯します。
	ミュート	このキーは、現在の接続完了呼で自分の音声をミュートするときに使用できます。ミュートがアクティブになると、このボタンが点灯します。
	スピーカー	このキーは電話機のハンズフリースピーカーとマイクを使用して、通話に応答したり通話を終了したりするときに使用します。ハンズフリーで通話に接続すると、このボタンが点灯します。

関連リンク

[電話キーとディスプレイ](#) (14 ページ)

通話ソフトキー

ディスプレイの下にあるボタンで実行できる機能は動的に変化します。各ボタンの現在の機能は、ディスプレイ上のラベル（存在する場合）で表示されます。

ソフトキーは現在強調表示されている通話にのみ関連します。必ずしも接続完了呼である必要はありません。

上/下方向キーで現在強調表示されている通話を変更し、接続完了呼を中断することなく、その通話の詳細を表示できます。これにより、他の通話用のソフトキーオプションにアクセスできます。

次に、一般的なソフトキーオプションをいくつか示します。一部のソフトキーオプションは、システム管理者が有効にしている場合にのみ使用できます。

ラベル	機能
[アカウント]	通話に関連付けるためのアカウントコードを入力します。
[応答]	ページコールに応答すると、通常の通話になります。
[CallBack]	電話をかけても応答しなかったユーザーに自動コールバックを設定します。その後にユーザーが通話を終了すると、電話システムから自分宛に通話が入り、それに応答すると、自動的にそのユーザーへ通話を発信します。
[完了]	保留通話の転送を完了します。転送の試行を終了する【キャンセル】オプションも表示されます。
[会議]	現在の通話を保留にして、保留中の発呼者との会議に追加する番号をダイヤルすると、発信音が聞こえます。
[接続]	通話の保留を解除します。
[デフォルト]	番号をダイヤルするのではなく、名前で番号を選択するために電話帳にアクセスします。電話帳で使用できる名前のタイプは、この機能の使用に適したタイプに合わせて調整されます。
[切断]	通話に接続している場合、このオプションで通話を終了します。パーソナルコールがアラート中の場合、このオプションにより、話中転送先番号に通話を送信されるか（設定されている場合）、またはボイスメールに送信されず（有効な場合）。ハントグループ通話アラート中の場合、このオプションにより、通話はグループの次のメンバーに送信されます。
[不応答]	現在アラート中の通話の着信音を無音にします。通話は応答されるか、ボイスメールに転送されるか、または発呼者が通話を放棄するまで、アラートし続けます。
[ピックアップ]	保留通話または別のユーザーをアラートしている通話に応答します。
[リダイヤル]	通話ログに発信通話番号がある場合は、これらの番号のリストが表示されます。
[転送]	現在の通話を保留にして、通話の転送先となる番号をダイヤルすると、発信音が聞こえます。
[ボイスメール]	ボイスメールにアラート中の通話を送信します。

関連リンク

[電話キーとディスプレイ \(14 ページ\)](#)

プログラム可能な機能ボタン

アピランズボタンとして管理者から割り当てられていないこれらのプログラム可能ボタンは、他の一連の機能用として使用できます。これらの機能は、ユーザーまたはシステム管理者により、プログラム制御できます。

- 管理者は、ユーザーが変更できるボタンを制限できます。

- このガイドでは、電話独自のメニューで割り当て可能な機能のみについて説明します。管理者は、より広範なボタン機能にアクセスできます。
- ボタンランプの使用方法は、ボタンに関連付けられた機能によって異なります。
- 電話でサポートされていない機能がプログラムされたボタンは、[無効] と表示されます。

詳細については、[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ) を参照してください。

関連リンク

[電話キーとディスプレイ](#) (14 ページ)

第 3 章: ステータス表示

電話のディスプレイ上部の行に、ユーザーと電話に関する情報が表示されます。例：

- 一番上の行に、日付と時間に加えて、さまざまなステータスアイコンが表示されます。
- 次の行に、現在選択されている（白い輪郭の）ボタンの通話／機能に関する情報が表示されます。ただし、ボタンがアイドル／プログラム制御なしの場合は、ユーザー自身の内線番号／名前が表示されます。また、右側にさまざまなステータス文字を表示することもできます。




関連リンク

- [ステータスアイコン](#) (18 ページ)
- [ステータスを示す文字](#) (18 ページ)

ステータスアイコン

ステータスアイコン

画面上部の行には、次のアイコンが表示されます。


-  ミュート状態 - このアイコンは、現在の通話への接続がミュートされていることを示します。ユーザーには発呼者の声が聞こえますが、発呼者にはユーザーの声が聞こえません。
-  着信音オフ - このアイコンは、電話の着信音がオフであることを示します。「[\[着信音オフ\] ボタン](#) (141 ページ)」を参照してください。
-  不在着信 - このアイコンは、不在着信があったことを示します。アイコンの横の数字は、発呼者の数（重複を除く）です。ボタンを押すと、不在着信表示で通話ログが開きます。「[不在着信](#) (87 ページ)」を参照してください。

関連リンク

- [ステータス表示](#) (18 ページ)

ステータスを示す文字

ディスプレイ上部の行には、次のステータス文字が表示されます。これらの文字は、次のような文字のグループとして表示されます。[OG] または [NG] 。

	説明
B	禁止 - システム管理者によって、外部通話が禁じられています。内部通話のみを発信できます。
D	通話の転送 - 無条件転送が有効になっています。「 呼の転送 (59 ページ)」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 9621 および 9641 電話では、[無条件転送] または [応答不可] を有効にしていると、代わりに  アイコンが表示されます。
G	グループ内 - ハントグループのメンバーとして設定されており、グループのメンバーシップが有効になっています。つまり、ユーザーはハントグループ宛の通話を受信することがあります。「 グループメンバーシップ (117 ページ)」を参照してください。
O	サービス中止 - ユーザーがメンバーになっているグループが、夜間サービスモードになっています。そのグループ宛の通話はフォールバック（設定されている場合）さもなければボイスメール（使用可能な場合）に転送されます。「 グループサービスステータスとフォールバック (119 ページ)」を参照してください。
S	システムアラーム - ユーザーがシステム管理者として設定されている場合、システムアラームを示します。「 システムアラームのレポート (154 ページ)」を参照してください。
T	ツイニング済み - 電話は内部で別の内線番号にツイニングされています。ユーザー宛の通話は両方の電話で呼び出され、いずれかで応答できます。「 ツイニングボタン (142 ページ)」を参照してください。
!	設定を取得できません - これは電話がすべてのユーザー設定を取得できなかったことを示します。この場合、一部の電話機能が制限されることがあります。システム管理者にお問い合わせください。

関連リンク

[ステータス表示](#) (18 ページ)

第 4 章: アピアランスボタン

アピアランスボタンは、電話システムのユーザーや他のユーザーが発信したり受信したりする通話の配信に使用されます。これらは、システム管理者が設定します。

通常は、最初の 3 つのボタンがコールアピアランスボタンですが、管理者は必要に応じて、追加のアピアランスボタンを設定できます。

アピアランスボタンとしてプログラム制御されていないボタンは、機能ボタンとしてプログラム制御できます。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

アピアランスボタンには、次のいくつかのタイプがあります。

- **コールアピアランスボタン** - 一般的な通話の発信と応答に使用されます。
- **ブリッジアピアランスボタン** - このタイプのボタンでは、別のユーザーのコールアピアランスボタンをミラーリングして、仕事仲間の通話の発信と応答ができるようにします。
- **コールカバレッジボタン** - 仕事仲間が通話に応答しなかった場合に、その通話に応答します。
- **回線アピアランスボタン** - 特定の電話回線で、外線呼の発信と応答を行います。

現在選択されているアピアランスボタンと、オフフックにしたとき（ハンドセットを持ち上げたときなど）に使用されるアピアランスボタンは、2 つのシステム設定（通常はデフォルトでオン）により制御されます。それらの設定は、次のとおりです。

- **アイドル回線設定** - アイドル回線設定では、通話が接続されていないときに、最初の使用可能なコールアピアランスまたは回線アピアランスボタンが、現在の選択ボタンとして自動的に選択されます。つまり、オフフックする際に、そのアピアランスボタンが使用されます。上記に該当しない場合は、オフフックして発信する前に、アピアランスボタンを選択する必要があります。
- **呼び出し回線設定** - 通話の未接続時に着信呼を受信すると、呼び出し回線設定によりアラート中のアピアランスボタンが自動的にユーザーが選択したアピアランスボタンになります。つまり、単にハンドセットを持ち上げたり、[ヘッドセット] または [スピーカー] ボタンを押したりすることで、通話に応答できます。呼び出し回線設定を行わずに、アラート中のアピアランスボタンで通話に応答するには、最初にそのアピアランスボタンを押してボタンを選択する必要があります。

関連リンク

[コールアピアランスボタン](#) (21 ページ)

[回線ブリッジボタン](#) (21 ページ)

[コールカバレッジボタン](#) (22 ページ)

[回線アピアランスボタン](#) (22 ページ)











コールアピランスボタン

コールアピランスボタンは、ご利用の電話で受発信する通話の表示に使用します。複数のコールアピランスボタンがあれば、複数の通話への応答や発信、通話の切り替え、その他アクションの実行などを行うことができます。

すべてのコールアピランスボタンが使用中の場合、ご利用の番号でさらに通話を着信すると、[話中転送]（設定されている場合）が実行されます。それ以外の場合は、通話はボイスメール（使用可能な場合）に転送されます。

デフォルトでは、**a=**、**b=** などのように表示されます。この表示は、必要に応じて他のラベルに置き換えることができます。

ユーザーが通話に接続していない場合は、選択済みとして表示されているボタンは、ユーザーがアピランスボタンを押さずにオフフックにする際に使用されるボタンです。ユーザーが通話に接続している場合は、選択済みのボタンがその通話のボタンになります。

LED	赤 緑	名前	説明
	オフ オフ	アイドル	コールアピランスは未使用で、現在選択されていません。
	オン オフ	アイドル + 選択済み	上記と同様ですが、この現在選択されているボタンが、ユーザーがオフフックにする場合に使用されます。
	オフ 点滅	アラート中	着信呼のアラート中であり、着信音が伴います。すでに通話中の場合、着信音は 1 回のみ鳴ります。
	オン 点滅	アラート中 + 選択済み	上記と同様ですが、この現在選択されているボタンが、ユーザーがオフフックにする場合に応答するボタンになります。
	オン オン	ここで使用中	現在、通話に接続しているか、ダイヤルしています。
	オフ オン	他の場所で使用中	コールアピランスボタンは、ブリッジアピランスで使用できます。
	オフ 高速点滅	ここで保留中	通話を保留にしています。
	両方が高速点滅	転送ペンディング保留	
	オフ 断続的 点滅	他の場所で保留中	コールアピランスに対応するブリッジアピランスボタンの通話が、保留にされています。
	オフ 変則的 点滅	無効	機能のプログラム制御が、ボタンに割り当てられていません。

関連リンク

[アピランスボタン](#) (20 ページ)

回線ブリッジボタン

回線ブリッジボタンは、別ユーザーのコールアピランスボタンのうち、いずれか 1 つの状態を示します。このボタンを使用して、その別ユーザーのコールアピランスボタンにかかった通話に応答したり、その通話に参加したりすることができます。

また、これを使用して通話を発信すると、コールアピアランスのユーザーがその通話に参加したり、通話の保留を解除したりすることもできます。

- 別のユーザーのコールアピアランスボタンがアラートするときは、対応するご利用の回線ブリッジボタンもアラートします。回線ブリッジボタンを使用すると、コールアピアランスボタンのユーザーに代わって、その通話に応答できます。
- コールアピアランスボタンのユーザーが、そのコールアピアランスを使用して通話に応答したり、通話を発信したりすると、それに対応するご利用の回線ブリッジボタンには、その通話のステータス（例えば、接続完了、保留など）が表示されます。回線ブリッジボタンを使用すると、通話が保留になっている場合は通話の保留を解除、また通話がアクティブな場合はその通話に参加することができます。
- 回線ブリッジボタンは、ネットワーク上の異なるシステムにいるユーザー間ではサポートされません。

関連リンク

[アピアランスボタン](#) (20 ページ)

コールカバレッジボタン

各コールカバレッジボタンは、電話システム上にいる別のユーザーに関連付けられています。そのユーザーに不在着信があり、まだ呼び出し中の場合は、このボタンを使用して自分にアラートさせることができます。

通話の詳細を表示して、必要に応じてその通話に応答できます。

カバレッジ対象ユーザーに関連付けたご利用のコールカバレッジボタンでアラートを開始する前に、通話はそのユーザーの電話で呼び出される時間は、ユーザーの設定によって制御されません。

コールカバレッジアピアランスは、ネットワーク上の異なるシステムにいるユーザー間ではサポートされていません。

関連リンク

[アピアランスボタン](#) (20 ページ)

回線アピアランスボタン

回線アピアランスボタンを使って、電話システムに接続した特定の電話回線で通話の発信や受信ができます。また、このボタンにより、別のユーザーが回線を使用しているときも確認できます。

着信呼の場合は、電話システムが通話の送信先を決定します。送信先はユーザーにもグループにもなります。ただし、回線に回線アピアランスボタンがある場合は、アラート中の通話があることを確認できるため、必要に応じてその通話に応答できます。

- **プライベート番号** - 回線アピアランスボタンのある回線でシステムのデフォルトの宛先になっている場合、特殊な動作が適用されます。その場合、着信通話は他のボタンではな

く、回線アピアランスボタンでのみ呼び出しが行われます。また、これらの通話では、いかなる転送もフォローされません。

関連リンク

[アピアランスボタン](#) (20 ページ)

第 2 部: 発信と応答

第 5 章: 通話の発信

この電話には、通話の発信方法がいくつかあります。

最も簡単な方法は、必要な番号をダイヤルする方法です。応答があったら、必要に応じてハンズフリーを続行するか、ハンドセットを持ち上げます。

関連リンク

- [電話をかける](#) (25 ページ)
- [追加の通話発信](#) (26 ページ)
- [連絡先から発信する](#) (26 ページ)
- [通話履歴から発信する](#) (27 ページ)
- [前の番号にリダイヤルする](#) (28 ページ)
- [ページコールの発信](#) (29 ページ)
- [ビジー通知](#) (29 ページ)
- [En-Bloc ダイヤル](#) (30 ページ)
- [自分の番号を非公開にする](#) (31 ページ)
- [通話の音量を調整する](#) (31 ページ)
- [呼をミュートにする](#) (32 ページ)
- [通話の終了](#) (32 ページ)

電話をかける

まだ通話中でない場合は、番号をダイヤルするだけです。

手順

通話が接続されていない状態で、ダイヤルを開始します。

- 最初に利用できるアピアランスボタンが、自動的に通話用に選択されます。
- 通話では、電話のデフォルトのハンズフリー音声設定に応じて、スピーカーまたはヘッドセットが使用されます。ハンドセットに切り替えるには、ハンドセットを持ち上げるだけです。
- ダイヤルした番号が電話システムのユーザーまたはグループに一致すると、電話帳の名前が表示され、その通話先へのアラートが開始されます。番号が一致しない場合は、必要な桁数が入力されると、電話が外部の電話回線に接続されます。
- 内部ユーザー宛の通話で応答がない場合、[CallBack] を押してから [切断] を押して通話を終了すると、コールバックを設定できます。コールバックを設定すると、ユーザーが次回電話を使用するときや現在の通話を終了するとき、システムから呼び出しがかかります。それに応答すると、システムが自動的にそのユーザーへ別の通話を発信します。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

追加の通話発信

すでに通話中の場合でも、別の通話を発信したり、別の通話に応答したりできます。

手順

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - アイドルのコールアピランスキーを押します。例：b=。
 - [保留] ソフトキーを押します。
2. 既存の通話は自動的に保留になり、緑色のランプが高速で点滅します。
3. 通常の方法で、追加の通話を発信します。
4. 追加の通話が接続されたら：
 - アピランスボタンを押すと、各通話を切り替えることができます。
 - [会議] を押してこれらの通話から会議を作成します。

関連リンク


[通話の発信](#) (25 ページ)


連絡先から発信する

電話帳の連絡先を使用して電話をかけることができます。

- また、電話帳を使用すると、機能のメニューに [デソツョウ] ソフトキーが表示されているときであれば、いつでも連絡先を選択できます。その場合は、その機能でサポートされている連絡先のタイプのみが自動的に表示されます。

手順

1. 連絡先電話帳へのアクセスは、次の手順に従います。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するディレクトリエントリのタイプを選択します。
 - [すべて] - すべての電話帳エントリ。
 - [個人用] - ユーザーが所有する個人用電話帳エントリ。
 - [外部] - すべてのユーザーが使用する、テレフォニーシステムに保存された電話帳エントリ。
 - [ユーザー] - 電話システム上にある他のユーザーの名前と番号。

- [グループ] - 電話システム上にあるハントグループの名前と番号。
- a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、次の操作で、検索する名前をダイヤルし始め、一致したエントリのみを表示することもできます。
 - キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が入力されます。別のキーを押すと、そのボタンの文字が、直前に押したキーの文字に追加されます。
 - 例えば、**527** とダイヤルすると、**JAS** で始まるすべての名前（「Jason」などと、**KAR** で始まるすべての名前（「Karl」など）に加えて、これらの3つのキータッチによる他の文字の組み合わせで始まる名前が特定されます。「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。
 - その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。
- b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
- 2. 必要なエントリが強調表示されたら、[コール] を押すか、名前の隣にある  ボタンを押します。
- 3. 通常のダイヤル通話と同様に続行します。





関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

通話履歴から発信する

通話履歴を使用して発信できます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. [コール] を押して、通話履歴に表示された番号に発信します。発呼者が番号を非通知にしている場合、このオプションは使用できません。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

前の番号にリダイヤルする

「リダイヤル」が表示されたら、それを使用して以前に使用した番号に電話をかけることができます。リダイヤルは、リダイヤルモードの2つの方法のいずれかで実行できます。詳しくは、「[リダイヤルモードの選択](#) (40 ページ)」を参照してください。

関連リンク

- [通話の発信](#) (25 ページ)
- [リストモードでリダイヤルする](#) (28 ページ)
- [直前の番号のモードでリダイヤルする](#) (28 ページ)
- [リダイヤル](#) (39 ページ)

リストモードでリダイヤルする

このリダイヤル方法は、電話のリダイヤルモードが「コール履歴を開く」に設定されている場合に使用されます。

手順

1. リダイヤルリストにアクセスします。
 - a. 「リダイヤル」の順に押します。発信呼のリストが表示されます。
 - b. 上/下方向キーで、10 個の直近の発信呼をスクロールします。
2. 「コール」を押して、通話履歴に表示された番号に発信します。
3. 通常のダイヤル通話と同様に続行します。

関連リンク

- [前の番号にリダイヤルする](#) (28 ページ)
- [リダイヤル](#) (39 ページ)

直前の番号のモードでリダイヤルする

このリダイヤル方法は、電話のリダイヤルモードが「前回発信番号」に設定されている場合に使用されます。

手順

1. 「リダイヤル」の順に押します。
2. 個人用通話履歴に記載される直近の発信呼番号がリダイヤルされます。
3. 通常のダイヤル通話と同様に続行します。

関連リンク

- [前の番号にリダイヤルする](#) (28 ページ)

ページコールの発信

ページコールを発信するには、システム管理者より提供されるページング短縮コード、または [ページ] 機能ボタンにアクセスする必要があります。

個人管理機能を使用して、電話の機能ボタンの 1 つを [ページ] ボタンとして割り当てることができます。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

- 短縮コードまたはページングボタンに内線番号が事前設定されていれば、その番号のユーザーまたはグループが呼び出されます (利用可能な場合)。
- ページングボタンの短縮コードに内線番号が事前設定されていない場合、使用時に内線番号を入力できます。

手順

1. ページングボタンを押します。
2. 呼び出すユーザーまたはグループの番号をダイヤルします。
3. ダイヤルが完了すると、ページコールが発信されます。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

ビジー通知

内線電話を発信した際に、発信先の内部ユーザーの通話が応答可能、すでに通話中、応答不可に設定されている場合、デフォルトでは電話システムに何も表示されません。その代わりに、通話は単純に着信音を鳴らすか、ボイスメールに転送されます。

ただし、ステータスの表示を取得するさまざまな方法があります。

- 発信せずにユーザーのステータス表示を確認する必要がある場合は、[ユーザー] ボタンを電話に追加できます。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。
- 他のユーザーは不在メッセージを設定できます。不在メッセージが設定されていると、そのユーザーを呼び出したときに、メッセージが電話に表示されます。独自の不在メッセージを設定するには、[不在用リスト] ボタンに設定されたプログラム可能機能を使用します。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。
- システム管理者は、選択したユーザーまたはシステム全体でビジー通知を有効にできます。この機能を有効にすると、選択したユーザーに発信しても電話がボイスメールに転送されない場合、電話に [応答不可] または [つづつ] と表示されます。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

En-Bloc ダイヤル

電話のメニューから、従来のダイヤルと En-bloc ダイヤルのどちらを発信時に使用するかを選択できます。En-bloc ダイヤルをサポートする電話を使用するときは常に、選択した設定が適用されます。

- En-bloc ダイヤルを使用すると、ダイヤルする番号が電話システムに送信され、ダイヤルされる前に、電話のディスプレイでその番号を作成したり編集したりすることができます。
- 従来のダイヤルでは、電話で番号をダイヤルし始めると、電話が直ちに電話システムに接続し、ダイヤルした番号を電話システムに渡し始めます。通話を終了してもう一度やり直さない限り、すでにダイヤルした番号は修正できません。

関連リンク



[通話の発信](#) (25 ページ)

[En-Bloc モードを使用して番号をダイヤルする](#) (30 ページ)

[En-Bloc ダイヤルの有効化／無効化](#) (30 ページ)

En-Bloc モードを使用して番号をダイヤルする

手順

1. 通話が接続されていない状態で、ダイヤルを開始します。ダイヤルする前に、ハンドセットを持ち上げたり、ヘッドセット、スピーカー、アピアランスボタンを選択したりしないでください。
 - 左方向キーまたは [Bksp[°]-s] キーを使用して、ダイヤルした直前の数字を削除できます。
 - [クリア] を押すと、これまでダイヤルした番号全体が消去されます。
2. 番号の修正を完了すると、通話方法を選択できます。
 - ハンドセットを持ち上げ、ハンドセットを使って通話を行う。
 - [コール] ソフトキーまたは [OK] ボタンを押し、電話の [デフォルトハンズフリー音声パス] (スピーカーまたはヘッドセット) を使用して、通話を開始する。アイドル状態になっているいずれかのコールアピアランスボタンを押し、そのアピアランスを使って電話をかけることもできます。
 -  [ハンズフリー] ボタンを押し、電話に接続したヘッドセットで通話を開始する。
 -  [スピーカー] ボタンを押し、電話のハンズフリースピーカーで通話を開始する。


関連リンク

[En-Bloc ダイヤル](#) (30 ページ)

En-Bloc ダイヤルの有効化／無効化

電話の [機能] メニューから En-Bloc ダイヤル設定を有効または無効にできます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[即時ダイヤル] を強調表示します。
4. [変更] ボタンを押して、[オン] または [オフ] を選択します。
5. [保存] を押します。

関連リンク

[En-Bloc ダイアル](#) (30 ページ)

自分の番号を非公開にする


外線呼で自分の番号を非公開にすることを選択できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

* 注

- このオプションは、外部回線プロバイダによって異なります。場合によっては、この機能を使用しようとする、通話が失敗することがあります。その場合は、この機能をオフにする必要があります。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[番号の非通知] を強調表示します。
4. [変更] ボタンを押して、[オン] または [オフ] を選択します。
5. [保存] を押します。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

通話の音量を調整する

通話中、着信呼の音量を調整できます。使用中のデバイス（ハンドセット、ヘッドセットまたはスピーカー）がどれでも、音量は個別に調整します。

手順

1. 通話が接続されている場合は、[+] プラスおよび [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 表示は、数秒後に標準に戻ります。

関連リンク



[通話の発信](#) (25 ページ)

呼をミュートにする

通話をミュートすると、発呼者にはユーザーの声が聞こえなくなりますが、ユーザーは相手の声を聞くことができます。

- 通話を切り替えても、通話はミュートのままになります。

手順

1. ミュートをアクティブにするには、 [ミュート] キーを押します。通話がミュート中の場合は、このボタンが点灯します。
2. ミュートをオフにするには、もう一度  [ミュート] キーを押します。



関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

通話の終了

手順

通話に使用できる方法は複数あります。以下のいずれかの操作を行います。

- ディスプレイに現在強調表示されている通話を終了するには、[切断] を押します。
- 電話のハンドセットに接続されている通話を終了するには、ハンドセットを元の位置に戻すと通話が終了します。
- 電話のスピーカーに接続されている通話を終了するには、 [スピーカー] キーを押します。
- 電話のヘッドセットに接続された通話を終了するには、 [フック] キーを押します。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

第 6 章: 通話への応答

お使いの電話では同時に複数の通話を処理できます。一度に 1 件の通話しか接続（通話）できませんが、その他の通話を応答待ちにし、その後の通話を保留にすることができます。

電話機のいずれかのアピアランスボタンの各コールアピアランスについては、「[アピアランスボタン](#) (20 ページ)」を参照してください。使用可能なすべてのコールアピアランスボタンが使用中になるまでは、その他の通話は話中として処理されません。

関連リンク

- [新規通話に応答する](#) (33 ページ)
- [別の通話に応答する](#) (34 ページ)
- [自分のボイスメールに通話を転送する](#) (34 ページ)
- [アラート中の通話を無音（不応答）にする](#) (35 ページ)
- [着信通話の切断](#) (35 ページ)
- [ページコール](#) (36 ページ)
- [他の通話の表示](#) (36 ページ)
- [コールピックアップを使用](#) (36 ページ)
- [コールピックアップ短縮コード](#) (37 ページ)

新規通話に応答する

アピアランスボタンで低速点滅するランプは、アラート中の通話を示します。これには、着信音とメッセージランプの点滅も伴うことがあります。

- **メモ:** 本ガイドでは、自動保留が有効になっている（デフォルト）ことを想定していません。システム管理者はシステムの自動保留を無効にできます。その場合、通話は保留されず自動的に切断されます。

手順

1. まだ通話中でない場合は、次の方法でアラート中の通話に応答できます。
 - ハンドセットを使用して通話に応答するには、ハンドセットを持ち上げます。
 - ハンズフリーで通話に応答するには、**[スピーカー]** キーを押します。
 - ヘッドセットで通話に応答するには、**[イヤホン]** キーを押します。
 - アラート中のアピアランスキーのみを押すと、電話のデフォルトの音声パス設定に応じて、スピーカーまたはヘッドセットのいずれかで通話に応答できます。「[デフォルトハンズフリー音声パス](#) (135 ページ)」を参照してください。

2. 通話に応答すると、次の異なる通話モードを切り替えることができます。
 - ハンドセットの使用に切り替えるには、ハンドセットを持ち上げます。
 - ハンズフリーに切り替えるには、**[スピーカー]** キーを押します。ハンドセットを使用していた場合は、これで安全にハンドセットを元の位置に戻すことができます。
 - ヘッドセットモードに切り替えるには、**[イヤホン]** キーを押します。ハンドセットを使用していた場合は、これで安全にハンドセットを元の位置に戻すことができます。
 - スピーカーまたはヘッドセットで通話に応答した場合、別のモードを選択する前にもう一度**[スピーカー]** または**[イヤホン]** キーを押すと、通話が終了します。
 - コールアピアランスキーまたは他のアピアランスボタンのみを押すと、現在の通話が保留になります。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

別の通話に応答する

お使いの電話では同時に複数の通話を処理できます。一度に 1 件の通話しか接続（通話）できませんが、その他の保留中の通話は処理することができます。

アピアランスボタンで低速点滅するランプは、アラート中の通話を示します。追加の通話の場合は、呼び出し音が鳴らないか、シングルトーンのアラートのみが鳴ります。

すでに通話中の場合、新しい通話に応答すると、既存の通話が自動的に保留になります。（ただし、先に**[切断]**を押した場合を除きます）。

- **メモ**：本ガイドでは、自動保留が有効になっている（デフォルト）ことを想定していません。システム管理者はシステムの自動保留を無効にできます。その場合、通話は保留されず自動的に切断されます。

手順

1. 待機通話に応答するには、新しい通話を示すアピアランスキーを押します。新しい通話に応答すると、既存の通話は自動的に保留になります。
2. 会話したい通話のアピアランスボタンを押すと、通話を切り替えることができます。
3. 表示されているソフトキー機能は、現在強調表示されている通話に関連しています。通常、これは最後に押されたアピアランスキーで応答または表された通話になりますが、ディスプレイの下にある方向キーを使用して、現在の通話に接続されている間、どの通話を強調表示するかを変更できます。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

自分のボイスメールに通話を転送する

自分宛の通話を直接自分のボイスメールメールボックスに転送できます。

手順

1. 通話が、ディスプレイで現在強調表示されていない場合は、上／下方向キーで強調表示させます。
2. [ボイスメール] ソフトキーを押します。通話はメールボックスにリダイレクトされません。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

アラート中の通話を無音（不応答）にする

現在アラート中の通話の着信音を無音にすることができます。

手順

1. 通話が、ディスプレイで現在強調表示されていない場合は、上／下方向キーで強調表示させます。
2. [不応答] ソフトキーを押します。通話のアラートは続行しますが、着信音は聞こえません。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

着信通話の切断

着信通話には、応答せずに切断できます。その際の動作は、通話タイプやその他のオプションに応じて異なります。

- ハントグループ通話で、着信呼を切断すると、グループ内の次のエージェントに送られるか、別のハントグループ設定を使用します（これには、通話を再送信するオプションも含まれます）。
- 直接かかってきた通話を切断すると、次の動作が続きます。
 - 不応答転送先に移動する（設定して有効にした場合）。「[呼の転送](#) (59 ページ)」を参照してください。
 - 他の場合、通話はボイスメールに移動する。
 - 他の場合、通話は鳴り続ける（切断しても影響しません）。
- 折り返される通話が長時間にわたって保留中またはパーク中の場合は切断できません。

手順

1. 通話が、ディスプレイで現在強調表示されていない場合は、上／下方向キーで強調表示させます。
2. [切断] キーを押します。切断機能をプログラム可能なキーに割り当てることもできます。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

ページコール

進行中の接続完了呼が他にない場合で電話が現在アイドルのときに、電話をページングできます。ユーザーには発呼者の声が聞こえますが、発呼者にはユーザーの音が聞こえません。

ページングは 1 回ビープ音が鳴った後に電話のスピーカーから再生されます。また、ページコールは、ディスプレイに [ページ] という単語で示されます。

- ページコールに応答するには、[応答] キーを押します。通話は通常の通話になります。ハンズフリーまたはハンドセットを持ち上げて通話を続行できます。
- ページコールに応答しないときは、[切断] キーを押します。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

他の通話の表示

電話は同時に複数の通話を処理できます。接続完了呼は一度に 1 件だけですが、その他の保留中およびパーク中の通話と、引き続き着信する呼び出し中の通話は処理することができます。各通話のステータス（パーク中通話以外）は個別のコールアピアランスボタンで示されます。

会議を開始する前に現在表示されている通話を変更すると、会議に切り替わる通話に影響します。「[状況依存の会議](#) (55 ページ)」を参照してください。

手順

上/下方向キーで、強調表示されているコールアピアランスを選択します。この操作は、現在接続している通話または保留している通話に影響を与えずに行えます。

- 現在強調表示されているボタンには、ボタンラベルの周囲に白の罫線が表示されます。
- 現在強調表示されているボタンに関連して、通話で実行可能なアクションがある場合、ディスプレイの下部にあるソフトキーは、そのアクションが反映されるように自動的に変更されます。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)


コールピックアップを使用

ピックアップを使用して、電話システムの他の場所で呼び出し中の通話に応答します。

★ 注

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できません。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[ピックアップ] を選択します。
 - 呼び出し中の通話に応答するには、[すべて] ソフトキーを押します。
 - 特定のターゲットを呼び出している通話に応答するには、そのターゲットの番号をダイヤルします。または、[デフォルト] ソフトキーを押して電話帳からターゲットを選択します。
3. メニューは、入力した番号のタイプによって異なります。
 - **利用者番号**
 - 利用者呼び出し通話に回答するには、[ピックアップ] ソフトキーを押します。
 - 番号の入力に戻るには、[クリア] キーを押します。
 - **ハントグループ番号**
 - グループのメンバーを呼び出す通話に回答するには、[メンバー] ソフトキーを押します。通話は、ハントグループ宛の通話である必要はありません。
 - ハントグループ宛の呼び出し中の通話に回答するには、[グループ] ソフトキーを押します。
 - 番号の入力に戻るには、[クリア] キーを押します。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

コールピックアップ短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

コールピックアップ

- 任意のコールピックアップ : *30 - 電話システムで呼び出し中の通話に応答します。
- グループのコールピックアップ : *31 - ユーザーがメンバーとして所属するグループを呼び出す通話に応答します。グループメンバーシップが現在無効に設定されている場合でも、これを使用できます。
- ユーザーのコールピックアップ : *32*N# - ユーザーの内線番号 (N) を呼び出す通話に応答します。N).
- グループメンバーのコールピックアップ:*53*N# - グループのメンバー (N) を呼び出す通話に応答します。N これは、必ずしもグループ通話である必要はありません。

関連リンク

[通話への応答](#) (33 ページ)

第 7 章: リダイヤル

電話のリダイヤル操作は、次のいずれかのモードで作動します。

- [コール履歴を開く] - このモードでは、[リダイヤル] を押すと、直近の発信呼番号が表示されます。リダイヤルする通話を、リストから選択します。
- [前回発信番号] - このモードでは、[リダイヤル] を押すと、直近の発信番号を直ちに繰り返します。

いずれの場合も、リダイヤル機能では、個人用通話履歴の発信呼レコードが使用されます。通話履歴のレコードを削除すると（「[通話履歴全体を削除する](#) (90 ページ)」を参照）、新しい発信呼レコードが追加されるまで、リダイヤルは作動しません。

関連リンク

[リストモードでリダイヤルする](#) (28 ページ)

[前の番号にリダイヤルする](#) (28 ページ)

[リダイヤルモードの選択](#) (40 ページ)

リストモードでリダイヤルする

このリダイヤル方法は、電話のリダイヤルモードが [コール履歴を開く] に設定されている場合に使用されます。

手順

1. リダイヤルリストにアクセスします。
 - a. [リダイヤル] の順に押します。発信呼のリストが表示されます。
 - b. 上/下方向キーで、10 個の直近の発信呼をスクロールします。
2. [コール] を押して、通話履歴に表示された番号に発信します。
3. 通常のダイヤル通話と同様に続行します。

関連リンク

[前の番号にリダイヤルする](#) (28 ページ)

[リダイヤル](#) (39 ページ)

前の番号にリダイヤルする

[リダイヤル]が表示されたら、それを使用して以前に使用した番号に電話をかけることができます。リダイヤルは、リダイヤルモードの2つの方法のいずれかで実行できます。詳しくは、「[リダイヤルモードの選択](#) (40 ページ)」を参照してください。

関連リンク

[通話の発信](#) (25 ページ)

[リストモードでリダイヤルする](#) (28 ページ)


[直前の番号のモードでリダイヤルする](#) (28 ページ)

[リダイヤル](#) (39 ページ)

リダイヤルモードの選択

電話がリダイヤルリストまたは前回の通話リダイヤルモードのいずれを使用するかを選択できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[リダイヤル操作] を強調表示します。
4. 現在のモードが表示されます。
 - [コール履歴を開く] - このモードでは、[リダイヤル] を押すと、直近の発信呼番号が表示されます。リダイヤルする通話を、リストから選択します。
 - [前回発信番号] - このモードでは、[リダイヤル] を押すと、直近の発信番号を直ちに繰り返します。
5. モードを変更するには、[変更] を押します。
6. 必要なモードが表示されたら、[保存] を押します。

関連リンク

[リダイヤル](#) (39 ページ)

第 8 章: 通話の転送

現在のコールアピランスボタンがすべて使用中の場合でも通話を転送できます。

• 通話とボタンステータス機能 :

転送ペンディング保留呼のステータス表示は、通常の保留呼で使用されている表示とは異なります。

- ボタンが転送ペンディング保留呼を表すとき、緑と赤いランプの両方が高速点滅します。
- 転送ペンディングの保留呼が強調表示されているときに表示される通話ステータス情報には、[保留中] ではなく、[保留-転送] のプレフィックスが付きます。

• 通話の切り替え :

接続完了呼から既存の転送ペンディング保留呼に切り替えると、接続完了呼が転送ペンディング保留になります。

手順

1. [転送] の順に押します。現在の通話が自動的に転送ペンディング保留になります。
2. 転送先の番号をダイヤルします。
 - または、[デフォルト] を押して電話帳から転送先を選択するか、[リダイヤル] オプションが該当する場合は、それを使用します。
3. 転送先が応答しない、または通話を受け付けない場合は、[転送] ソフトキーを押します。
4. 転送を完了するには、[完了] を押します。通話が呼び出し中のときでもこの操作を実行できます。
 - 通話の呼び出し中に通話を転送することを "ブラインド転送" と呼びます。
 - 呼び出しが終了してから通話を転送することを、"拡張転送" と呼びます。


関連リンク

[通話をボイスメールに転送する](#) (41 ページ)

[保留呼の転送](#) (42 ページ)

[携帯電話に通話を転送する](#) (43 ページ)

通話をボイスメールに転送する

ビジュアルボイスモードに設定しているときは、 [メッセージ] キーを使用して、現在の通話を別のユーザーまたはグループのボイスメールメールボックスに転送できます。

手順

1. 通話が接続された状態で、✉ [メッセージ] キーを押します。さらに通話に接続された状態で、通話を続行できます。
2. 通話の転送先となるユーザーまたはグループの内線番号をダイヤルします。
3. 番号がユーザーまたはグループに一致すると、その名前が表示されます。
 - ユーザーまたはグループのメールボックスに通話を転送するには、[選択] を押しします。発呼者には、数秒間の着信音に続いてメールボックスのあいさつが聞こえます。
 - 転送をキャンセルするには、[キャンセル] を押しします。

関連リンク

[通話の転送](#) (41 ページ)

保留呼の転送

通話の転送にはさまざまなシナリオが考えられます。

- **メモ**：会議を開始して、会議からユーザー本人を切断をすることによっても、保留呼を転送できます。ただし、ユーザーが会議で唯一の内部ユーザーである場合、電話システムの設定によっては、ユーザー本人を切断すると、会議が終了することがあります。

手順

1. **保留状態の通話に転送**：複数の通話を保留している場合、接続された通話を保留呼の一つに転送するには、次の手順に従ってください。
 - a. [転送] ソフトキーを押し、上/下方向キーを使用して必要なコールアピランスを強調表示します。
 - b. これで良ければ、[完了] を押して、他の保留呼を保留にしたまま通話を転送します。
2. **新しい通話に転送**：通話を保留しているが、新しい転送先に現在の通話を接続したい場合、次の手順に従ってください。
 - [転送] ソフトキーを押し、テンキーボードを使用して手動で転送先を入力し、[完了] を押しします。
 - または、[テンチャウ] を押して電話帳から転送先を選択するか、[リダイヤル] オプションが該当する場合は、それを使用します。
3. **転送前に発呼者を参照**：転送先の通話を接続しているが、発信元通話を参照してから転送を完了したい場合、次の手順に従ってください。
 - a. シナリオ #2 のように、[完了] を押して、転送先通話を転送しないでください。
 - b. コールアピランスボタンを押して、元の通話 ("転送ペンディング保留") を選択します。これによって、転送先の通話が [転送ペンディング保留] となり、元の発呼者に通知できます。
 - c. 元の通話が接続された状態で [完了] を押すと、2 つの通話が接続されます。
 - d. 転送ペンディング以外の保留呼には影響がありません。また、複数の通話を [転送ペンディング保留] 通話にすることはできません。

関連リンク


[通話の転送](#) (41 ページ)

[通話の保留](#) (44 ページ)

携帯電話に通話を転送する

携帯電話ツイニングのユーザーとして設定された場合は、機能メニューを使用して携帯デバイスに通話を転送できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[携帯に転送] を選択します。

関連リンク

[通話の転送](#) (41 ページ)

第 9 章: 通話の保留

1 つまたは複数の通話を保留にできます。

- 保留呼にしても、発信や応答で使用したアピランスボタンは使用されたままになります。高速点滅の緑色のランプは、保留呼を示すために使用されます。
- 発呼者には保留メロディが聞こえます。システムに利用できる保留メロディが設定されていない場合、発呼者には数秒間隔でダブルビーブ音が聞こえます。
- 複数の保留呼がある場合や、保留呼と接続完了呼がそれぞれある場合に、[会議] ソフトキーを押すと、自分と通話間で会議が始まります。

通話の保留とコールパークは 2 つとも類似したアクションです。下のテーブルに、コールパークと通話の保留間の主な相違をまとめています。

通話のパークまたは保留を使用したとき...	保留	停止
... 通話がアピランスボタンを占有する。	あり	なし
... 発呼者に保留メロディが再生される（利用可能な場合）。	あり	あり
... 他のユーザーが短縮コードをダイヤルすると、通話を保留解除できる。	なし	あり
... ユーザーの電話がアイドル状態の場合、通話が自動的にユーザーにリコールする。	あり	あり
... 会議電話と併用できる。	あり	あり
... 通話を開始する、または通話を会議に追加するときに使用できる。	なし	なし
... 通話に一意の ID が割り当てられる。	なし	あり

関連リンク

[会議通話を保留する](#) (44 ページ)

[通話の保留](#) (45 ページ)

[通話の保留解除](#) (45 ページ)

[通話の切り替え](#) (45 ページ)

[保留呼の転送](#) (42 ページ)

会議通話を保留する

会議通話は、通常通話の保留と同様に保留にできます。会議通話を保留にしても、他の会議参加者は影響を受けることはなく、通話を続行できます。

また、ユーザーは会議の詳細に会議通話のメンバーとして表示されます。

! 重要

これは、ユーザーの電話システムによってホストされる会議通話にのみ適用されます。ユーザーが別の電話システムでホストされている会議に通話を保留すると、ユーザーのシステムの保留メロディがその会議に聞こえてしまうことがあります。

関連リンク

[通話の保留](#) (44 ページ)

通話の保留

手順

現在の通話を保留にするには、[保留] ソフトキーまたは通話のアピアランスボタンを押します。

- 保留呼は、点滅速度の速い緑ランプ付きのコールアピアランスボタンで表示されます。
- 通話前には、電話機に [保留中] が表示されます。
- 保留中は、発呼者に保留メロディが聞こえます。システムに利用できる保留メロディが設定されていない場合、発呼者には数秒間隔でダブルビーブ音が聞こえます。

関連リンク

[通話の保留](#) (44 ページ)

通話の保留解除

次のいずれかの方法を使用して、通話の保留を解除できます。現在接続完了呼がある場合、その通話は自動的に保留になります。

手順

1. 点滅速度の速い緑色のコールアピアランスを押します。
2. 上/下方向キーで、表示をスクロールします。通話の保留を解除するには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク

[通話の保留](#) (44 ページ)

通話の切り替え

通話を保留にして（点滅速度の速いアピアランスボタン）、別の通話が接続完了（赤のコールアピアランスボタン）した状態で、保留呼のアピアランスボタンを押すと、通話を切り替えることができます。現在の通話は自動的に保留になり、前の保留呼が接続されます。

転送するために通話を保留にすると、通話は「**転送ペンディング保留**」と見なされ、点滅速度の速い赤と緑のアピランスボタンで示されます。

関連リンク

[通話の保留](#) (44 ページ)

保留呼の転送

通話の転送にはさまざまなシナリオが考えられます。

- **メモ**：会議を開始して、会議からユーザー本人を切断をすることによっても、保留呼を転送できます。ただし、ユーザーが会議で唯一の内部ユーザーである場合、電話システムの設定によっては、ユーザー本人を切断すると、会議が終了することがあります。

手順

1. **保留状態の通話に転送**：複数の通話を保留している場合、接続された通話を保留呼の一つに転送するには、次の手順に従ってください。
 - a. [転送] ソフトキーを押し、上/下方向キーを使用して必要なコールアピランスを強調表示します。
 - b. これで良ければ、[完了] を押して、他の保留呼を保留にしたまま通話を転送します。
2. **新しい通話に転送**：通話を保留しているが、新しい転送先に現在の通話を接続したい場合、次の手順に従ってください。
 - [転送] ソフトキーを押し、テンキーボードを使用して手動で転送先を入力し、[完了] を押します。
 - または、[テンキー] を押して電話帳から転送先を選択するか、[リダイヤル] オプションが該当する場合は、それを使用します。
3. **転送前に発呼者を参照**：転送先の通話を接続しているが、発信元通話を参照してから転送を完了したい場合、次の手順に従ってください。
 - a. シナリオ #2 のように、[完了] を押して、転送先通話を転送しないでください。
 - b. コールアピランスボタンを押して、元の通話 ("転送ペンディング保留") を選択します。これによって、転送先の通話が [転送ペンディング保留] となり、元の発呼者に通知できます。
 - c. 元の通話が接続された状態で [完了] を押すと、2 つの通話が接続されます。
 - d. 転送ペンディング以外の保留呼には影響がありません。また、複数の通話を [転送ペンディング保留] 通話にすることはできません。

関連リンク

[通話の転送](#) (41 ページ)

[通話の保留](#) (44 ページ)

第 10 章: 通話をパークする

コールパークは、通話の保留と似ています。ただし、パーク保留コールは電話システムの他ユーザーによって保留解除できます。

パーク保留コールごとに番号が与えられます。デフォルトで、この番号はユーザーの内線番号 + 1 桁の数字で示されます。

ユーザーのパーク保留した通話が長時間パーク状態になると、(アイドル時に) ユーザーの電話にリターンされます。デフォルトのリターン遅延は 5 分です。これは、すべてのユーザーに適用されるシステムの遅延ですが、システム管理者が変更できます。通話をリターンすると、転送や応答不可の設定は無視されます。

[コールパーク] アクションに設定された機能ボタンは、通話のパーク/パーク解除やパーク保留コールの表示に使用できます。

通話の保留とコールパークは 2 つとも類似したアクションです。下のテーブルに、コールパークと通話の保留間の主な相違をまとめています。

通話のパークまたは保留を使用したとき...	保留	停止
... 通話がアピランスボタンを占有する。	あり	なし
... 発呼者に保留メロディが再生される (利用可能な場合)。	あり	あり
... 他のユーザーが短縮コードをダイヤルすると、通話を保留解除できる。	なし	あり
... ユーザーの電話がアイドル状態の場合、通話が自動的にユーザーにリコールする。	あり	あり
... 会議電話と併用できる。	あり	あり
... 通話を開始する、または通話を会議に追加するときに使用できる。	なし	なし
... 通話に一意の ID が割り当てられる。	なし	あり

関連リンク

[パークの短縮コード](#) (47 ページ)

[パーク通話 \(機能メニュー\)](#) (48 ページ)

[ステータスメニューを使用して通話のパークを解除する](#) (49 ページ)

[パークとページ](#) (49 ページ)

パークの短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザー

通話をパークする

ザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

パーク/パーク解除

- **コールパーク** : *37*N# - N の代わりにダイヤルしたパーク番号を使用して保留呼をパーク保留します。N.
- **コールパーク解除** : *38*N# - パーク番号 N を使用してパーク保留した通話をパーク解除します。N.


関連リンク

[通話をパークする](#) (47 ページ)

パーク通話（機能メニュー）

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、次のいずれかを選択します。
 - [コールパーク] - ご利用の電話にパーク保留コール通知を送信して、システムに通話をパークします
 - [他へコールパーク] - 選択した別の内線番号にパーク保留コール通知を送信して、システムに通話をパークします。
3. [選択] の順に押します。

関連リンク

[通話をパークする](#) (47 ページ)

ステータスメニューを使用して通話のパークを解除する

パーク保留コールが電話システムにパークされ、他のユーザーがパーク解除できるときは、そのパーク保留コールの通知が特定の内線番号に送信されます。自分の電話に通話のパーク保留されている場合は、[ステータス] メニューから通話を表示し、パークを解除できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. パーク保留コールがある場合は [パーク] オプションが表示されます。内線番号に通話のパーク保留されていない場合、オプションは表示されません。
3. [詳細設定] ソフトキーを押します。
4. カーソルキーで、パーク通話をスクロールします。
5. 特定の通話をパーク解除するには、通話を強調表示して [接続] ソフトキーを押します。

関連リンク

[通話をパークする](#) (47 ページ)

パークとページ

通話をパーク（保留）するこの方法は、ご利用の電話システムに特に設定されている場合にのみ使用できます。これを使用するには、ご利用の電話に [パーク保留して呼出] ボタンも追加する必要があります。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

- [パークとページ] では、システム管理者が設定し、内線番号のように機能する一連のパークスロット番号を使用します。
- ユーザーがそれらパークスロットのいずれかに通話をパークすると、ユーザーまたはシステム上にいる他のユーザーは、パークスロット番号をダイヤルして、通話のパークを解除できます。
- また、システム管理者は、ページングに最大 3 つのハントグループを設定できます。通話をパークすると、電話には使用されるパークスロット番号が表示され、その後ページングのオプションが表示されます。
- [パークとページ] を使用してパークした通話は、電話の [ステータス] メニューには表示されません。ただし、ユーザーがパークした通話は、長時間パーク状態にされた場合に、ユーザーの電話にリコールされます。
- ご利用の電話で、[コールパーク] ボタンが、[パークとページ] に設定したパークスロット番号と一致するように設定されている場合、それらのボタンに、通話とそのパークスロットにパークされていることが表示されます。また、ボタンを使用してパークを解除することもできます。ただし、コールパークの使用時は、電話にページオプションは表示されません。

手順

1. 電話機の [パーク保留して呼出] ボタンを押します。通話はパークされ、通話のパーク解除に必要なパークスロット番号が表示されます。
2. パークされた通話の呼び出しアナウンスをする場合は、[ページ] を押します。アナウンスしない場合は、[終了] を押します。
3. 呼び出すユーザーやハントグループを選択できる方法はいくつかあります。
 - 事前に設定されたハントグループのいずれかを選択し、[ページ] を押します。
 - [テンチャウ] の順に押します。電話帳から必要なユーザーまたはハントグループを選択して、[ページ] を押します。
 - 呼び出すユーザーまたはハントグループの内線番号をダイヤルして、[ページ] を押します。

関連リンク

[通話をパークする](#) (47 ページ)

第 11 章: 会議

電話システムは複数の会議通話をサポートしており、どの会議通話でもシステムの会議の定員に到達するまで、さらに参加者を追加できます。特定の会議通話では、最大 64 人の参加者がサポートされます。

- ユーザーが会議で唯一の内部ユーザーである場合、電話システムの設定によっては、ユーザー本人を切断すると、会議が終了することがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

関連リンク

- [会議の開始](#) (51 ページ)
- [通常通話を会議に切り替える](#) (52 ページ)
- [保留して他の参加者を追加する](#) (52 ページ)
- [保留せずに他の参加者を追加する](#) (52 ページ)
- [会議の詳細を表示する](#) (53 ページ)
- [参加者の切断/ミュート](#) (54 ページ)
- [会議通話の保留](#) (54 ページ)
- [会議を終了する](#) (54 ページ)
- [状況依存の会議](#) (55 ページ)
- [会議の短縮コード](#) (56 ページ)

会議の開始

これは、会議を行うためのシンプルな方法です。さらに複雑なシナリオについては、「[状況依存の会議](#) (55 ページ)」を参照してください。

手順

1. まだ通話中でない場合は、最初の参加者に通話を発信するか、通話に応答します。
2. [会議] キーを押します。現在の通話が自動的に保留になります。
3. 会議に追加する参加者をダイヤルします。
 - 相手が応答し、通話への参加を希望する場合は [会議] キーをもう一度押します。この通話と現在保留されている通話が、電話会議に切り替わります。
 - 電話会議への参加を希望しない場合、または応答しない場合は、[切断] を押します。次に、以前に保留されていた通話のアピランスキーを押して、その通話に再接続します。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

通常の話話を会議に切り替える

システム管理者が [カギ ツイカ] ボタンを電話に設定している場合、そのボタンを押して、現在の通話を 2 者間会議に切り替えることができます。これにより、既存の通話を保留にすることなく、会議参加者の追加、ミュート、切断などの会議詳細機能にアクセスできます。

[カギ ツイカ] ボタンの追加に関する詳細は、システム管理者に問い合わせてください。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

保留して他の参加者を追加する

この方法では、会議との接続を一時的に保留にして、参加者を会議に追加します。これにより、既存の会議参加者に会話を聞かれることなく、進行中の通話を聞きながら、新しい通話に応答するすべての参加者とも話すことができます。

その他の既存の会議参加者は、互いに会話を続けることができ、それと並行して新しい参加者を追加できます。また、保留を使用せずに他の参加者を追加することもできます。

手順

1. [会議] を押して、会議を保留にします。これを実行しても、他の会議参加者は影響を受けることはなく、互いの通話を続行できます。
2. 通話の発信に使用できるアピアランスキーを押します。
3. 会議に追加する参加者をダイヤルします。
 - 相手が応答し、通話への参加を希望する場合は [会議] キーをもう一度押します。この通話と現在保留されている通話が、電話会議に切り替わります。
 - 電話会議への参加を希望しない場合、または応答しない場合は、[切断] を押します。次に、以前に保留されていた通話のアピアランスキーを押して、その通話に再接続します。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

保留せずに他の参加者を追加する

会議への接続を保留せずに、他の参加者を会議に追加できます。これにより、会議のすべての参加者は、進行中の通話を聞くことができ、他の参加者が応答すると、それを即座に聞くことができます。

また、既存の会議参加者に参加者追加プロセス時の音声を聞かれない場合は、保留を使用して新しい参加者を追加することもできます。

手順

1. まだ強調表示されていない場合は、上/下方向キーを押して、電話会議を強調表示します。
2. [詳細設定] ソフトキーを押します。
3. [追加] の順に押します。
4. 追加する参加者の番号を入力して、[コール] を押します。または、[デフォルト] を押して、電話帳から名前を選択します。
5. 追加した参加者が応答しない場合、通話不可の場合、または会議に参加しない場合は、[切断] をクリックします。

関連リンク

[会議 \(51 ページ\)](#)

会議の詳細を表示する

会議通話に参加する参加者のリストを表示できます。

手順

1. まだ強調表示されていない場合は、上/下方向キーを押して、電話会議を強調表示します。
2. [詳細設定] ソフトキーを押します。
3. 次のようなさまざまなアクションを実行できます。
 - 会議の発信者リストをスクロールするには、上/下方向キーを使用します。
 - 会議から発呼者を切断するには、発呼者を強調表示して [切断] を押します。会議から退出するには、自分自身を切断します。
 - 発呼者をミュートするには、発呼者を強調表示して [ミュート] を押します。発呼者のミュートを解除するには、この操作を繰り返します。
 - 会議を保留にせずに他の参加者を会議に追加するには、[追加] を押します。
 - 通話表示に戻るには、[戻る] ソフトキーを押します。

関連リンク

[会議 \(51 ページ\)](#)

参加者の切断／ミュート

電話会議からユーザー本人を含む参加者を切断できます。他の参加者をミュートすることもできます。

- ユーザーが会議で唯一の内部ユーザーである場合、電話システムの設定によっては、ユーザー本人を切断すると、会議が終了することがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. 電話会議への接続中に、[詳細設定] キーを押すと、会議の詳細メニューが表示されます。
2. その後に次のアクションを実行できます。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

会議通話の保留

[保留] ソフトキーを使用して、通常の通話と同様に会議通話を保留にできます。会議通話のアプリアランスキーには、点滅速度の速い赤ランプが表示されます。

会議通話の保留を解除するには、そのアプリアランスキーを押します。

! 重要

- 会議通話は、通常通話の保留と同様に保留にできます。会議通話を保留にしても、他の会議参加者は影響を受けることはなく、通話を続行できます。ユーザーは会議の詳細に会議通話のメンバーとして表示されます。
- これは、ユーザーの電話システムによってホストされる会議通話にのみ適用されます。ユーザーが別の電話システムでホストされている会議に通話を保留すると、ユーザーのシステムの保留メロディがその会議に聞こえてしまうことがあります。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

会議を終了する

- ユーザーが会議で唯一の内部ユーザーである場合、電話システムの設定によっては、ユーザー本人を切断すると、会議が終了することがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. まだ強調表示されていない場合は、上／下方向キーを押して、電話会議を強調表示します。

2. [詳細設定] ソフトキーを押します。
3. 通常はデフォルトで、自分自身の名前がすでに選択されています。ただし、選択されていない場合は、上/下方向キーで自分の名前を選択します。
4. [切断] の順に押します。

関連リンク

[会議 \(51 ページ\)](#)

状況依存の会議

このマニュアルで前述した会議の開始方法は、現在の通話と保留中のすべての通話を一緒に会議に切り替えるというシンプルなシナリオのみを対象にしています。ただし、進行中の通話が複数あり、特定の通話のみを会議に切り替える場合のシナリオもあります。

このような場合は、ディスプレイをスクロールして [会議] を押したときに強調表示される通話を変更することで、通話を限定できます。例：

- ・ **現在の通話と保留中の特定の通話を会議に切り替えるには**：通話表示をスクロールし、必要な保留呼を強調表示します。[会議] を押します。この保留呼は現在の通話との会議に切り替わります。この通話が他の保留呼に影響することはありません。

次の表では、電話のディスプレイで現在強調表示されている通話に基づいて会議に切り替わる通話をまとめています。「転送ペンディング保留」通話は、[会議] または [転送] を押して保留にされた通話です。

次の表は、本電話機から開始された会議にのみ適用されます。会議が他の場所（アプリケーションなど）から開始された場合は、現在の通話や保留呼のタイプに関係なく、従来の会議の動作が適用されます。

強調表示された通話	その他条件の優先順位	[会議] を押した結果：	現在の通話	保留呼	転送ペンディング保留
接続完了呼	転送ペンディング保留呼なし	接続完了呼とすべての保留呼で会議作成。	✓	✓	—
	転送ペンディング保留呼	接続完了呼と転送ペンディング保留呼で会議作成。他のすべての保留呼には影響しません。	✓	—	✓
保留中通話	接続完了呼	その保留呼と接続完了呼で会議作成。転送ペンディング保留を含む他のすべての保留呼には影響しません。	✓	—	—
	転送ペンディング保留呼	その保留呼と転送ペンディング保留呼で会議作成。他のすべての保留呼には影響しません。	—	—	✓
	保留呼	その他すべての保留呼で会議作成。	—	✓	—

次のページに続く...

強調表示された通話	その他条件の優先順位	【会議】を押した結果：	現在の通話	保留呼	転送ペンディング保留
転送ペンディング保留呼	接続完了呼	転送ペンディング保留呼と接続完了呼で会議作成。他のすべての保留呼には影響しません。	✓	—	✓
	保留呼	転送ペンディング保留呼と他のすべての保留呼で会議作成。	—	✓	✓

現在強調表示されている通話を変更するには、次の手順に従います。

- 上/下方向キーで、現在強調表示されているコールアピランスを選択します。この操作は、現在接続している通話または保留している通話に影響を与えずに行えます。
 - 現在強調表示されているボタンには、ボタンラベルの周囲に白の罫線が表示されません。
 - 現在強調表示されているボタンに関連して、通話で実行可能なアクションがある場合、ディスプレイの下部にあるソフトキーは、そのアクションが反映されるように自動的に変更されます。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

会議の短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

会議

- 保留呼で会議作成：*47 - ユーザー本人と、ユーザーが保留にしたすべての通話間で会議を開始します。

関連リンク

[会議](#) (51 ページ)

第 3 部: 通話をリダイレクトする

通話リダイレクトオプション

電話システムでは、通話をリダイレクトできるさまざまな方法をサポートしています。主に次の方法があります。

- **フォローミー** - すべての自分宛の通話を、一時的に別の電話にリダイレクトして、その電話の通常ユーザーと共有します。この機能は、次の 2 つの方法で使用できます。
 - **フォローミー転送先** - 自分の電話から [フォローミー] 転送先を設定します。
 - **現在の番号へフォローミー転送** - 使用する電話から [フォローミー] 転送先を設定します。
- **転送** - 内部または外部の番号に通話を転送します。
 - **話中転送** - 電話がユーザーに配信できるコール数が制限値に達すると、通話を転送します。
 - **無応答転送** - ユーザーの電話で呼び出した通話が応答されない場合、通話を転送します。
 - **無条件転送** - 直ちに通話を転送します。ボイスメールへの転送はオプションとして選択できます。
- **応答不可** - ボイスメールが利用できる場合は、すべての通話をボイスメールにリダイレクトします。それ以外の場合、通話はビジートーンにリダイレクトされます。
 - 応答不可の例外番号を使用すると、特定番号からの通話では応答不可を無視できます。
- **ツイニング** - ツイニングは通話の着信音が自分の電話以外の他の電話で鳴るプロセスです。ツイニングは、システム管理者が設定した場合にのみ使用できます。このシステムでは次のような複数のツイニング方法をサポートしています。
 - **内部ツイニング** - 自分の内線とその他の内線を鳴らします。
 - **モバイルツイニング** - 自分の内線と外線番号を鳴らします。
 - **フォールバックツイニング** - システムが通常の電話への接続を検出できない場合、外線番号を鳴らします。

メソッド	リダイレクトされる通話			転送先		
	内部	外部	グループ	内部	外部	ボイスメール

次のページに続く...

通話をリダイレクトする

メソッド		リダイレクトされる通話			転送先		
フォローミー	リダイレクト	✓	✓	✓	✓	—	—
	フォローミー	✓	✓	✓	✓	—	—
次へ	話中転送	✓	✓	—	✓	✓	—
	不応答転送	✓	✓	—	✓	✓	—
	無条件転送	✓	✓	✓	✓	✓	✓
応答不可		✓	✓	—	—	—	✓
ツインング	内部	✓	✓	✓[1]	✓	✓	✓
	携帯	✓	✓	✓[1]	—	✓	—
	フォールバック	✓	✓	✓[1]	—	✓	—

1. システム管理者によって設定されます。

第 12 章: 呼の転送

転送は別の内線番号または外部の番号に通話をリダイレクトするときに使用します。

無条件転送

無条件転送は、直ちに通話をリダイレクトするときに使用できます。

- デフォルトでは、この機能は着信外線呼にのみ適用されます。ただし、必要に応じて内線電話やハントグループ通話を選択することもできます。
- この機能を有効にすると、設定に適合するすべての通話が無条件転送の転送先として設定された番号に転送されます。この番号は内線でも外線でも設定できます。
- なお、電話を使用して発信できます。オフフックにすると、断続発信音が聞こえます。
- また、無応答転送が設定され、不応答時間（デフォルト値は 15 秒）を過ぎて着信音が鳴った後も、無条件転送通話が未応答だった場合、通話はその転送先が異なる場合、無応答転送の転送先にリダイレクトされます。この機能は、外部の番号に転送された通話には該当しないことがあるので注意してください。
- ボイスメールが有効であり、転送された通話が未応答だった場合、その通話はボイスメールにリダイレクトされます。ただし、これは外部の番号に転送された通話には該当しないことがあります。

話中転送

「話中転送」は、ご利用の電話でそれ以上のアラートコールを配信できない場合に、通話をリダイレクトします。

- デフォルトでは、この機能はユーザー宛に発信された着信外線呼にのみ適用されます。ただし、必要に応じて内線電話を選択することも可能です。
- この機能を有効にすると、設定に適合するすべての通話が「話中転送」／「不応答転送」の転送先として設定された番号に転送されます。この番号は内線でも外線でも設定できます。
- 「話中」とは、これ以上通話の配信に利用できるコールアピランスボタンがない状況として定義されています。
- ユーザーが話中で、この設定による転送が実行されない場合、ハントグループの通話は配信されません。
- 「話中転送」と「無応答転送」のオプションでは、同じ転送先番号が使用されます。番号が設定されないと、「無条件転送」の設定と同じ転送先が使用されます。
- ボイスメールが有効であり、転送された通話が未応答だった場合、その通話はボイスメールにリダイレクトされます。ただし、これは外部の番号に転送された通話には該当しないことがあります。

不応答転送

無応答転送は、ユーザーの電話をアラートしても、何らかの理由で応答されなかった通話をリダイレクトします。

- デフォルトでは、この機能は着信外線呼にのみ適用されます。ただし、必要に応じて内線電話を選択することも可能です。

- この機能を有効にすると、設定に適合するすべての通話が話中転送／無応答転送の転送先として設定された番号に転送されます。この番号は内線でも外線でも設定できます。
- 無応答とは、ユーザーの電話に配信され、ユーザーの無応答時間（デフォルトでは 15 秒）を経過した場合が定義されています。
- ハントグループの通話は転送されません。
- 「話中転送」と「無応答転送」のオプションでは、同じ転送先番号が使用されます。番号が設定されないと、「無条件転送」の設定と同じ転送先が使用されます。
- ボイスメールが有効であり、転送された通話が未応答だった場合、その通話はボイスメールにリダイレクトされます。ただし、これは外部の番号に転送された通話には該当しないことがあります。

関連リンク

[無条件転送（ステータスメニュー）](#) (60 ページ)

[無条件転送（機能メニュー）](#) (60 ページ)

[話中転送/無応答転送（機能メニュー）](#) (61 ページ)

[無応答転送（ステータスメニュー）](#) (62 ページ)


[話中転送（ステータスメニュー）](#) (63 ページ)

[通話転送の短縮コード](#) (63 ページ)

無条件転送（ステータスメニュー）

[無条件転送] 設定は、[ステータス] メニューから、クリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[無条件転送] を選択します。
 - 無条件転送をオフにするときは、[オフ] ソフトキーを押します。
 - 転送設定を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。
3. [保存] の順に押します。

関連リンク


[呼の転送](#) (59 ページ)

無条件転送（機能メニュー）

"無条件転送" は、機能メニューを使用して変更できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[次へ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[無条件転送] を選択します。
 - **オン/オフを切り替えるには** - [無条件転送] を選択します。[オン] または [オフ] を押して、現在の設定を変更します。[無条件転送] をオンに切り替えたとき、現段階で転送先が設定されていないと、表示は宛先フィールドに移動します。
 - **転送する通話を選択するには** - [通話タイプ] を選択します。[変更] を押して異なるオプションを表示します。必要なオプションが表示されたら、[保存] を押します。オプションは、[外線通話のみ]、[が他&グループ]、[グループ 1/1つ]、[すべての通話] です。
 - **転送先を設定するには** - [転送先] を選択します。[編集] を押して、必要な番号を入力するか、[ボイスメール] を押して、[ボイスメールに転送] オプションを選択します。
 - ボイスメールを転送先に選択する場合は、[無条件転送] をオフにしてキャンセルしてから、別の転送先を入力する必要があります。
4. [保存] を押します。

関連リンク


[呼の転送](#) (59 ページ)

話中転送/無応答転送（機能メニュー）

[機能] メニューを使用して [不応答転送] と [話中転送] のオンやオフを切り替えることができます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[次へ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[不応答転送] を選択します。
4. カーソルキーで、メニューオプションをスクロールします。
 - 「話中転送」のオン/オフを切り替えるには、[話中不在転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 「無応答転送」のオン/オフを切り替えるには、[不応答転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。

- 転送する通話の種類を選択するには、[通話タイプ] を強調表示します。[変更] を押して、オプションの [すべての通話] または [外線通話のみ] を切り替えます。
- 転送先を変更するには、[転送先] を強調表示して [編集] を押します。番号を入力して [選択] を押します。
- [保存] を押して変更を保存します。

関連リンク


[呼の転送](#) (59 ページ)

無応答転送（ステータスメニュー）

電話に [無応答転送] が設定されている場合、その転送設定は [ステータス] メニューからクリアまたは変更できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[不応答転送] を選択します。
3. 転送をオフにするには、[オフ] を押します。
4. 設定を変更するには、[詳細設定] を押します。
 - 「話中転送」のオン/オフを切り替えるには、[話中不在転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 「無応答転送」のオン/オフを切り替えるには、[不応答転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 転送する通話の種類を選択するには、[通話タイプ] を強調表示します。[変更] を押して、オプションの [すべての通話] または [外線通話のみ] を切り替えます。
 - 転送先を変更するには、[転送先] を強調表示して [編集] を押します。番号を入力して [選択] を押します。
 - [保存] を押して変更を保存します。

関連リンク

[呼の転送](#) (59 ページ)

話中転送（ステータスメニュー）

電話に「話中転送」が設定されている場合、その転送設定は「ステータス」メニューからクリアまたは変更できます。

- ・システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. 「ステータス」ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - ・通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、「ステータス」ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、「不応答転送」を選択します。
3. 転送をオフにするには、「オフ」を押します。
4. 設定を変更するには、「詳細設定」を押します。
 - ・「話中転送」のオン/オフを切り替えるには、「話中不在転送」を強調表示して「オン」または「オフ」を押します。
 - ・「無応答転送」のオン/オフを切り替えるには、「不応答転送」を強調表示して「オン」または「オフ」を押します。
 - ・転送する通話の種類を選択するには、「通話タイプ」を強調表示します。「変更」を押して、オプションの「すべての通話」または「外線通話のみ」を切り替えます。
 - ・転送先を変更するには、「転送先」を強調表示して「編集」を押します。番号を入力して「選択」を押します。
 - ・「保存」を押して変更を保存します。

関連リンク

[呼の転送](#) (59 ページ)

通話転送の短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- ・その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

転送中

- 無条件転送：
 - 無条件転送の転送先を設定：*07*N# - 無条件転送がオンになっているときにその転送先番号（N）を設定します。
 - 無条件転送をオンに切り替え：*01 - 無条件転送をオンに切り替えます。転送先を設定する必要があります。
 - 無条件転送をオフに切り替え：*02
 - 無条件転送にハントグループの通話を含める：*50
 - 無条件転送からハントグループの通話を除外する：*51
- 話中転送/不応答転送：
 - 話中転送/不応答転送先を設定する：*57*N# - 「話中転送」と「不応答転送」の転送先番号（N）を設定します。番号が設定されていないと、これらの機能では、無条件転送の番号（設定されてる場合）が使用されます。
 - 話中転送をオンに切り替え：*03
 - 話中転送をオフに切り替え：*04
 - 不応答転送をオンに切り替え：*05
 - 不応答転送をオフに切り替え：*06
- すべての転送をキャンセル：*00 - すべての転送（[無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む）をオフに切り替えます。

関連リンク

[呼の転送](#) (59 ページ)

第 13 章: 応答不可

[応答不可] が有効な場合：

- あなたへの通話は、利用可能であればボイスメールに転送されます。それ以外の場合は、発呼者にビジー音が再生されます。
- [応答不可] の例外リストに入っている番号からでも、ユーザーに発信でき、これらの通話に転送を適用することもできます。
- ユーザーがメンバーとして所属するハントグループ宛の通話は、ユーザーには配信されなくなります（ただし、ユーザーがグループで最後の応答可能なメンバーである場合を除きます）。
- 電話でアラート中の通話は影響を受けず、アラートを続けます。
- なお、電話を使用して発信できます。オフフックにすると、断続発信音が聞こえます。

関連リンク

[DND のオン/オフ（機能メニュー）](#) (65 ページ)

[DND のオフ（ステータスメニュー）](#) (66 ページ)


[応答不可の例外](#) (66 ページ)

[応答不可の短縮コード](#) (67 ページ)

DND のオン/オフ（機能メニュー）

DND の有効化によって、すでに電話に配信されている通話が影響を受けることはありません。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[応答不可] を選択します。
4. [変更] ボタンを押して、[オン] または [オフ] を選択します。
5. [保存] を押します。

関連リンク


[応答不可](#) (65 ページ)

DND のオフ (ステータスメニュー)

[ステータス] メニューを使用して、[応答不可] をオフに切り替えることができます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[応答不可] を選択します。
3. [応答不可] 設定をクリアするには、[オフ] ソフトキーを押します。

関連リンク


[応答不可](#) (65 ページ)

応答不可の例外

これらの番号は、"応答不可" をオンにしているときでも、通常どおりの通話を許可したい発呼者を示すために使用します。これには、"応答不可" の設定時に配信されないグループ通話は含まれません。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[不応答例外] を選択します。
 - 番号を追加するには、[他を追加] を強調表示します。番号をダイヤルして [追加] を押します。
 - システムが発信通話に外部ダイヤルプレフィックスを使用する場合は、外部番号を例外として追加するとプレフィックスが追加されます。
 - 既存の番号を削除するには、それを強調表示して [削除] を押します。
4. 完了したら、[クリプトモード] を押します。

関連リンク

[応答不可](#) (65 ページ)

応答不可の短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

応答不可

- 応答不可をオンに切り替え：***08** - 電話を応答不可に設定します。
- 応答不可をオフに切り替え：***09** - 応答不可をオフに切り替えます。
- 応答不可例外番号を追加する：***10*N#** - 番号 (**NN**) を [応答不可] 例外のリストに追加します。
- 応答不可例外番号を削除する：***11*N#** - 番号 (**NN**) を [応答不可] 例外のリストから削除します。
- すべての転送をキャンセル：***00** - すべての転送（[無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む）をオフに切り替えます。

関連リンク

[応答不可](#) (65 ページ)

第 14 章: フォローミー

[フォローミー転送先] は、通話を一時的に共有する別の内線番号にリダイレクトする際に使用します。

通話は、自分のユーザー名付きで配信されるため、その内線番号の通常ユーザー宛の通話と区別できます。この機能により、他のユーザーに電話をログオフさせることなく、その電話を共有することができます。

すべての通話をリダイレクトしても、自分の電話で着信した時と同様に、自分のユーザー設定のすべてが通話に適用されます。

- [フォローミー転送先] は、自分の電話から [フォローミー] を有効にするときに使用します。
- [現在の番号へフォローミー転送] は、通話のリダイレクト先となる内線番号で [フォローミー] を有効にするときに使用します。

関連リンク

[フォローミー転送先 \(機能メニュー\)](#) (68 ページ)

[フォローミー \(ステータスメニュー\)](#) (69 ページ)

[現在の番号へフォローミー転送 \(機能メニュー\)](#) (69 ページ)

[フォローミー \(ステータスメニュー\)](#) (70 ページ)


[フォローミーの短縮コード](#) (70 ページ)

フォローミー転送先 (機能メニュー)

電話のメニューを使用して、[機能] 設定の設定やクリアを実行できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[次へ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[リダイレクト] を選択します。
4. 別ユーザーの番号をダイヤルします。番号がユーザーと一致すると、そのユーザー名が表示されます。または、[テンテン] ソフトキーを使用して電話帳からユーザーを選択します。

5. アクションを選択します。

- [保存] - 保存選択した番号を [フォローミー転送先] 転送先として保存します。自分宛の内線番号はすべて、その送信先にリダイレクトされます。
- [クリア] - 現在選択している、または設定されている番号をクリアします。
- [戻る] - 前のメニューに戻ります。


関連リンク

[フォローミー](#) (68 ページ)

フォローミー（ステータスメニュー）

通話の [リダイレクト] 転送先を設定している場合は、電話の [ステータス] メニューからこの設定をクリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[リダイレクト] を強調表示します。
 - [フォローミー転送先] 設定をクリアするには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - この設定の転送先を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。

関連リンク


[フォローミー](#) (68 ページ)

現在の番号へフォローミー転送（機能メニュー）

[フォローミー] は、[機能] メニューを使用して変更できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[次へ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[フォ-ミー] を選択します。
4. メニューを使用してユーザーを追加または削除します。
 - 上/下方向キーで、名前をスクロールします。

- ユーザーを削除するには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - ユーザーを追加するには、[追加] ソフトキーを押します。
 - 別ユーザーの番号をダイヤルします。番号がユーザーと一致すると、そのユーザー名が表示されます。または、[デフォルト] ソフトキーを使用して電話帳からユーザーを選択します。
 - [保存] ソフトキーを押してユーザーを追加します。
5. [保存] を押します。


関連リンク

[フォローミー](#) (68 ページ)

フォローミー (ステータスメニュー)

他のユーザーが、お使いの電話機に「フォローミー」機能を設定している場合は、[ステータス] メニューからこの設定をクリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[フォロ-ミー] を強調表示します。
 - 設定をクリアするには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - この設定の転送先を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。

関連リンク

[フォローミー](#) (68 ページ)

フォローミーの短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

フォローミー

- **現在の番号へフォローミー転送** : *12*N# - 通話のリダイレクト先にしたい内線番号で、この番号をダイヤルします。短縮コードをダイヤルするときは、自分の内線番号 (N) を使用します。
- **現在の番号へフォローミー転送キャンセル** : *13*N# - 通話をリダイレクトしている内線番号でこの番号をダイヤルします。短縮コードをダイヤルするときは、自分の内線番号 (N) を使用します。
- **フォローミー転送先** : *14*N# - ご利用の電話でこの番号をダイヤルします。通話のリダイレクト先にしたい内線番号 (N) をダイヤルします。*14# をダイヤルするだけで、フォローミー転送をキャンセルできます。
- **すべての転送をキャンセル** : *00 - すべての転送 ([無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む) をオフに切り替えます。

関連リンク

[フォローミー](#) (68 ページ)

第 15 章: ツイニング

ツイニングは、2つの電話で通話の呼び出しを行うプロセスです。ツイニングは、システム管理者が設定した場合にのみ使用できます。このシステムでは次のような複数のツイニング方法をサポートしています。

機能	説明
モバイルツイニング	<p>モバイルツイニングを使用すると、ご利用の電話番号と別の電話番号（外線番号の追加も可能）の両方で通話の呼び出しができるようになります。携帯電話ツイニングのユーザーとして設定された場合は、電話機のメニューから携帯電話ツイニングの使用をオン/オフに切り替えたり、ツイニング先の番号を変更したりすることができます。</p> <p>電話メニューを使用して、モバイルツイニングのオン/オフを切り替えたり、ツイニングされた通話の転送先番号を変更したりすることができます。</p>
内部ツイニング	<p>このツイニング方法では、通常の電話と別の内部電話をツイニングします。着信呼は両方の電話で鳴ります。また、どちらの内線番号からも通話を発信できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 通常の卓上電話を使用し、建物周辺を移動する時は携帯電話も必要となるユーザーなどが、内部ツイニングの典型例として挙げられます。• 設定は両方の電話に適用されます。メッセージランプ機能も同様に作動し、どちらの電話からもボイスメールのメールボックスにアクセスします。• 両方の電話が、システムに連絡先と通話履歴を保存する電話である場合は、それぞれの連絡先と通話履歴は同じものとなります。

関連リンク

[モバイルツイニングをオンに切り替える](#) (73 ページ)

[ツイニング番号を変更する](#) (73 ページ)

[携帯電話に通話を転送する](#) (74 ページ)

[ツイニングされた通話を回収する](#) (74 ページ)


[モバイルツイニングをオフに切り替える](#) (74 ページ)

モバイルツイニングをオンに切り替える

このツイニングメニューは、ユーザーがモバイルツイニングを使用できるように、システム管理者が設定している場合のみ使用できます。

- ボタンを「ツイニング」機能に設定することをお勧めします。ボタンを使用すると、ツイニング転送先に通話を転送したり、ツイニングされた通話を回収したり、すばやくツイニングメニューにアクセスしたりできます。

手順

1. 「機能」ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、「機能」を押します。
2. カーソルキーを使用して、「次へ」を選択します。
3. カーソルキーを使用して、「モバイルツイニング」を選択します。
4. ツイニング番号がまだ設定されていない場合は、「転送先」を選択して、「編集」をクリックします。必要な番号を入力して「選択」を押します。
5. 「ツイニング」を選択します。「オン」の順に押します。
6. 「保存」を押します。

関連リンク


[ツイニング](#) (72 ページ)

ツイニング番号を変更する

モバイルツイニング番号は、モバイルツイニングとフォールバックツイニングの両方に使用されます。内部ツイニングには使用されません。「[ツイニング](#) (72 ページ)」を参照してください。

この番号は外線番号になります。外線ダイヤルプレフィックスが使用されている場合は、設定した番号にその番号を含める必要があります。

手順

1. 「機能」ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、「機能」を押します。
2. カーソルキーを使用して、「次へ」を選択します。
3. カーソルキーを使用して、「モバイルツイニング」を選択します。
4. 「転送先」を強調表示して「編集」を押します。
 - [Bksp^e-s] を使用して既存の番号の最後の桁を削除します。
 - [クリア] を使用してすべての番号を削除します。
 - ツイニングする番号をダイヤルして「選択」を押します。

5. [保存] を押します。

関連リンク


[ツイング](#) (72 ページ)

携帯電話に通話を転送する

携帯電話ツイングのユーザーとして設定された場合は、機能メニューを使用して携帯デバイスに通話を転送できます。

- ・システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - ・通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[携帯に転送] を選択します。


関連リンク

[ツイング](#) (72 ページ)

ツイングされた通話を回収する

モバイルツイングを使用しているときは、携帯電話のツイング転送先にリダイレクトされ、そこで応答された通話を、ステータスメニューを使って元に戻すことができます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - ・通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[モバイルツインコール] を選択します。
3. [接続] の順に押します。


関連リンク

[ツイング](#) (72 ページ)

モバイルツイングをオフに切り替える

携帯電話ツイングのユーザーとして設定された場合は、[ステータス] メニューを使用して携帯電話ツイングモードをオフに切り替えられます。

手順


1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[モバイルツイニング] を強調表示します。
 - 設定をクリアするには、[オフ] ソフトキーを押します。
 - ツイニングメニューにアクセスするには、[詳細設定] を押します。

関連リンク

[ツイニング](#) (72 ページ)

第 4 部: 連絡先と通話ログ

第 16 章: コンタクト

このメニューは、 [連絡先] キーを押してアクセスします。これを使って、名前と番号を表示して、通話を発信することができます。

電話帳には、すべてのユーザーが使用するために保存された名前、自分のみが使用するために保存された名前、および電話システムのその他すべてのユーザーとグループの名前と番号が含まれます。

電話帳に表示される連絡先は、さまざまなソースを基にしています。

ソース/タイプ	説明
個人用	<p>これらの連絡先は、ユーザー設定の一部として電話システムに保存されています。</p> <ul style="list-style-type: none">この電話帳を使用しているときに、電話にその連絡先が表示されます。別の電話でホットデスクを使用すると、システムにはユーザーの連絡先も保存され、ユーザーの個人用連絡先がユーザーと共に移動します。最大 250 件の個人用電話帳エントリを所有でき、電話で追加、編集、削除することができます。 - 注：個人用電話帳エントリは最大 250 件まで保有できますが、システムの合計容量に達した場合は制限されることがあります。システム管理者は、ユーザーの個人用電話帳エントリの追加、編集、削除を実行できます。システム管理者は、[電話帳から除外] 設定を特定のユーザーグループとハントグループに適用できます。除外が適用されたグループは、他のユーザーに表示される電話帳には含まれなくなります。
ユーザー	<p>これらの連絡先では、電話システム上の他のすべてのユーザーがリストされます。ご利用のシステムが電話システムのネットワークの一部である場合は、他のシステムのユーザーが含まれます。</p>
グループ	<p>これらの連絡先には、電話システム上のすべてのハントグループがリストされます。ご利用のシステムが、電話システムのネットワークの一部である場合は、システム管理者がネットワークでの公開を設定しているハントグループが含まれます。</p>
外部	<p>これらの連絡先は、すべての電話ユーザーが閲覧して使用することができます。外部連絡先には、次の 2 種類があります。</p> <ul style="list-style-type: none">一部の外部連絡先は、システム管理者によって電話システム設定に組み込まれています。その他の外部連絡先は、他の電話帳ソースから電話システムによってインポートされたものです。

関連リンク

[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)

- [外部連絡先の管理](#) (81 ページ)
- [連絡先を表示する](#) (81 ページ)
- [電話帳からの発信](#) (82 ページ)
- [電話帳を他の機能に使用する](#) (83 ページ)
- [新しい連絡先の追加](#) (83 ページ)
- [通話履歴から連絡先を追加する](#) (84 ページ)
- [連絡先の編集](#) (85 ページ)
- [連絡先の削除](#) (85 ページ)

電話帳検索の仕組み

キーを次々とダイヤルするたびにプログレッシブマッチが適用され、電話帳検索が機能します。名前のすべての部分に対して同時に照合がかけられます。

- **4 (GHI キー)** を押して開始すると、名前の一部が **G**、**H** または **I** で始まるすべての名前が照合されます。
 - 次に **3 (DEF キー)** を押すと、表示される照合結果が、名前の一部が **Gd**、**Ge**、**Gf**、**Hd**、**He** など始まるものに絞られます。
- ダイヤルしていくと、ディスプレイに表示される名前の候補が減っていきます。
- いつでも、照合のリストをスクロールして結果の 1 つを選択するか、別のダイヤルパッドキーを押してさらに絞り込みます。

例えば、"*Henry Jones*"を検索するには、43679 と押して **HENRY** をダイヤルします。

Dial	H	E	N	R	Y
Matches	4GHI	3DEF	6MNO	7PQRS	9WXYZ
Adam Johns	Claire G reggs	G emma Jones	G emma Jones	H enrietta Green	H enry Jones
Bob Smith	G emma Jones	H enrietta Green	H enrietta Green	H enry Jones	H enry Smith
Claire Greggs	H arold Bishop	H enry Jones	H enry Jones	H enry Smith	
Gemma Jones	H enrietta Green	H enry Smith	H enry Smith	Tony G eorge	
Harold Bishop	H enry Jones	I da James	Tony G eorge	Simon	
Henrietta Green	H enry Smith	IT H elpdesk	Simon	H enricks	
Henry Jones	I da James	Tony G eorge	H enricks		
Henry Smith	IT H elpdesk	Simon			
Ida James	Tony G eorge	H enricks			
IT Helpdesk	Simon	Sales H elp			
London Office	H enricks				
John Smith	Sales H elp				
Tony George					
Simon Henricks					
Sales Support					
Sales Help					

または、「Henry Jones」を検索するには、「56637」と押して「JONES」をダイヤルすることもできます。

Dial	J	O	N	E	S
Matches	5JKL	6MNO	6MNO	3DEF	7PQRS
Adam Johns	Adam <u>J</u> ohns	Adams <u>J</u> ohns	Gemma <u>J</u> ones	Gemma <u>J</u> ones	Gemma <u>J</u> ones
Bob Smith	Gemma <u>J</u> ones	Gemma <u>J</u> ones	Henry <u>J</u> ones	Henry <u>J</u> ones	Henry <u>J</u> ones
Claire Greggs	Henry <u>J</u> ones	Henry <u>J</u> ones	<u>L</u> ondon Office	<u>L</u> ondon Office	
Gemma Jones	Ida <u>J</u> ames	<u>J</u> ohn Smith			
Harold Bishop	<u>J</u> ohn Smith	<u>L</u> ondon Office			
Henrietta Green	<u>L</u> ondon Office	Peter <u>J</u> ohnson			
Henry Jones	Peter <u>J</u> ohnson				
Henry Smith					
Ida James					
IT Helpdesk					
John Smith					
London Office					
Peter Johnson					
Tony George					
Simon Henricks					
Sales Support					
Sales Help					

追加のアクセント付き文字をダイヤルする

電話番号パッドのキーを使用すると、ボタンにマークされていない文字を入力できます。

例えば、[2] キーは **ABC** とのみ表記されていますが、これらの文字のアクセント付き形式 (À, Á, Â, Ã, Ä, Å, Ç など) と一致します。一致する追加の未表記文字は、システムの言語設定により異なります。

別の検索方法

デフォルトでは、名前の一致は、連絡先名のすべての部分（つまり、表示名の名、ミドルネーム、姓）に同時に適用されます。システム管理者は、必要に応じてこの方式を基本の検索方法に変更できます（姓名の先頭からのみと一致するなど）。ただし、変更はシステム上のすべての電話に適用されます。

関連リンク

[コンタクト](#) (77 ページ)

外部連絡先の管理

システム管理者によってユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合、ユーザーは一部の外部ディレクトリ連絡先を追加、編集、削除することもできます。


- これは、ユーザーがログインしている電話システムの設定に、ローカルに入力した外部ディレクトリの連絡先にのみ適用されます。
- システムによって他のソースからインポートされた外部ディレクトリの連絡先は編集できません。ただし、ローカルエントリが、インポートされたエントリと同じ名前または番号を使用して作成された場合、このインポート済みエントリが破棄され、ローカルエントリが選択されます。

関連リンク

[コンタクト](#) (77 ページ)

連絡先を表示する

手順

1. 電話帳の連絡先へのアクセスは、次の手順に従います。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するディレクトリエントリのタイプを選択します。
 - [すべて] - すべての電話帳エントリ。
 - [個人用] - ユーザーが所有する個人用電話帳エントリ。
 - [外部] - すべてのユーザーが使用する、テレフォニーシステムに保存された電話帳エントリ。
 - [ユーザー] - 電話システム上にある他のユーザーの名前と番号。
 - [グループ] - 電話システム上にあるハントグループの名前と番号。
 - a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、次の操作で、検索する名前をダイヤルし始め、一致したエントリのみを表示することもできます。
 - キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が入力されます。別のキーを押すと、そのボタンの文字が、直前に押したキーの文字に追加されます。
 - 例えば、**527** とダイヤルすると、**JAS** で始まるすべての名前（「Jason」など）と、**KAR** で始まるすべての名前（「Karl」など）に加えて、これらの3つのキータッチによる他の文字の組み合わせで始まる名前が特定されます。「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。
 - その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。
 - b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
2. 必要なエントリが強調表示されたら、[詳細設定] を押して、名前、番号、および連絡先のタイプを表示します。

3. 上/下方向キーで、連絡先をスクロールします。
4. 使用できるソフトキーは、電話帳のエントリタイプによって異なります。
 - [コール] - 保存された番号に電話をかけます。
 - [リスト] - 連絡先リストに戻ります。
 - [詳細] - 編集可能な連絡先の場合は、[詳細] ソフトキーで下のオプションにアクセスできます。
 - [編集] - 編集名前と番号を編集します。
 - [削除] - 名前と番号を削除します。
 - [新しい] - 新しい個人用電話帳の連絡先を追加します。

関連リンク


[コンタクト](#) (77 ページ)


電話帳からの発信

電話帳の連絡先を使用して電話をかけることができます。

- また、電話帳を使用すると、機能のメニューに [デフォルト] ソフトキーが表示されているときであれば、いつでも連絡先を選択できます。その場合は、その機能でサポートされている連絡先のタイプのみが自動的に表示されます。

手順

1. 連絡先電話帳へのアクセスは、次の手順に従います。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するディレクトリエントリのタイプを選択します。
 - [すべて] - すべての電話帳エントリ。
 - [個人用] - ユーザーが所有する個人用電話帳エントリ。
 - [外部] - すべてのユーザーが使用する、テレフォニーシステムに保存された電話帳エントリ。
 - [ユーザー] - 電話システム上にある他のユーザーの名前と番号。
 - [グループ] - 電話システム上にあるハントグループの名前と番号。
 - a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、次の操作で、検索する名前をダイヤルし始め、一致したエントリのみを表示することもできます。
 - キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が入力されます。別のキーを押すと、そのボタンの文字が、直前に押したキーの文字に追加されます。
 - 例えば、**527** とダイヤルすると、**JAS** で始まるすべての名前（「Jason」など）と、**KAR** で始まるすべての名前（「Karl」など）に加えて、これらの 3 つのキータッチによる他の文字の組み合わせで始まる名前が特定されます。「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。

- その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。
 - b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
2. 必要なエントリが強調表示されたら、[コール] を押すか、名前の隣にある  ボタンを押します。
 3. 通常のダイヤル通話と同様に続行します。

関連リンク

[コンタクト](#) (77 ページ)

電話帳を他の機能に使用する

番号のエントリが必要となる他のメニューでは、電話帳を使用して、既存の番号を名前で選択できることがあります。このオプションが利用できる場合は、[デソフョウ] ソフトキーが表示されます。

このように電話帳を使用するときに表示される連絡先は、設定されている機能のタイプによって異なります。例えば、グループ名のみが表示される機能もあれば、ユーザー名のみが表示される機能もあります。

手順

1. [デソフョウ] ソフトキーを押します。
2. 一致リストを表示するか、[リスト] ソフトキーを押してすべての名前を表示して、名前をダイヤルします。
 - a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、検索する名前のダイヤルを開始し、一致したエントリのみを表示します。名前をダイヤルしている場合、名前の全リストに戻るには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
3. 必要なエントリが強調表示されたら、[選択] を押します。
4. [デソフョウ] ソフトキーを選択したメニューに戻ります。

関連リンク


[コンタクト](#) (77 ページ)

新しい連絡先の追加

電話システムが容量に達しない限りは、最大 250 件の個人用電話帳エントリを追加できます。

- システム管理者によってユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合、ユーザーは一部の外部ディレクトリ連絡先を追加、編集、削除することもできます。

手順

1. 次の手順で個人用電話帳の連絡先にアクセスします。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーで、[個人用] 電話帳を選択します。
2. [新規] ソフトキーを押します。
 - a. これでメニューから名前と番号を編集できます。「[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)」を参照してください。
 - b. 上/下方向キーで、番号と名前のエントリを切り替えます。
 - c. 必要に応じて名前と番号を入力したら、[保存] ソフトキーを押します。
 - d. 変更せずに終了するときは、[キャンセル] ソフトキーを押します。





関連リンク

[コンタクト](#) (77 ページ)

通話履歴から連絡先を追加する

通話の履歴に表示される名前と番号を、個人用連絡先に追加できます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. [詳細] を押してから [登録] ソフトキーを押します。
3. 上/下方向キーで、新しい連絡先の名前と番号の詳細を切り替えます。
4. 電話キーパッドと [Bksp^e-s] ソフトキーを使用して、名前と番号を編集できます。「[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)」を参照してください。
5. 必要に応じて名前と番号を設定したら、[保存] ソフトキーを押します。名前と番号を保存せずに戻るには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク


[コンタクト](#) (77 ページ)

連絡先の編集

自分の個人用電話帳で連絡先を編集できます。

- ・システム管理者によってユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合、ユーザーは一部の外部ディレクトリ連絡先を追加、編集、削除することもできます。

手順

1. 次の手順で個人用電話帳の連絡先にアクセスします。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーで、[個人用] 電話帳を選択します。
 - a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、次の操作で、検索する名前をダイヤルし始め、一致したエントリのみを表示することもできます。
 - ・キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が入力されます。別のキーを押すと、そのボタンの文字が、直前に押したキーの文字に追加されます。
 - ・例えば、**527** とダイヤルすると、**JAS** で始まるすべての名前（「Jason」など）と、**KAR** で始まるすべての名前（「Karl」など）に加えて、これらの3つのキータッチによる他の文字の組み合わせで始まる名前が特定されます。「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。
 - ・その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。
 - b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
2. 必要なエントリを探して、[詳細設定] を押します。
3. [詳細]、[編集] の順に押します。
 - a. これでメニューから名前と番号を編集できます。「[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)」を参照してください。
 - b. 上/下方向キーで、番号と名前のエントリを切り替えます。
 - c. 必要に応じて名前と番号を入力したら、[保存] ソフトキーを押します。
 - d. 変更せずに終了するときは、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク


[コンタクト](#) (77 ページ)

連絡先の削除

自分の個人用電話帳から連絡先を削除できます。

- ・システム管理者によってユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合、ユーザーは一部の外部ディレクトリ連絡先を追加、編集、削除することもできます。


手順

1. 次の手順で個人用電話帳の連絡先にアクセスします。
 - a.  [連絡先] キーを押します。[電話帳] メニューが表示されます。
 - b. 左/右方向キーで、[個人用] 電話帳を選択します。
 - a. 上/下方向キーで、リストをスクロールします。または、次の操作で、検索する名前をダイヤルし始め、一致したエントリのみを表示することもできます。
 - キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が入力されます。別のキーを押すと、そのボタンの文字が、直前に押したキーの文字に追加されます。
 - 例えば、**527** とダイヤルすると、**JAS** で始まるすべての名前（「Jason」など）と、**KAR** で始まるすべての名前（「Karl」など）に加えて、これらの3つのキータッチによる他の文字の組み合わせで始まる名前が特定されます。「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。
 - その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。
 - b. さらに強調表示された名前の詳細を表示するには、[詳細設定] を押します。電話帳に戻るには、[リスト] を押します。
2. 必要なエントリを探して、[詳細設定] を押します。
3. [詳細]、[削除] の順に押します。
4. [削除] をもう一度押して、アクションを確定します。

関連リンク

[コンタクト](#) (77 ページ)

第 17 章: コールログを使用する

このメニューは、キーを押してアクセスします。表示される通話の履歴は、電話システムに保存されている通話の履歴です。

別の電話でログインする場合は、通話の履歴がユーザーと共に移動します。


通話の履歴には直近の応答呼、ユーザーが発信した直近の通話、および直近の不在着信が含まれます。システム管理者が設定している場合は、ユーザーがメンバーとして所属するハントグループごとに、直近の不在着信も含まれることがあります。

関連リンク

- [不在着信](#) (87 ページ)
- [グループ通話の不在着信](#) (87 ページ)
- [通話履歴にアクセスする](#) (88 ページ)
- [通話履歴から発信する](#) (88 ページ)
- [通話の詳細を表示する](#) (89 ページ)
- [通話履歴から通話を削除する](#) (90 ページ)
- [通話履歴全体を削除する](#) (90 ページ)
- [通話履歴の通話を連絡先に追加する](#) (91 ページ)

不在着信

不在着信は、ユーザーが応答しなかったユーザー宛の通話を指します。また、システム管理者はユーザー宛に配信され、他のユーザーやボイスメールで応答した通話をログに含めるかどうか設定できます。

通話の履歴に新しい不在着信があると、ボタンが点灯します。通話の履歴で不在着信を確認したり、その通話のレコードが通話の履歴からなくなると、ランプが消えます。

関連リンク

- [コールログを使用する](#) (87 ページ)

グループ通話の不在着信

ユーザーがハントグループのメンバーである場合、システム管理者は、不在着信履歴にハントグループ通話の不在着信を含めるかどうかを設定できます。






ハントグループの不在着信が、必ずしもユーザーの電話を呼び出すわけではありません。通話がハントグループに配信され、メンバーが応答しなかった場合に、不在着信として記録されません。

関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話履歴にアクセスする

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. 機能名の下にあるソフトキーを押すと、ディスプレイ下に一覧表示される機能を使用できます。
 - [コール] - 現在表示されている通話の履歴レコードに保存された番号に電話をかけます。
 - [詳細設定] - 現在の通話の履歴レコードに関するその他の詳細を表示します。必要に応じて、個人用電話帳に発呼者の詳細を追加することもできます。
 - [詳細] - 利用できるさまざまなソフトキー機能を切り替えます。
 - [削除] - 現在表示されているレコードを削除します。
 - [全クリア] - 表示されている現在のレコードタイプだけでなく、すべての通話の履歴レコードを削除します。
 - [登録] - 強調表示されている通話の履歴レコードを個人用連絡先に追加します。
3. 通話の履歴を終了するには、 [PHONE] ボタンを押します。





関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話履歴から発信する

通話履歴を使用して発信できます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. [コール] を押して、通話履歴に表示された番号に発信します。発呼者が番号を非通知にしている場合、このオプションは使用できません。





関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話の詳細を表示する

現在表示されている通話について、追加の詳細を表示できます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. [詳細設定] ソフトキーを押します。現在選択している通話レコードの詳細が個別に表示されます。利用可能な値は以下のとおりです。
 - **名前** - 発呼者の名前（分かる場合）。
 - **番号** - 発呼者の番号（利用可能な場合）。
 - **日付と時刻** - 通話の時間。
 - **コールタイプアイコン** - 通話レコードのタイプ。
 - **対象件数** - タイプ、名前、番号が同じ通話の発生回数。通話の履歴には、最も新しい通話の詳細のみが保持されます。ただし、対象件数は、発呼者が何度も呼び出した、または呼び出していることを示します。
 - **時間** - 通話の長さ。
3. 通話履歴の詳細に表示されている間、以下のソフトキー機能を使用できます。
 - [コール] - 現在表示されている通話の履歴レコードに保存された番号に電話をかけます。

- [リスト] - 別の通話レコードを選択するには、標準の発信画面に戻ります。また、上/下方向キーを使用して、前のレコードまたは次のレコードを表示することもできます。
- [削除] - 現在表示されているレコードを削除します。
- [詳細] - 利用できるさまざまなソフトキー機能を切り替えます。
- [全クリア] - 表示されている現在のレコードタイプだけでなく、すべての通話の履歴レコードを削除します。
- [登録] - 強調表示されている通話の履歴レコードを個人用連絡先に追加します。





関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話履歴から通話を削除する

現在表示されている通話レコードを削除できます。レコードがハントグループ通話の不在着信である場合、そのレコードは同じハントグループの不在着信を表示するように設定された他ユーザーの通話履歴からも削除されます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. 必要なレコードが強調表示されたら、[詳細] を押してから [削除] を押します。


関連リンク




[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話履歴全体を削除する

通話の履歴からすべての通話レコードを削除できます。このアクションによって、現在表示しているタイプだけでなく、すべての通話の履歴が削除されます。

手順

1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。

- b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. 必要なレコードが強調表示されたら、[詳細] を押してから [全クリア] を押します。





関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

通話履歴の通話を連絡先に追加する

通話の履歴に表示される名前と番号を、個人用連絡先に追加できます。

手順


1. 通話履歴にアクセスします。
 - a.  [コール ログ] ボタンを押します。
 - 新しい不在着信がある場合は、ボタンが点灯し、不在着信を示す通話の履歴が開きます。
 - b. 左/右方向キーを使用して、表示するタイプを [すべて]、 [発信]、 [受信]、 [不在着信] から選択します。
 - c. 上/下方向キーで、レコードをスクロールします。
2. [詳細] を押してから [登録] ソフトキーを押します。
3. 上/下方向キーで、新しい連絡先の名前と番号の詳細を切り替えます。
4. 電話キーパッドと [Bkスペース] ソフトキーを使用して、名前と番号を編集できます。「[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)」を参照してください。
5. 必要に応じて名前と番号を設定したら、[保存] ソフトキーを押します。名前と番号を保存せずに戻るには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク

[コールログを使用する](#) (87 ページ)

第 5 部: ボイスメール

第 18 章: ボイスメール

電話システムにボイスメールサーバーが含まれる場合は、 [メッセージ] ボタンでボイスメールにアクセスします。システム管理者は、ボイスメールサーバーの音声プロンプト、または「ビジュアルボイス」と呼ばれる電話のビジュアルメニューのいずれをアクセスに使用するかを設定できます。本ガイドでは、ビジュアルボイスメニューの使用に関するデフォルトの操作を前提にしています。

このセクションでは、電話のメニューから使用できるボイスメール機能のみを説明しています。使用可能なメールボックス制御のすべての範囲については、「[その他のメールボックスガイド](#) (100 ページ)」を参照してください。

関連リンク

- [メッセージランプ機能](#) (93 ページ)
- [ビジュアルボイスメニューにアクセスする](#) (94 ページ)
- [ビジュアルボイスを使用したメッセージのチェック](#) (94 ページ)
- [メッセージを残す](#) (95 ページ)
- [ボイスメール電子メールの使用](#) (96 ページ)
- [メールボックスのあいさつを録音する](#) (96 ページ)
- [名前の録音](#) (97 ページ)
- [ボイスメールコードの変更](#) (98 ページ)
- [ボイスメールのオン/オフ切り替え](#) (98 ページ)
- [通話をボイスメールに転送する](#) (99 ページ)
- [着信呼をメールボックスに送信する](#) (99 ページ)
- [ボイスメールの短縮コード](#) (99 ページ)
- [その他のメールボックスガイド](#) (100 ページ)

メッセージランプ機能


電話のメッセージランプは、ボイスメールメールボックスに新規メッセージがあることを示します。

また、システム管理者は、ユーザーがハントグループまたは他のユーザーの新しいメッセージランプ機能を受信するように設定することもできます。

関連リンク


- [ボイスメール](#) (93 ページ)

ビジュアルボイスメニューにアクセスする

通常は、 [メッセージ] キーを押すと、携帯電話のビジュアルボイスメニューにアクセスできますが、デフォルトで音声プロンプトを使用するようにシステムが設定されている場合は、次のプロセスを使用してビジュアルボイスメニューにアクセスできます。

- ボイスメールを使用する同時ユーザー数は、システムライセンスによって制限できます。ライセンスが不要に使用されるのを防ぐため、アイドル状態の場合は 10 分後に電話が自動的にビジュアルボイスメニューを終了します。

手順


1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[ボイスメール] を選択します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

ビジュアルボイスを使用したメッセージのチェック

手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. [再生] オプションに対し表示される数字は、メールボックス内の新規、旧、保存済みのメッセージ数を示します。
 - システム管理者がユーザーに、他のユーザーまたはハントグループメールボックスのメッセージランブ機能を受信するように設定している場合、ユーザーは上/下方向キーでメールボックス内のメッセージにアクセスする名前を強調表示できます。
4. [再生] を強調表示して [選択] を押します。
5. 上/下方向キーで、再生するメッセージ ([新しい]、[使用中]、または [保存済み]) を強調表示して、[選択] を押します。そのタイプの最初にあるメッセージの詳細が表示されます。
6. 上/下方向キーを使用して、メッセージをスクロールできます。
7. ソフトキーを使用して、現在強調表示されているメッセージの再生操作を制御します。
 - 次のメッセージまたは前のメッセージを選択するには、上/下方向キーを使用します。

- 再生中のメッセージを 5 秒間早送りまたは巻き戻しするには、右/左方向キーを使用します。
- [コール] - メッセージを残した相手に発信します。
- [戻る] - 戻る前のメニューに戻ります。
- [再生] / [一時停止] - 現在表示されているメッセージの再生を開始/停止します。
- [削除] - メッセージを削除します。
- [保存] - 保存メッセージを保存済みにします。保存済みメッセージは通常、自動的に削除されません。
- [コピー] - メッセージを別のメールボックスにコピーします。メニューに、送信先番号の入力を促すプロンプトが出ます。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

メッセージを残す

ビジュアルボイスを使用して、ボイスメールメッセージを録音し、他のユーザーのメールボックスに送信することができます。

手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. カーソルキーを使用して、[メッセージ] を選択します。
4. [録音] を押して、メッセージの録音を開始します。
5. 録音を停止するには、[停止] を押します。
6. 次のソフトキーを使用できるようになります。
 - [新しい] - もう一度メッセージを録音します。
 - [宛先] - メッセージの送信先となる番号を入力して [追加] を押します。複数の番号を追加できます。メッセージの送信先となる番号リストが完了したら、[送信] を押します。
 - [再生] - 録音メッセージを聞きます。
 - [キャンセル] - メッセージを破棄します。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

ボイスメール電子メールの使用

ボイスメール用電子メールは、ボイスメールのメールボックスでボイスメールメッセージを受信すると、電子メールアドレスに電子メールが送信される機能です。電子メールにボイスメールメッセージを添付ファイルとして追加することも、電子メールを単なるアラートとして送信することもできます。

手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. 上/下方向キーで、[メールアドレス] オプションまでスクロールします。このオプションは、システム管理者がユーザーのボイスメール設定に電子メールアドレスを設定している場合にのみ利用できます。
4. メニューには、現在のボイスメール用電子メールモード設定が表示されます。[変更] を押して、使用可能な設定をスクロールします。
 - [オフ] - 電子メールを一切送信しません。
 - [コピー] - 新規ボイスメールメッセージのコピーを添付して電子メールを送信します。
 - [次へ] - 新規ボイスメールメッセージを添付して電子メールを送信し、ボイスメールメールボックスからそのメッセージを削除します。
 - [警告] - 新規メッセージがあることを知らせる電子メールを送信しますが、メッセージのコピーは添付しません。
5. 必要な設定が表示されたら、[保存] を押します。設定を変更せずに終了するときは、[キャンセル] を押します。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

メールボックスのあいさつを録音する

ボイスメールシステムでは、発呼者にメッセージの録音を促す一般的なあいさつを再生させることができますが、ユーザーは自分のメールボックスのあいさつに置き換えることができます。

手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. 上/下方向キーで、[あいさつ] を選択して [選択] を押します。

4. ソフトキーを使用して、メールボックスのあいさつを再生したり、録音したりします。
 - [録音] - 新しいあいさつを録音します。あいさつは3秒以上を録音してください。あいさつが短いとボイスメールシステムに破棄されますのでご注意ください。
 - [再生] - 現在のあいさつまたは録音したばかりの新しいあいさつを再生します。
 - [送信] - 新しい録音をメールボックスのあいさつとして送信します。
 - [削除] - メールボックスのあいさつを削除します。メールボックスは、システムのデフォルトのあいさつを再び使用します。
 - [キャンセル] - 新しい通話記録をキャンセルし、メインビジュアルボイスメニューに戻ります。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

名前の録音

次の手順を使用して、メールボックス名を録音します。この機能は、内蔵ボイスメールを使用するシステムでのみ利用できます。

手順


1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. カーソルキーを使用して、[名前] を選択します。
4. ソフトキーを使用して、メールボックス名を再生したり、録音したりします。
 - [録音] - 録音新しい名前を録音します。
 - [再生] - 既存の通話記録や記録したばかりの通話記録を再生します。
 - [送信] - 新しい通話記録をメールボックス名として送信します。
 - [削除] - 現在の名前を削除します。
 - [キャンセル] - 新しい通話記録をキャンセルし、メインビジュアルボイスメニューに戻ります。

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

ボイスメールコードの変更

手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. カーソルキーを使用して、[パスワード] を選択します。
4. 現在のパスワードを入力して、[保存] を押します。
5. 使用する新しいパスワードを入力します。必要なパスワードの入力が完了したら、[保存] を押します。
 - システム管理者は、コードの必要な長さに対して規則を設定したり、明白なコード（1234, 1111）の使用をブロックできます。これらの要件が満たされるまで新しいコードは保存できません。システム設定の詳細は、必要に応じてシステム管理者にお問い合わせください。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

ボイスメールのオン/オフ切り替え

電話システムで、不在着信への応答にボイスメールを使用するかどうかを制御できます。これによって、メールボックスをオフにすることなく、メールボックスにアクセスして、既存メッセージを再生したり、他の機能を使用したりすることができます。


手順

1.  [メッセージ] ボタンを押します。
 - システムの設定方法によっては、ボイスメールのパスワードを入力して、[クリプトモード] を押すように要求される場合があります。
2. [ボイスメール] メニューが表示されます。
3. 上/下方向キーで、[ボイスメール] を強調表示します。
4. [変更] を押して、[オン] または [オフ] を切り替えます。
5. [保存] を押して変更を保存します。


関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

通話をボイスメールに転送する

ビジュアルボイスモードに設定しているときは、 [メッセージ] キーを使用して、現在の通話を別のユーザーまたはグループのボイスメールメールボックスに転送できます。

手順

1. 通話が接続された状態で、 [メッセージ] キーを押します。さらに通話に接続された状態で、通話を続行できます。
2. 通話の転送先となるユーザーまたはグループの内線番号をダイヤルします。
3. 番号がユーザーまたはグループに一致すると、その名前が表示されます。
 - ユーザーまたはグループのメールボックスに通話を転送するには、[選択] を押しします。発呼者には、数秒間の着信音に続いてメールボックスのあいさつが聞こえます。
 - 転送をキャンセルするには、[キャンセル] を押しします。

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

着信呼をメールボックスに送信する

自分宛の通話を直接自分のボイスメールメールボックスに転送できます。

手順

1. 通話が、ディスプレイで現在強調表示されていない場合は、上/下方向キーで強調表示させます。
2. [ボイスメール] ソフトキーを押します。通話はメールボックスにリダイレクトされます。

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

ボイスメールの短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

ボイスメール

- **メッセージの確認** : *17 - メールボックスにアクセスしてメッセージを確認します。
- **ボイスメールをオンにする** : *18 - 通話への応答にボイスメールを使用できるようにします。
- **ボイスメールをオフにする** : *19 - 通話への応答にボイスメールの使用を停止します。
- **ボイスメールのリングバックをオンにする** : *48 - 新規メッセージの着信時に、ボイスメールに電話の呼び出しをさせます。次に電話を使用する際に呼び出されます。
- **ボイスメールのリングバックをオフにする** : *49 - リングバックをオフに切り替えます。

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

その他のメールボックスガイド

電話のメニューからメッセージにアクセスすることもできますが、*17をダイヤルして、音声メニュープロンプトからメールボックスにアクセスすることもできます。システム管理者は、音声メールボックスプロンプトにリモートでアクセスする方法を設定することもできます。

使用されているボイスメールサーバーと実行中のモードに応じて、次のいずれかのユーザーガイドを使用して、利用可能な機能を把握できます。

- [Using IP Office Embedded Voicemail IP Office Mode](#)
- [Using IP Office Embedded Voicemail Intuity Mode](#)
- [Using a Voicemail Pro Intuity Mode Mailbox](#)
- [Using a Voicemail Pro IP Office Mode Mailbox](#)

関連リンク

[ボイスメール](#) (93 ページ)

第 6 部: その他の機能

第 19 章: アカウントコード

電話システムには複数のアカウントコードを保存できます。アカウントコードを使用して、特定のアクティビティやクライアントに関する通話を追跡できます。また、特定のユーザーや複数のユーザーごとに通話を追跡するときにも使用できます。

- 通話の発信時や通話中にアカウントコードを入力すると、そのアカウントコードはシステムによってコールレコード出力に取り込まれます。
- 入力したアカウントは、電話システムに保存されたアカウントと照合されます。無効なコードが入力されている場合、もう一度アカウントコードが要求されます。
- システム管理者は、ユーザーが特定の番号や特定タイプの番号への発信を続行する前に、アカウントコードの入力が必要となるよう設定することができます。
- また、システム管理者は、ユーザーが外線呼を発信する前にアカウントコードの入力が必要となるよう設定することもできます。

関連リンク

[強制アカウントコード](#) (102 ページ)

[手動アカウントコード入力](#) (103 ページ)

強制アカウントコード

システム管理者は、ユーザーが特定の番号や特定タイプの番号への発信を続行する前に、アカウントコードの入力が必要となるよう設定することができます。

手順

1. [アカウントコード] メニューは、アカウントコードの入力が必要な場合に表示されません。
2. 使用するアカウントコードを入力します。
3. [クリプトモード] ソフトキーを押します。
4. アカウントコードが有効でない場合は、[アカウントリニューヨク] メニューが表示されます。

関連リンク


[アカウントコード](#) (102 ページ)

手動アカウントコード入力

通話中または通話の発信前にアカウントコードを入力できます。入力するアカウントコードは、電話システムに設定されているアカウントコードと一致する必要があります。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。
- このメニューへのアクセスは、[アカウントコード] アクションを設定したプログラム可能なボタンに割り当てることができます。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[アカウントコード] を強調表示します。
4. [セット] ソフトキーを押します。
5. 使用するアカウントコードを入力します。
6. [クリプトモード] ソフトキーを押します。
7. アカウントコードが有効でない場合は、[失敗しました] メニューが表示されます。

関連リンク

[アカウントコード](#) (102 ページ)

第 20 章: ヘッドセットの操作








電話機はヘッドセット端子を備えています。これは、HIS ヘッドセットケーブルで接続する電話用ヘッドセットの接続に適しています。

- 接続完了呼が現在ない場合、アピアランスボタンを押して応答または発信した通話は、電話機の音声パス設定に従って、ハンズフリーまたはヘッドセットのいずれかで接続されます。「[デフォルトハンズフリー音声パス](#) (105 ページ)」を参照してください。新しい通話にダイヤルする場合も同様です。
- すでにヘッドセットで通話中の接続完了呼がある場合、アピアランスボタンを押して別の通話に応答すると、ヘッドセットでその通話に応答することになります。

関連リンク

- [ヘッドセットの使用](#) (104 ページ)
- [ヘッドセットの発呼者ボリューム](#) (105 ページ)
- [自動ゲイン制御](#) (105 ページ)
- [デフォルトハンズフリー音声パス](#) (105 ページ)

ヘッドセットの使用

- ヘッドセットで通話に応答する :  [イヤホン] ボタンを押します。
- ヘッドセット通話を終了する :  [イヤホン] ボタンを押します。相手側が通話を終了した場合は、 [イヤホン] ボタンはアクティブなままです。ヘッドセットの使用を終了するときはこのボタンを押します。
- ヘッドセットからハンドセットに切り替えるには : ヘッドセットからハンドセットに切り替えるには、ハンドセットを持ち上げるだけです。
- ヘッドセットからハンズフリーに切り替える : ヘッドセットからハンズフリーに切り替えるには、 [イヤホン] ボタンを押します。受話器を元の位置に戻します。
- ヘッドセットからハンズフリーに切り替える :  [スピーカー] ボタンを押します。「[ハンズフリースピーカーの操作](#) (107 ページ)」を参照してください。
- ハンズフリーからヘッドセットに切り替える :  [イヤホン] ボタンを押します。通話をハンズフリーで接続させると、このボタンが点灯します。
- ヘッドセット使用中に通話をミュートするには :  [ミュート] ボタンを押します。通話がミュート中は、このボタンが点灯したままになります。

関連リンク

- [ヘッドセットの操作](#) (104 ページ)

ヘッドセットの発呼者ボリューム

ヘッドセットを介して通話しているときは、発呼者の音量を調整できます。

手順

1. [+] プラスと [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常が表示に戻ります。

関連リンク

[ヘッドセットの操作](#) (104 ページ)

自動ゲイン制御

自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、着信呼の音量が大小に変化しても、電話が一定のオーディオレベルを維持しようとします。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[自動ゲイン制御] を選択します。
5. カーソルキーを使用して、[ハンドセット]、[ヘッドセット]、[スピーカー] を切り替えます。
6. 強調表示された設定を変更するには、[トグル] を押します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[ヘッドセットの操作](#) (104 ページ)

デフォルトハンズフリー音声パス

デフォルトでは、ハンドセットを持ち上げずに電話をかけたか、通話に 응답したりした場合、電話のマイクを介して話している間は、音声は電話のスピーカーから再生されます。

ヘッドセットを接続している場合は、デフォルトでスピーカーではなくヘッドセットから音声再生されるように、電話の動作を変更できます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。

ヘッドセットの操作

3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[オーディオパス] を強調表示します。
5. 左/右方向キーで、[ヘッドセット] または [スピーカー] を切り替えます。
6. 完了したら、[保存] を押します。
7. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[ヘッドセットの操作](#) (104 ページ)

第 21 章: ハンズフリースピーカーの操作

電話には、スピーカーとマイクが搭載され、ハンズフリーで通話の発信や応答ができます。スピーカーはハンドセットの下にあります。マイクは、電話キーパッドの右下近くに配置されています。

- 現在通話中の接続完了呼がない場合、アピアランスボタンを押して応答した通話は、電話機の音声パス設定に応じて、ハンズフリーまたはヘッドセットのいずれかで接続されます。
- すでに通話中の接続完了呼がある場合、アピアランスボタンを押して別の通話に応答すると、ハンズフリーでその通話に応答することになります。

会議電話

ご利用の電話は、会議室用スピーカーフォンとして設計されたものではありません。マイクとユーザー間に一切の障害物がない状態で、電話の前に直接置いて使用するよう設計されています。会議用スピーカーフォンとして使用するために設計された電話機には、通常複数のマイクが搭載され、多方向から入るサウンドの処理が可能です。ご利用の電話機でサポートされる会議用スピーカーフォンの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。





関連リンク


- [ハンズフリーの使い方](#) (107 ページ)
- [スピーカー音量](#) (108 ページ)
- [既定のオーディオパス](#) (108 ページ)
- [自動ゲイン制御](#) (108 ページ)

ハンズフリーの使い方

手順

ハンズフリーで作業するには、次のオプションを使用します。

- ハンズフリーで通話に応答するには： [スピーカー] ボタンを押します。通話をハンズフリーで接続させると、このボタンが点灯します。
- ハンズフリー通話を終了するには： [スピーカー] ボタンを押します。
- ハンズフリーからハンドセットに切り替えるには：ハンドセットを持ち上げるだけです。
- ハンドセットからハンズフリーに切り替えるには： [スピーカー] ボタンを押します。通話をハンズフリーで接続させると、このボタンが点灯します。受話器を元の位置に戻します。
- ハンズフリーからヘッドセットに切り替えるには： [ヤコ] ボタンを押します。「[ヘッドセットの操作](#) (104 ページ)」を参照してください。

- ・ハンズフリーの間、通話をミュートするには： [ミュート] ボタンを押します。

関連リンク

[ハンズフリースピーカーの操作](#) (107 ページ)

スピーカー音量

スピーカーを介して通話しているときは、発呼者の音量を調整できます。

手順

1. [+] プラスと [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常の表示に戻ります。

関連リンク

[ハンズフリースピーカーの操作](#) (107 ページ)

既定のオーディオパス

デフォルトでは、ハンドセットを持ち上げずに電話をかけたり、通話に应答したりした場合、電話のマイクを介して話している間は、音声は電話のスピーカーから再生されます。

ヘッドセットを接続している場合は、デフォルトでスピーカーではなくヘッドセットから音声再生されるように、電話の動作を変更できます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[オーディオパス] を強調表示します。
5. 左/右方向キーで、[ヘッドセット] または [スピーカー] を切り替えます。
6. 完了したら、[保存] を押します。
7. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[ハンズフリースピーカーの操作](#) (107 ページ)

自動ゲイン制御

自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、着信呼の音量が大小に変化しても、電話が一定のオーディオレベルを維持しようとします。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[自動ゲイン制御] を選択します。
5. カーソルキーを使用して、[ハンドセット]、[ヘッドセット]、[スピーカー] を切り替えます。
6. 強調表示された設定を変更するには、[トグル] を押します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[ハンズフリースピーカーの操作 \(107 ページ\)](#)

第 22 章: ログイン/ログアウト

いつでも同じ場所で同じ電話機を使用できるとは限りませんが、電話システムならさまざまな機能が用意され、システム上のどの電話機でも通話の発信や受信ができます。

ログイン

どの電話を使用してもログインできます。ログインすると、ユーザー宛のすべての通話はその電話にリダイレクトされ、ご利用のユーザー設定が発信や受信した通話に適用されます。システムに連絡先や通話履歴を保存する電話であれば、その連絡先や通話履歴は電話によって表示されません。

- ユーザーがログインしている間は、その電話の他の既存ユーザーはログアウトされます。
- また、別の電話にログインすると、以前の電話からログアウトされます。
- ご利用の電話システムが、電話システムのネットワーク内にある場合、そのネットワークにある他の電話システムに配置された内線でログインできることがあります。ユーザーが「リモートホットデスク」を使用できるかどうか、また使用する場合の利用可能な機能については、システム管理者が通知を行います。

ログアウト

電話からログアウトするとき、またはログインしている別のユーザーによりログアウトされたとき、電話システムが複数の操作を適用することがあります。

- 標準のデフォルト内線番号があり他のだれもログインしていない場合、その電話のログイン状態に戻ります。
- ユーザーがログアウト状態になると、ユーザー宛のすべての通話は、ボイスメール（使用可能な場合）に転送される場合を除き、「応答不可」と同様に処理されます。
- ユーザーが携帯電話へツイニングされた番号を所有する場合、システム管理者は、ユーザーのログアウト中でもツイニングされた携帯電話へ通話が配信されるようにシステムを設定できます。
- システム管理者は、その時点でユーザーが電話で通話の発信や応答をしていない場合に、自動的にユーザーをログアウトさせるタイムアウトを設定できます。

ロック/ロック解除

ログイン/ログアウト別に、電話設定をロックできます。ロック中でも、通話の応答や、内部通話/緊急通話の発信に電話を使用できますが、外線呼の発信に使用したり、電話機メニューからユーザー設定にアクセスすることはできません。

- 非アクティブ時間経過後に自動でロックするよう、電話を設定できます。

関連リンク

[ログイン](#) (111 ページ)

[ログアウト](#) (112 ページ)

[セキュリティ暗証番号の変更](#) (113 ページ)

[電話機をロックする](#) (114 ページ)

[電話機のロック解除](#) (114 ページ)

[自動ロック](#) (115 ページ)

[ログイン短縮コード](#) (116 ページ)

ログイン

電話へのログイン時に、その電話をコントロールします。ユーザー宛の着信呼がその電話にリダイレクトされ、ご利用のユーザー情報と設定が使用できます。ユーザーがログインすると、その電話の既存ユーザーはログオフされます。

ログイン方法は電話の現在の状態によって異なります。

- **電話使用中** - 電話がすでに使用中でもログインできます。既存のユーザーはログアウトされます。
- **ログアウト済み - ログインしていない** - 現在電話にユーザーがいない場合、[ログイン] オプションのみを含む基本メニューが表示されます。この状態でも、電話で内線と緊急通話の発信はできます。

関連リンク

[ログイン／ログアウト](#) (110 ページ)

[別のユーザーの電話にログインする](#) (111 ページ)

[「未ログイン」電話でログインする](#) (112 ページ)

[未登録の電話でログインする](#) (112 ページ)

別のユーザーの電話にログインする

すでに別のユーザーが使用している電話でログインできます。既存のユーザーはログアウトされます。

手順

1. [機能] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[モバイルツイニング] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[ログイン] を選択します。
4. [ログイン] メニューが表示されます。
 - a. お使いの内線番号を入力して [次へ] を押します。
 - b. セキュリティ暗証番号 (ログインコード) を入力します。
 - c. [クリプトモード] の順に押します。

関連リンク

[ログイン](#) (111 ページ)

「未ログイン」電話でログインする

この方法は、以前のユーザーがログアウトして、現在電話が使用されていない内線番号でログインするときに使用します。この状態にある電話には、ディスプレイの [ミログイ] という表示によって、見分けることができます。

手順

1. [ログイン] の順に押します。
2. [ログイン] メニューが表示されます。
 - a. お使いの内線番号を入力して [次へ] を押します。
 - b. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力します。
 - c. [クリプトモード] の順に押します。

関連リンク

[ログイン](#) (111 ページ)

未登録の電話でログインする

この方法は、未登録の電話でログインするときに使用されます。未登録の電話は、ディスプレイの [内線を入力します] によって見分けることができます。この方法は、ホットデスクングではサポートされていません。電話機を設置するために最初に使用したベースの内線番号を使った場合にのみログインできます。

手順

1. 内線番号を入力します。ご利用の番号が表示されたら、[Bksp] と [クリア] ソフトキーを使用して修正することができます。
2. ご利用の番号が表示されたら、[OK] ソフトキーを押します。
3. 電話のパスワードを入力します。[Bksp] と [クリア] のソフトキーを使って、修正できます。このパスワードはシステム管理者により決定され、登録に必要となります。
4. 電話のパスワードを入力して、[クリプトモード] を押します。詳細が正しければ、ユーザーの詳細は電話にロードされます。

関連リンク

[ログイン](#) (111 ページ)


ログアウト

次の方法を使用してログアウトすると、内線番号との関連付けが解除されます。その後の動作は、別の内線番号の既定ユーザーかどうかなど、その他の設定に応じて異なります。

- このメニューは、既にセキュリティ暗証番号/ログインコードセットを保有している場合のみ使用できます。

- ・システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - ・通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[ログアウト] を選択します。
4. 電話からログアウトされます。結果は、次のようないくつかの要因によって異なります。
 - ・電話にデフォルトのユーザーがいない場合、またはデフォルトのユーザーが他の場所でログオンしている場合は、[NoUser] と表示されます。
 - ・電話に既定のユーザーがいて、現在他の場所でログオンしていない場合、そのユーザーは自動的に再度ログインされます（ただし、強制ログインに設定されている場合を除く）。
 - ・フリー（誰もログインしていない）の、別の内線番号の既定のユーザーの場合、自動的にその内線番号に再度ログインされます（ただし、強制ログインに設定されている場合を除く）。


関連リンク

[ログイン／ログアウト](#) (110 ページ)

セキュリティ暗証番号の変更

ユーザーは自分のセキュリティ暗証番号（ログインコード）を変更できます。これは、ボイスメールのアクセスに使用するボイスメールコードではありません。暗証番号が設定されている場合は、これを使用して他の電話でログインしたり、電話をロックしたり、システム管理機能にアクセスしたりできます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - ・通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[セキュリティ設定] を選択します。
4. すでにログインコードがある場合は、その現在のログインコードを入力して、[クリプトモード] を押します。
5. 新しいセキュリティ暗証番号を入力します。
 - ・システム管理者は、コードの必要な長さに対して規則を設定したり、明白なコード（1234, 1111）の使用をブロックできます。これらの要件が満たされるまで新しいコードは保存できません。システム設定の詳細は、必要に応じてシステム管理者にお問い合わせください。

6. [保存] の順に押します。

関連リンク

[ログイン/ログアウト](#) (110 ページ)

電話機をロックする

ログアウトせずに電話をロックできます。以下の手順を使用して手動で電話をロックするか、電話の非アクティブ時間経過後に自動でロックするように設定できます。ロック機能を使用するには、セキュリティ暗証番号の設定を行う必要があります（コードを使用して電話をロックできますが、誰でもそのロックを解除できます）。


電話がロックされているときは：

- 内線通話と緊急通話の発信にのみ使用できます。
- ユーザー設定の電話メニューにはアクセスできません。
- 電話をロック解除するには、[解除] をクリックします。ログインコードが設定されている場合は、そのコードで電話をロック解除する必要があります。ログインコードがわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

-  **警告**

ログインコードが設定されている場合は、そのコードで電話をロック解除する必要があります。ログインコードがわからない場合は、ロック機能を使用する前に、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[ロックする] を強調表示します。[選択] [選択] を押します。
4. これで電話がロックされ、[電話はロックされています] が表示されます。

関連リンク

[ログイン/ログアウト](#) (110 ページ)

電話機のロック解除

[電話ロック] というメッセージは、電話がロックされていることを示します。電話がロックされている間、電話の使用は他の内線番号に内線電話をかける場合に限定され、電話メニューやユーザーメニューはいずれも利用できません。

手順

1. [解除] ソフトキーを押します。
2. ログインコードが設定されている場合は、そのコードで電話をロック解除します。ログインコードがわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
3. [クリプトモード] ソフトキーを押します。


関連リンク

[ログイン／ログアウト](#) (110 ページ)


自動ロック

ログアウトせずに電話をロックできます。以下の手順を使用して手動で電話をロックするか、電話の非アクティブ時間経過後に自動でロックするように設定できます。

電話がロックされているときは：

- 内線通話と緊急通話の発信にのみ使用できます。
- ユーザー設定の電話メニューにはアクセスできません。
- 電話をロック解除するには、[解除] をクリックします。ログインコードが設定されている場合は、そのコードで電話をロック解除する必要があります。ログインコードがわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
-  **警告**
ログインコードが設定されている場合は、そのコードで電話をロック解除する必要があります。ログインコードがわからない場合は、ロック機能を使用する前に、システム管理者にお問い合わせください。
- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[画面表示設定] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[自動ロック(分)] を強調表示します。
5. [変更] ソフトキーを押すか、左/右方向キーを使用して、設定を変更します。
 - [無効化済み] - オフ非アクティブタイマーを使用しません。
 - [1/5/30/60] - 指定した分数後に電話をロックします。
6. [保存] ソフトキーを押します。

関連リンク

[ログイン／ログアウト](#) (110 ページ)

ログイン短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

ログイン

- **ログイン** : *35*N*P# - 内線番号 (**N**) とログインコード (**P**) を使用して電話にログインします。**P**).
- **ログアウト** : *36 - 現在ログインしている電話からログアウトします。

関連リンク

[ログイン/ログアウト](#) (110 ページ)

第 23 章: グループ

システム管理者は、他のユーザーと同様にユーザーをグループメンバーとして追加することができます。グループごとに、通話の送信先として使用可能なグループ固有の内線番号があります。

- 通話がグループに発信されたときは、応答可能なグループのメンバー宛に、一度に 1 人、または同時に全員に、いずれかのメンバーが応答するまで配信されます。
- グループ通話が次のメンバーに配信されるまでの、各グループメンバーの呼び出し時間は、グループ固有の設定によって制御されます。また、ハントグループもボイスメールを使用し、不在着信をグループのメールボックスに送信する時間に関してもグループ固有の設定があります。グループ通話の場合、ユーザーの設定ではなく、ハントグループのボイスメール設定が使用されます。

システム管理者は、ご利用の電話機でハントグループメニューオプションの番号を有効化できます。選択したハントグループまたはユーザーがメンバーとして所属するすべてのハントグループに、それぞれのオプションを有効にできます。

- **グループメンバーシップの有効化/無効化** - ハントグループのメンバーシップを無効にすると、そのグループのハントグループ通話は受信できなくなります。グループのメンバーである限り、メンバーシップをもう一度有効にできます。
- **ハントグループサービスステータスの変更** - ハントグループごとに、稼働中、夜間サービス中、サービス休止中のいずれかを設定できます。夜間サービス中またはサービス休止中の場合、グループ通話は代替グループ、またボイスメールが利用可能な場合にはそこにリダイレクトされます。
- **ハントグループフォールバック転送先の変更** - これらのメニューを使って、夜間サービス中またはサービス休止中に、グループ通話に使用する代替グループを変更できます。

関連リンク

[グループメンバーシップ](#) (117 ページ)

[グループサービスステータスとフォールバック](#) (119 ページ)

グループメンバーシップ

グループ、グループのメンバー、またはグループ設定は、システム管理者のみが変更できます。ただし、ユーザーにはグループメンバーシップを有効/無効にするオプションを提供できます。グループのメンバーシップが無効になると、そのグループの通話は受信されません。

関連リンク

[グループ](#) (117 ページ)

[グループメンバーシップのオン/オフの切り替え \(ステータスメニュー\)](#) (118 ページ)

[グループメンバーシップのオン/オフの切り替え \(機能メニュー\)](#) (118 ページ)

グループメンバーシップのオン/オフの切り替え（ステータスメニュー）

システム管理者は、[ステータス] メニューからグループのメンバーシップを有効化／無効化する許可をユーザーに付与できます。グループのメンバーシップが無効になると、そのグループのグループ通話は受信されません。

- システム管理者は、ユーザーがグループの [メンバーシップ]、[状態]、[フォールバック] オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上／下方向キーで、ハントグループ名と現在のメンバーシップステータスを強調表示します。
3. [有効化済] または [無効化済み] ソフトキーを押して、そのグループのメンバーシップステータスを変更します。
4. [終了] を押します。

関連リンク

[グループメンバーシップ](#) (117 ページ)

グループメンバーシップのオン/オフの切り替え（機能メニュー）

所属するグループによっては、そのグループメンバーを有効または無効にできる場合があります。

- システム管理者は、ユーザーがグループの [メンバーシップ]、[状態]、[フォールバック] オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[グループ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[メンバーシップ] を選択します。
4. カーソルキーで、設定可能なハントグループのリストをスクロールします。
 - 強調表示されたグループのメンバーシップを変更するには、[変更] を押します。
 - すべてのグループのメンバーシップを変更するには、[詳細] を押してから [全有効] または [全無効] のいずれかを押します。

関連リンク

[グループメンバーシップ](#) (117 ページ)

グループサービスステータスとフォールバック

- **グループサービスステータス** - ハントグループは次のいずれかのサービスモードにできます。
 - [稼働中] (稼働中) - グループは通常通りに作業し、通話を応答可能なグループメンバーに配信します。
 - [NS] (夜間サービス) - グループは [夜間サービス] モードになっています。通話は、夜間サービスのフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール (利用可能な場合) にリダイレクトされます。また、電話システムでは時間プロフィールを使用して、ハントグループの夜間サービスを自動的に開始・終了できます。
 - [キウジキウ] (サービス休止中) - グループはサービス休止中です。通話は、サービス休止中のフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール (利用可能な場合) にリダイレクトされます。自分がメンバーであるグループの一つが休止中であるとき、電話には **○** と表示されます。
 - [TP] (時間プロファイル) - この設定は、グループのステータスが電話システムの時間プロファイルによって制御されていることを示します。グループが稼働中で夜間サービスになっている時、その時間プロフィールが設定されます。これを上書きして、グループを [休止中] 状態に入れることができます。その後、必要に応じて、電話を使用してグループを時間プロフィール制御に戻すことができます。
- **フォールバック転送先** - 夜間サービスとサービス休止中の状態では、ハントグループに、その通話のリダイレクト先となるフォールバック転送先を設定できます。この転送先は、別のハントグループまたはユーザーの内線番号にすることができます。フォールバック転送先が設定されていない場合、グループのボイスメールが使用されます (利用可能な場合)。それぞれのグループには、夜間サービスとサービス休止中それぞれのフォールバック転送先を設定できます。

関連リンク

[グループ](#) (117 ページ)

[グループサービスステータスの変更 \(機能メニュー\)](#) (120 ページ)

[グループサービスステータスの変更 \(ステータスメニュー\)](#) (121 ページ)

[グループのフォールバック転送先を変更する](#) (121 ページ)

[短縮コード](#) (122 ページ)

グループサービスステータスの変更（機能メニュー）

[機能] メニューを使用すると、所属する一部のグループのサービスステータスを変更できる場合があります。

- システム管理者は、ユーザーがグループの [メンバーシップ]、[状態]、[フォールバック] オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[グループ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[状態] を選択します。
4. カーソルキーで、設定可能なハントグループのリストをスクロールします。各グループの現在のステータスは、グループ名の隣に表示されます。
 - [稼働中] (稼働中) - グループは通常通りに作業し、通話を応答可能なグループメンバーに配信します。
 - [NS] (夜間サービス) - グループは [夜間サービス] モードになっています。通話は、夜間サービスのフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール（利用可能な場合）にリダイレクトされます。また、電話システムでは時間プロフィールを使用して、ハントグループの夜間サービスを自動的に開始・終了できます。
 - [キウジチュウ] (サービス休止中) - グループはサービス休止中です。通話は、サービス休止中のフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール（利用可能な場合）にリダイレクトされます。自分がメンバーであるグループの一つが休止中であるとき、電話には ○ と表示されます。
 - [TP] (時間プロファイル) - この設定は、グループのステータスが電話システムの時間プロファイルによって制御されていることを示します。グループが稼働中で夜間サービスになっている時、その時間プロフィールが設定されます。これを上書きして、グループを [休止中] 状態に入れることができます。その後、必要に応じて、電話を使用してグループを時間プロフィール制御に戻すことができます。
5. ディ스플레이下部のコントロールを使用して、現在選択されているグループのステータスを変更します。
 - [変更] - 選択したグループのステータスを変更します。
 - [保存] - メニューを終了します。

関連リンク

[グループサービスステータスとフォールバック](#) (119 ページ)

グループサービスステータスの変更（ステータスメニュー）

システム管理者から許可を受けている場合、[ステータス] メニューからグループのサービス状態を変更できます。

手順

- [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
- 上/下方向キーで、ハントグループ名と現在のメンバーシップステータスを強調表示します。
- 次のソフトキーを使用して必要な状態を選択します。
 - [稼働中]（稼働中） - グループは通常通りに作業し、通話を応答可能なグループメンバーに配信します。
 - [NS]（夜間サービス） - グループは [夜間サービス] モードになっています。通話は、夜間サービスのフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール（利用可能な場合）にリダイレクトされます。また、電話システムでは時間プロフィールを使用して、ハントグループの夜間サービスを自動的に開始・終了できます。
 - [キウジユウ]（サービス休止中） - グループはサービス休止中です。通話は、サービス休止中のフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール（利用可能な場合）にリダイレクトされます。自分がメンバーであるグループの一つが休止中であるとき、電話には **O** と表示されます。
 - [TP]（時間プロファイル） - この設定は、グループのステータスが電話システムの時間プロファイルによって制御されていることを示します。グループが稼働中で夜間サービスになっている時、その時間プロフィールが設定されます。これを上書きして、グループを [休止中] 状態に入れることができます。その後、必要に応じて、電話を使用してグループを時間プロフィール制御に戻すことができます。

関連リンク


[グループサービスステータスとフォールバック](#) (119 ページ)

グループのフォールバック転送先を変更する

メンバーとして所属するハントグループによっては、[機能] メニューを使用して、そのフォールバック転送先を変更できる場合があります。これらは、夜間サービスステータスとサービス休止中の状態のいずれかに入っているとき、ハントグループの通話が転送される転送先です。転送先はシステム管理者が設定した別のグループ、別のユーザーまたはダイヤルコードにすることができます。

- システム管理者は、ユーザーがグループの [メンバーシップ]、[状態]、[フォールバック] オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[グループ] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[フォールバック] を選択します。
 - 左/右方向キーで、夜間サービスまたはサービス休止中設定の変更を切り替えます。
 - カーソルキーで、現在のモードで設定できるハントグループのリストをスクロールします。
 - 現在強調表示されているハントグループのフォールバック転送先を変更するには、[編集] を押します。
 - すべてのハントグループのフォールバック転送先を変更するには、[詳細] を押してから [全編集] を押します。

関連リンク

[グループサービスステータスとフォールバック](#) (119 ページ)

短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときの一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

- その他の一般的なダイヤル短縮コードのリストについては、「[短縮コード](#) (145 ページ)」を参照してください。

ハントグループ

- **夜間サービスステータスをオンにする** : *20*N# - ハントグループの内線番号 (N) を入力して、ハントグループの夜間サービスステータスを設定します。N).
- **夜間サービスステータスをオフにする** : *21*N# - ハントグループの内線番号 (N) を入力して、ハントグループの夜間サービスステータスを中止します。N).

関連リンク

[グループサービスステータスとフォールバック](#) (119 ページ)

第 7 部: 電話設定

第 24 章: 着信音制御

このセクションでは、電話で使用する着信音を調整するためのコントロールについて説明します。

関連リンク

[着信音の無効化](#) (124 ページ)

[着信ランプ表示](#) (124 ページ)

[ガベッジ着信音](#) (125 ページ)


[リング音ボリューム](#) (126 ページ)

[マイゼツドウアウトウ](#) (126 ページ)

着信音の無効化

このオプションは、すべての通話の着信音をオフにするときに使用できます。[着信音なし]に設定すると、電話の音声アラートと着信ランプ表示の両方が無効になります。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[着信音無効化] を選択します。
4. 設定を変更するには、[変更] を押します。[オン] を選択すると、着信音がオフになります。

関連リンク

[着信音制御](#) (124 ページ)

着信ランプ表示

電話の右上隅にあるメッセージランプは、電話に呼び出し中の通話があることを示すときにも使用します。ランプが点滅すると、応答待ちの通話があることを示します。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[電話機] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[通話のアラート] を選択します。
5. カーソルキーを使用して、[ビーコン LED] を選択します。
6. 設定を変更するには、[トグル] を押します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク


[着信音制御](#) (124 ページ)

カバレッジ 着信音

回線ブリッジまたはコールカバレッジボタンがある場合は、これらボタンのいずれかで通話のアラートするとき使用される呼び出しタイプ（カバレッジ呼び出し）を設定できます。オプションは、標準呼び出し、繰り返さないシングルリング（短縮呼び出し）、または呼び出しなしを使用できます。カバレッジ呼び出し設定は、まだ接続完了呼がない場合にのみ使用します。すでに接続完了呼が進行中の場合、カバレッジ呼び出し設定とアラームトーン設定のうち、短い方が使用されます。

- これは、別の電話でホットデスクを使用する場合、ユーザーと共に移動するユーザー設定です。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[カバレッジ 着信音] を選択します。
4. [変更] ソフトキーを押して、設定を変更します。
 - [呼び出し音] - 標準呼び出しを使用します。
 - [短縮音] - 繰り返さないシングルリング（短縮呼び出し）を使用します。
 - [オフ] - 呼び出しなし。

関連リンク

[着信音制御](#) (124 ページ)

リング音ボリューム

電話がアイドル状態のとき、または呼び出し中に、着信音の音量を調整できます。

手順

1. 電話がアイドル状態になっている、または着信音が鳴っている場合は、[+] プラスおよび [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常が表示に戻ります。

関連リンク


[着信音制御](#) (124 ページ)

ナイツドゥアウト

まだ通話中でない場合に、内線電話を自動的に接続するよう選択できます。電話で短い音が鳴り、電話の音声パス設定で設定した電話のスピーカーまたはヘッドセットのいずれかを使用して、通話が接続されます。

この機能は、[自動応答] アクションを設定した機能ボタンに割り当てることができます。ボタンランプは、[内部自動応答] がオンになっていることを示します。「[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)」を参照してください。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[ナイツドゥアウト] を選択します。
4. 設定を変更するには、[変更] を押します。

関連リンク

[着信音制御](#) (124 ページ)

第 25 章: 表示コントロール

このセクションでは、電話のディスプレイとディスプレイに表示される情報を調整するためのコントロールについて説明します。

関連リンク

- [ディスプレイの明るさ](#) (127 ページ)
- [ディスプレイのコントラスト](#) (128 ページ)
- [1 列/2 列表示](#) (128 ページ)
- [前回の通話時間表示](#) (129 ページ)
- [コールタイマー表示](#) (129 ページ)
- [表示言語](#) (130 ページ)
- [待機通話の自動表示](#) (130 ページ)
- [非アクティブタイマー \(自動復帰\)](#) (131 ページ)

ディスプレイの明るさ

電話のディスプレイの明るさを調整できます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[表示] を選択します。
 - 調整する表示を選択します。例えば、ボタンモジュールが接続された電話では、複数のディスプレイが一覧表示される場合があります。
4. カーソルキーを使用して、[コントラスト] を選択します。
5. 左/右方向キーで、明るさを調整します。
6. 完了したら、[保存] を押します。
7. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

- [表示コントロール](#) (127 ページ)

ディスプレイのコントラスト

手順

1. A ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[Screen & Sound (画面とサウンド)] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[コントラスト] を選択します。
5. 左/右方向キーで、必要に応じてコントラストを調整します。
6. 電話にボタンモジュールがある場合、上下にスクロールして、コントラストを調整するモジュールを選択します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク


[表示コントロール](#) (127 ページ)

1 列／2 列表示

電話機のプログラム制御可能な各アピアランスボタンと機能ボタンで、画面幅全体（1 列モード）、または画面幅の半分のみ（2 列モード）を使用するか設定できます。設定可能なプログラム制御ボタンの数は、選択した表示モードによって影響を受けることはありません。

システム管理者はデフォルトで使用するオプションを選択できますが、ユーザーは希望のオプションを後で選択することができます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[画面表示設定] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[表示モード] を強調表示します。
5. [変更] ソフトキーを押すか、左/右方向キーを使用して、設定を変更します。
 - [二列表示] - プログラム制御ボタンは、画面行の半分（右側または左側）の領域を使用して表示されます。ディスプレイの横に配置された物理的なボタンは、プログラム制御ボタンの状態を示し、ボタン機能を制御するために使用します。
 - [一列表示] - 各プログラム制御ボタン機能が、画面の横幅を占めています。ディスプレイの両側にある物理的なボタンは、ボタン機能を制御するために使用します。ただしボタンの状態は、左側のボタンに表示されます。このモードでは、アピアランスボタンのラベルも、通話状況アイコン（アイドル、アラート中、接続中など）を表示します。

6. [保存] を押します。


関連リンク

[表示コントロール](#) (127 ページ)

前回の通話時間表示

コールタイマー 表示の代替方法として、通話の終了後に通話時間を短時間（4 秒間）電話に表示させることができます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[前回の通話時間を表示] を強調表示します。
4. [変更] ボタンを押して、[オン] または [オフ] を選択します。
5. [保存] を押します。

関連リンク

[表示コントロール](#) (127 ページ)

コールタイマー表示

アピランスポタンに呼び出し中の通話がある場合、電話のディスプレイに表示されるアピランスの詳細にタイマーを追加できます。

- タイマーは通話の呼び出し時間を示します。
- その通話に応答すると、リセットされて通話の接続時間を表示します。
- また、通話を保留にすると、通話の保留時間もタイマーに表示されます。

タイマー表示はオン/オフに切り替えることができます。オフにすると、ディスプレイで他の通話の詳細を示すスペースが多くなります。

- 現在選択しているコールアピランスの場合、[タイマー] 機能に設定されているプログラム可能なボタンを使用して、一時的にコールタイマー表示をオン/オフにできます。

関連リンク

[表示コントロール](#) (127 ページ)

表示言語

システム管理者は、電話のメニューにどの言語を利用できるようにするかを設定できます。最大5つの言語を利用可能にできます。

ユーザーは電話のメニューで、それら言語の中から電話で使用する言語を選択できます。

電話に表示される多くのメッセージで、電話システムから送信されるテキストが使用されることにご注意ください。システム管理者が、ご利用の内線番号に、電話システムでサポートされる特定言語を使用するように設定している場合を省き、メッセージには、電話システムのデフォルトの言語が使用されます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[Screen & Sound (画面とサウンド)] を選択します。
4. [言語] を使用します。
5. 使用できる別の言語をスクロールします。
6. 現在強調表示されている言語を選択するには、[選択] を押します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク


[表示コントロール](#) (127 ページ)

待機通話の自動表示

デフォルトでは、通話に接続すると、電話にその通話の詳細およびその通話に実行できるソフトキーのアクションが表示されます。待機通話の詳細を表示するには、上/下方向ボタンで表示をスクロールする必要があります。

待機通話が電話をアラートするときはその通話の詳細と、その待機通話に実行できるソフトキーのアクションが自動的に表示されるように選択できます。スクロールキーを使用して、現在の接続完了呼に表示フォーカスを戻すと、数秒後にフォーカスは自動で待機通話に戻ります。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[通話設定] を選択します。
3. 上/下方向キーで、[待機通話の自動表示] を強調表示します。
4. [変更] ボタンを押して、[オン] または [オフ] を選択します。
5. [保存] を押します。

関連リンク


[表示コントロール](#) (127 ページ)

非アクティブタイマー（自動復帰）

タイマーを設定して、電話の非アクティブ状態が設定した時間を経過すると、電話が通常の通話表示に戻るよう設定できます。

このタイマーは **A** と [ホイスメル] のメニューには適用されません。ただし、電話はアイドル状態の場合は 10 分後に [ホイスメル] メニューを自動的に終了します。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[画面表示設定] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[Auto Return] を強調表示します。
5. [変更] ソフトキーを押すか、左/右方向キーを使用して、設定を変更します。
 - [無効化済み] - オフ非アクティブタイマーを使用しません。
 - [30/60] - 選択した秒数の経過後に非アクティブタイマーを適用します。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[表示コントロール](#) (127 ページ)

第 26 章: 音量とサウンド

このセクションでは、音量および電話で使用する各種のサウンドに関する制御について説明します。利用可能な着信音コントロールに加えて、次のコントロールが用意されています。

関連リンク

- [キーのブツ音](#) (132 ページ)
- [ライトオン](#) (133 ページ)
- [リング音ボリューム](#) (133 ページ)
- [受話器音量](#) (133 ページ)
- [ヘッドセット音量](#) (134 ページ)
- [スピーカー音量](#) (134 ページ)
- [自動ゲイン制御](#) (134 ページ)
- [デフォルトハンズフリー音声パス](#) (135 ページ)

キーのブツ音

電話メニューの使用時に、電話でキータッチを確認するためのクリック音を鳴らすことができます。このクリック音は無効にできます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[ボタンクリック] を選択します。
5. 完了したら、[保存] を押します。
6. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

- [音量とサウンド](#) (132 ページ)

エラートーン

電話で誤った選択をすると、エラートーンが鳴ります。必要に応じて、エラートーンを無効にできます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[エラートーン] を選択します。
5. 完了したら、[保存] を押します。
6. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

リング音ボリューム

電話がアイドル状態のとき、または呼び出し中に、着信音の音量を調整できます。

手順

1. 電話がアイドル状態になっている、または着信音が鳴っている場合は、[+] プラスおよび [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常の表示に戻ります。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

受話器音量

通話中、着信呼の音量を調整できます。使用中のデバイス（ハンドセット、ヘッドセットまたはスピーカー）がどれでも、音量は個別に調整します。

手順

1. 通話が接続されている場合は、[+] プラスおよび [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 表示は、数秒後に標準に戻ります。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

ヘッドセット音量

ヘッドセットを介して通話しているときは、発呼者の音量を調整できます。

手順

1. [+] プラスと [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常が表示に戻ります。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

スピーカー音量

スピーカーを介して通話しているときは、発呼者の音量を調整できます。

手順

1. [+] プラスと [-] マイナスキーで音量を調整します。
2. 音量の調整を中止すると、数秒後に通常が表示に戻ります。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

自動ゲイン制御

自動ゲイン制御（AGC）を使用すると、着信呼の音量が大小に変化しても、電話が一定のオーディオレベルを維持しようとします。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. カーソルキーを使用して、[自動ゲイン制御] を選択します。
5. カーソルキーを使用して、[ハンドセット]、[ヘッドセット]、[スピーカー] を切り替えます。
6. 強調表示された設定を変更するには、[トグル] を押します。
7. 完了したら、[保存] を押します。
8. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

デフォルトハンズフリー音声パス

デフォルトでは、ハンドセットを持ち上げずに電話をかけたり、通話に応答したりした場合、電話のマイクを介して話している間は、音声は電話のスピーカーから再生されます。

ヘッドセットを接続している場合は、デフォルトでスピーカーではなくヘッドセットから音声再生されるように、電話の動作を変更できます。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. カーソルキーを使用して、[オプションおよび設定] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[音声] を選択します。
4. 上/下方向キーで、[オーディオパス] を強調表示します。
5. 左/右方向キーで、[ヘッドセット] または [スピーカー] を切り替えます。
6. 完了したら、[保存] を押します。
7. [戻る] / [終了] を押して、メニューを終了します。

関連リンク

[音量とサウンド](#) (132 ページ)

第 27 章: プログラム可能な機能ボタン

アピランスボタンとして管理者から割り当てられていないこれらのプログラム可能ボタンは、他の一連の機能用として使用できます。これらの機能は、ユーザーまたはシステム管理者により、プログラム制御できます。

- 管理者は、ユーザーが変更できるボタンを制限できます。
- このガイドでは、電話独自のメニューで割り当て可能な機能のみについて説明します。管理者は、より広範なボタン機能にアクセスできます。
- ボタンランプの使用方法は、ボタンに関連付けられた機能によって異なります。
- 電話でサポートされていない機能がプログラムされたボタンは、[無効] と表示されます。

関連リンク


[プログラム可能ボタンの編集](#) (136 ページ)

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

プログラム可能ボタンの編集

個別機能設定を使用して機能を選択し、機能を機能キーに適用します。また、これを使用して既存の機能を交換したり、削除したりすることもできます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[コジソソ] を選択します。
4. セキュリティ暗証番号を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーで、現在各ボタンに割り当てられている機能のリストをスクロールします。
 - ボタンから既存の機能を削除するには、[消去] を押します。
 - [詳細] を押して [コピー] と [貼り付け] オプションを使い、既存のボタン設定を別のボタンにコピーします。
 - 強調表示されたボタンに機能を割り当てるには、[置換] を押します。
 - リストから必要な機能を選択して、[選択] を押します。

- 機能によっては、一部の情報（目標の内線番号など）の入力が必要となる場合があります。
 - ボタンには、割り当てられた機能に基づいてデフォルトのラベルが付けられます。ラベルを変更するには、[詳細] を押してから [ラベル] を選択します。キーボードを使用して、ボタンラベルに表示するテキストを入力します。ラベルは、ラベルを編集している間と管理者メニューを終了した後のみ表示されることにご注意ください。
6. 完了したら、[戻る] を押します。

関連リンク

[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)

プログラム可能なボタンの機能

ボタンへの割り当てが可能な多彩な機能が用意されています。本ガイドでは、個人管理メニューを使用してボタンに割り当てることができる機能のみを記載しています。システム管理者によってのみ割り当て可能な機能については、システム管理者より説明を受けてください。

一部のアクションは、必ずしもすべての電話でサポートされるわけではありませんが、さまざまなタイプの電話でホットデスク処理を行うユーザーに設定されることがあります。

関連リンク

[プログラム可能な機能ボタン](#) (136 ページ)

[短縮ダイヤルボタン](#) (138 ページ)

[不在用テキストボタン](#) (138 ページ)

[アカウントコードボタン](#) (138 ページ)

[自動応答ボタン](#) (138 ページ)

[\[不在転送\] ボタン](#) (139 ページ)

[\[コールパーク\] ボタン](#) (139 ページ)

[\[他へのコールパーク\] ボタン](#) (139 ページ)

[\[コールピックアップ\] ボタン](#) (140 ページ)

[\[任意のコールピックアップ\] ボタン](#) (140 ページ)

[ミーティング会議ボタン](#) (140 ページ)

[切断ボタン](#) (140 ページ)

[フラッシュフックボタン](#) (140 ページ)

[グループボタン](#) (141 ページ)

[ページボタン](#) (141 ページ)

[\[パーク保留して呼出\] ボタン](#) (141 ページ)

[\[着信音オフ\] ボタン](#) (141 ページ)

[\[個人管理\] ボタン](#) (141 ページ)

[\[離席\] ボタン](#) (142 ページ)

[非表示入力発信ボタン](#) (142 ページ)

[タイマー](#) (142 ページ)

[ツイニングボタン](#) (142 ページ)

[ユーザーボタン](#) (143 ページ)

短縮ダイヤルボタン

このアクションは、スピードダイヤルボタンとして使用できます。このボタンの設定中に、ダイヤルする番号を入力します。

番号を一部のみ入力し、このボタンを押してダイヤルを完了することができます。例えば、事前に特定の国際ダイヤルコードをボタンにプログラムできます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

不在用テキストボタン

ユーザーの電話に表示する不在用テキストメッセージを設定またはクリアします。このテキストは、着信呼の発信元である電話のディスプレイにも表示されます。メッセージを設定すると、複数の事前設定メッセージから選択し、必要に応じて自分のテキストを追加できます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

アカウントコードボタン

このアクションは、アカウントコードあり／なしで設定できます。

- ボタンをアカウントありで設定した場合、ボタンを押すと、そのアカウントコードが現在の通話に適用されます。
- ボタンをアカウントなしで設定した場合、ボタンを押すと [アカウントコード入力] メニューが表示されます。「[手動アカウントコード入力](#) (103 ページ)」を参照してください。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

自動応答ボタン

このアクションを設定したボタンは、"内部自動応答" のオン／オフの切り替えに使用できます。"内部自動応答" がオンのときは、ボタンの赤ランプが点灯します。もう一度そのボタンを押すと、"内部自動応答" がオフになります。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[不在転送] ボタン

このアクションを設定したボタンは、無条件転送のオン/オフの切り替えに使用できます。

- 事前設定番号付きで設定された場合は、その番号が転送先として使用されます。
- 番号なしで設定された場合、このボタンを押すと既存の〔無条件転送〕の転送先番号の確認、または新しい番号の入力が求められます。

転送が有効になると、ボタンの赤ランプが点灯します。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[コールパーク] ボタン

このアクションが設定されたボタンは、通話のパークとパーク解除に使用できます。ボタンは、パークスロット番号あり/なしで設定できます。

- ボタンが特定のパークスロット番号に関連付けられている場合、そのパークスロットから通話をパークしたり、パーク解除したりすることができます。通話はそのパークスロットにパークされているときは、ボタンのランプが点滅します。そのボタンを使用して通話がパークされた場合は緑に、別の方法でパークされた場合は赤に点滅します。もう一度ボタンを押すと、通話の保留が解除されます。
- ボタンが特定のパークスロット番号に関連づけられていない場合は、次の手順に従います。
 - 通話が接続完了しているときにボタンを押すと、ご利用の内線番号に基づいてシステムが割り当てたパークスロット番号を使用して、その通話がパークされます。
 - 通話が接続されていないときにボタンを押すと、電話にはパーク保留コールの詳細が表示され、選択した通話のパークを解除できます。
 - 自分で（パークとページ以外で）パークした通話、または他のユーザーが自分の内線番号にパークした通話がある場合は、ボタンのランプが点滅します。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[他へのコールパーク] ボタン

このアクションを設定したボタンは、別の内線番号に通話をパーク保留するときに使用できます。使用されるパークスロット番号は、ご利用の内線番号に基づきます。

ボタンにターゲットユーザー番号を設定するか、ボタンを押すと番号入力ができるよう空白にしておくことができます。通話がパークされると、ボタンの赤ランプが点灯します。このボタンをもう一度押すと通話の保留を解除できます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[コールピックアップ] ボタン

ユーザーまたはハントグループを呼び出す通話に応答できます。

このボタンが設定されているときは、通話に応答するターゲットユーザーやグループの番号を設定できます。番号が設定されていない場合に、このボタンを押すと、番号入力のメニューが表示されます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[任意のコールピックアップ] ボタン

電話システムで現在呼び出し中の通話に応答します。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

ミーティング会議ボタン

この機能にプログラムされたボタンを使用して、会議 ID を入力すると、会議の開始や会議への参加ができるようになります。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

切断ボタン

このアクションを使用すると、現在の通話をディスプレイで強調表示せずに切断できます。通話が接続されている場合、キーを押すと通話が終了します。通話が呼び出しの中の場合、切断時のルーティング先は状況によって異なります。「[着信通話の切断](#) (35 ページ)」を参照してください。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

フラッシュフックボタン

このアクションを設定したボタンを使って、現在接続しているアナログ回線にフックフラッシュ信号を送信します。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

グループボタン

ボタンをプログラムして、グループ宛に応答待ちの通話があるかどうかを示すことができます。赤の点滅ランプは、ハントグループに待機中コールがあることを示します。このボタンを押して、最長待機コールをピックアップします。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

ページボタン

このアクションが設定されたボタンは、ページコールの発信に使用できます。

ボタンには、ページのターゲットユーザーまたはターゲットグループを設定できます。番号なしで設定している場合、このボタンを押すと、ページコールを発信する前に、番号入力メニューが表示されます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[パーク保留して呼出] ボタン

システム管理者がユーザーのシステムに [パークとページ] を設定している場合は、このボタンによってコールをパーク保留して、そのパーク保留コールを他のユーザーに通知する機能を使用できます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[着信音オフ] ボタン

このアクションを設定したボタンは、電話着信音のオン/オフの切り替えに使用できます。

着信音をオフにすると、着信ランプ表示もオフになります。着信音がオフになっているときは、ボタンの赤ランプが点灯します。もう一度そのボタンを押すと、着信音がオンになります。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

[個人管理] ボタン

このアクションを設定したボタンを使用して、[個人管理] メニューにアクセスできます。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

〔離席〕 ボタン

このアクションを設定したボタンを使用して、「応答不可」のオン／オフを切り替えられます。「応答不可」がオンのときは、ボタンの赤ランプが点灯するか、赤い警告アイコンが表示されます。もう一度そのボタンを押すと、「応答不可」がオフになります。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

非表示入力発信ボタン

ダイヤル時に電話の番号表示を隠します。ダイヤルした番号は、「s」の文字に置き換えられます。このボタンを使用して、非表示のオン／オフを切り替えます。「番号の非表示」が設定されているときは、ボタンの赤ランプが点灯します。もう一度ボタンを押すと、非表示がキャンセルされます。

- En-Bloc ダイヤルがアクティブな場合は、ダイヤル時に番号が表示され、通話を発信するときに、番号が非表示になります。
- 番号の非表示オプションを使用するときは、通話が通話の履歴に記録されません。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

タイマー

コールアピランスで通話を発信したり通話に応答したりするとき、コールアピランスラインに、コールタイマーが含まれることがあります。これは、電話の [コールタイマー] 設定によって制御されます。

通話中は、現在選択されているコールアピランスに関連付けられたコールタイマーを、表示または非表示にすることができます。例えば、発呼者 ID 情報の詳細を表示する場合など。現在選択しているコールアピランスのコールタイマーを一時的にオンまたはオフにするには、[タイマー] ボタンを押して実行できます。

次回コールアピランスを使用するときにタイマーが最初に表示されるかどうかは、[コールタイマー] 設定により異なります。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

ツイニングボタン

この機能を設定したボタンを使って、電話によるモバイルツイニング操作を制御できます。[ツイニング](#) (72 ページ)

これは、システム管理者がモバイルツイニングを設定した場合にのみ使用できます。

- 電話のアイドル時にボタンを押すと、電話に [モバイルツイニング] メニューが表示されます。このメニューを使用して、モバイルツイニングのオン/オフを切り替えたり、ツイニング転送先を設定したりすることができます。
- ツイニングされた通話がツイニング転送先に接続されているときにボタンを押すと、システムはその通話の回収を試みます。
- 電話で通話に接続されているときにボタンを押すと、システムが通話をツイニング転送先に転送しようと試みます。この機能を使用するためにツイニングをオンに切り替える必要はありません。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

ユーザーボタン

このタイプのボタンでは別のユーザーのステータスを監視します。ボタンランプはユーザーのステータスを示します。

- **オフ = 応対可能** - このボタンを押すと、ユーザーに通話を発信します。ユーザーへの発信に加え、ユーザーボタンを使用して、ユーザーに通話を転送したり、ユーザーと会議を開始したりすることができます。
- **低速点滅 = 呼び出し中** - このボタンを押すと、通話をピックアップするオプションが表示されます。
- **高速点滅 = 通話** - このボタンを押すと、次のオプションが表示されます。
 - [コール] - ユーザーに発信します。
 - [メッセージ] - ユーザーの電話で着信音を 1 回鳴らします。[応答可能] というメッセージに続いてご利用の内線番号も表示されます。
 - [ボイスメール] - メッセージを残すために、ユーザーのボイスメールメールボックスを呼び出します。
 - [CallBack] - ユーザーに自動コールバックを設定します。ユーザーが現在の通話を終了すると、コールバックを実行します。

次のオプションは、システム管理者がユーザーに設定している場合にのみ使用できます。

- [切断] - ユーザーの現在の通話を切断します。
- [取得] - ユーザーの現在の通話を取得します。
- [イントルージョン] - ユーザーの現在の通話に参加して、会議通話にします。
- [再生] - ユーザーの通話に対しサイレント監視を開始します。

関連リンク

[プログラム可能なボタンの機能](#) (137 ページ)

第 8 部: その他

第 28 章: 短縮コード

短縮コードは、ダイヤルすることにより、各種機能を有効/無効にできる番号です。以下は、利用可能なデフォルトの短縮コードです。ただし、システム管理者は、ユーザーやすべてのユーザーに利用できる短縮コードを削除したり変更したりすることができます。短縮コードを使用するには、現在の通話の保留が必要になる場合があります。

これは、システムのどの電話からもダイヤルできるため便利です。例えば、これを使用すると、基本的なアナログ内線でログインしても、なおさまざまな機能を制御できます。

短縮コードによっては、ダイヤルするときに一部の情報（通常は内線番号）の入力が必要になります。以下の短縮コードでは、この情報が **N** として示されます。

パーク/パーク解除

- ・ **コールパーク**: *37*N# - N の代わりにダイヤルしたパーク番号を使用して保留呼をパーク保留します。N.
- ・ **コールパーク解除**: *38*N# - パーク番号 N を使用してパーク保留した通話をパーク解除します。N.

コールピックアップ

- ・ **任意のコールピックアップ**: *30 - 電話システムで呼び出し中の通話に応答します。
- ・ **グループのコールピックアップ**: *31 - ユーザーがメンバーとして所属するグループを呼び出す通話に応答します。グループメンバーシップが現在無効に設定されている場合でも、これを使用できます。
- ・ **ユーザーのコールピックアップ**: *32*N# - ユーザーの内線番号 (N) を呼び出す通話に応答します。N).
- ・ **グループメンバーのコールピックアップ**: *53*N# - グループのメンバー (N) を呼び出す通話に応答します。N これは、必ずしもグループ通話である必要はありません。

会議

- ・ **保留呼で会議作成**: *47 - ユーザー本人と、ユーザーが保留にしたすべての通話間で会議を開始します。

応答不可

- ・ **応答不可をオンに切り替え**: *08 - 電話を応答不可に設定します。
- ・ **応答不可をオフに切り替え**: *09 - 応答不可をオフに切り替えます。
- ・ **応答不可例外番号を追加する**: *10*N# - 番号 (NN) を [応答不可] 例外のリストに追加します。
- ・ **応答不可例外番号を削除する**: *11*N# - 番号 (NN) を [応答不可] 例外のリストから削除します。
- ・ **すべての転送をキャンセル**: *00 - すべての転送 ([無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む) をオフに切り替えます。

フォローミー

- **現在の番号へフォローミー転送** : *12*N# - 通話のリダイレクト先にしたい内線番号で、この番号をダイヤルします。短縮コードをダイヤルするときは、自分の内線番号 (N) を使用します。
- **現在の番号へフォローミー転送キャンセル** : *13*N# - 通話のリダイレクトしている内線番号でこの番号をダイヤルします。短縮コードをダイヤルするときは、自分の内線番号 (N) を使用します。
- **フォローミー転送先** : *14*N# - ご利用の電話でこの番号をダイヤルします。通話のリダイレクト先にしたい内線番号 (N) をダイヤルします。 *14# をダイヤルするだけで、フォローミー転送をキャンセルできます。
- **すべての転送をキャンセル** : *00 - すべての転送 ([無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む) をオフに切り替えます。

転送中

- **無条件転送** :
 - 無条件転送の転送先を設定 : *07*N# - 無条件転送がオンになっているときにその転送先番号 (N) を設定します。
 - 無条件転送をオンに切り替え : *01 - 無条件転送をオンに切り替えます。転送先を設定する必要があります。
 - 無条件転送をオフに切り替え : *02
 - 無条件転送にハントグループの通話を含める : *50
 - 無条件転送からハントグループの通話を除外する : *51
- **話中転送/不応答転送** :
 - 話中転送/不応答転送先を設定する : *57*N# - 「話中転送」と「不応答転送」の転送先番号 (N) を設定します。番号が設定されていないと、これらの機能では、無条件転送の番号 (設定されてる場合) が使用されます。
 - 話中転送をオンに切り替え : *03
 - 話中転送をオフに切り替え : *04
 - 不応答転送をオンに切り替え : *05
 - 不応答転送をオフに切り替え : *06
- **すべての転送をキャンセル** : *00 - すべての転送 ([無条件転送]、[話中転送]、[不応答転送]、[フォローミー]、[応答不可] を含む) をオフに切り替えます。

ハントグループ

- **夜間サービスステータスをオンにする** : *20*N# - ハントグループの内線番号 (N) を入力して、ハントグループの夜間サービスステータスを設定します。 (N).
- **夜間サービスステータスをオフにする** : *21*N# - ハントグループの内線番号 (N) を入力して、ハントグループの夜間サービスステータスを中止します。 (N).

ログイン

- **ログイン** : *35*N*P# - 内線番号 (N) とログインコード (P) を使用して電話にログインします。 (P).
- **ログアウト** : *36 - 現在ログインしている電話からログアウトします。

ボイスメール

- **メッセージの確認** : *17 - メールボックスにアクセスしてメッセージを確認します。
- **ボイスメールをオンにする** : *18 - 通話への応答にボイスメールを使用できるようにします。
- **ボイスメールをオフにする** : *19 - 通話への応答にボイスメールの使用を停止します。
- **ボイスメールのリングバックをオンにする** : *48 - 新規メッセージの着信時に、ボイスメールに電話の呼び出しをさせます。次に電話を使用する際に呼び出されます。
- **ボイスメールのリングバックをオフにする** : *49 - リングバックをオフに切り替えます。

第 29 章: システム管理

必要に応じて、システム管理者はユーザーをシステム電話ユーザーとして設定できます。これにより、ユーザーは電話システムの管理に役立つさまざまな追加機能を実行できます。


関連リンク

- [システム情報の確認](#) (148 ページ)
- [タイムサーバーステータスの確認](#) (149 ページ)
- [日付の設定](#) (149 ページ)
- [時刻の設定](#) (150 ページ)
- [タイムオフセットの設定](#) (151 ページ)
- [システムを再起動する](#) (151 ページ)
- [メモ리카ードの管理](#) (153 ページ)
- [システムアラームのレポート](#) (154 ページ)

システム情報の確認

システム名、ソフトウェアのバージョン、および IP アドレスを確認して報告できれば、システム保守管理者に潜在的な問題を報告する際に役立つことがあります。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[システム情報] を選択します。
6. 情報が表示されます。


関連リンク

- [システム管理](#) (148 ページ)

タイムサーバステータスの確認

タイムサーバから時刻を自動的に取得するシステムの場合、このオプションを使用すると、タイムサーバの現在のステータスとそこから取得した情報を確認できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[タイムサーバステータス] を選択します。
6. タイムサーバ情報が一覧表示されます。これには、タイムサーバのアドレス、現在のローカルタイム、UTC 時間が含まれます。電話システムに夏時間が設定されている場合は、ローカルタイムに適用された現在の夏時間も表示されます。


関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

日付の設定

電話システムで自動的に時刻と日付が取得されないときは、以下のプロセスを使用できます。時刻の自動取得が設定されているシステムでは、[タイムサーバステータス] を確認するオプションが代わりに使用できます。「[タイムサーバステータスの確認](#) (149 ページ)」を参照してください。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[日付] を選択します。
6. 電話システムで使用される現在の日付が表示されます。

7. 必要な日付を入力します。
 - * または # キーを使い、/ 分離記号を入力します。
 - 前に入力した数字または文字を削除するには、[Bksp^へ-s] を押します。
8. 有効な日付を入力すると、ディスプレイには確認のため、[セット] ソフトキーオプションが表示されます。
9. その日付を電話システムで使用する新しい日付として設定するには、[セット] ソフトキーを押します。

関連リンク


[システム管理](#) (148 ページ)

時刻の設定

電話システムで自動的に時刻と日付が取得されないときは、以下のプロセスを使用できます。時刻の自動取得が設定されているシステムでは、[タイムサーバステータス] を確認するオプションが代わりに使用できます。「[タイムサーバステータスの確認](#) (149 ページ)」を参照してください。

- 時刻の表示フォーマットは電話システムによって制御されます。システム管理者は、すべての電話に対して 12 時間または 24 時間形式のいずれかに設定できます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[時間] を選択します。
6. 電話システムで使用される現在の時刻が表示されます。
7. 24時制で、必要な時間を入力します。
 - * または # キーを使い、分離記号を入力します。
 - 前の数字または文字を削除するには、[Bksp^へ-s] を押します。
8. 有効な時刻を入力すると、ディスプレイには確認のため、[セット] ソフトキーオプションが表示されます。
9. その時刻を電話システムで使用する新しい時刻として設定するには、[セット] ソフトキーを押します。


関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

タイムオフセットの設定

電話システムで自動的に時刻と日付が取得されないときは、以下のプロセスを使用できます。時刻の自動取得が設定されているシステムでは、[タイムサーバステータス]を確認するオプションが代わりに使用できます。「[タイムサーバステータスの確認](#) (149 ページ)」を参照してください。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[現地時間オフセット] を選択します。
6. 現在のオフセットが表示されます。
7. 必要なオフセットを時と分に入力する：
 - 「:」記号を入力するには、分離記号 [*]（アスタリスク）または [#]（シャープ）キーのいずれかを押します。
 - 前に入力した数字または文字を削除するには、[Backspace] キーを押します。
 - オフセットの正数と負数を切り替えるには、右方向キーを押します。
8. 有効なオフセットを入力すると、[セット] ソフトキーが表示されます。
9. オフセットを現在の電話システムの時刻に適用するには、[セット] ソフトキーを押します。

関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

システムを再起動する

指定した分数の間、電話システムをシャットダウンできます。

指定した時間の間、電話システムは利用できなくなります（デフォルトでは 10 分間）。シャットダウン時間の後は、電話システムが再起動を完了するために、さらに短時間の遅延が発生します。

❗ 重要

- システムをオフにするときは、常にシャットダウンを使用してください。単に電源コードを取り外したり、電源入力をオフにしたりすると、エラーが発生することがあります。

- これは正常なシャットダウンではありません。進行中のユーザーの通話やサービスが停止します。シャットダウンすると、システムを再起動するまでは、システムを使用して通話を発信または受信することはできません。
- シャットダウンのプロセスが完了するまでに、最大で1分かかります。シャットダウン時は、CPU LED およびベースカード LED の 1 と 9（トランクドーターカードが設置されている場合）が赤色で高速点滅します。メモリカード LED は消灯します。システムがこの状態になるまでは、システムから電源を外したり、メモリカードを取り外したりしないでください。
- 無期限にシャットダウンしているときにシステムを再起動する、または指定時刻の再起動前にシステムを再起動するには、システムの電源をオフにしてからもう一度オンにします。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、☎ [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. カーソルキーを使用して、[システムシャットダウン] を選択します。
6. 現在のデフォルトタイムアウト（10 分）設定が表示され、[OK] ソフトキーを押すと使用できるようになります。それ以外の場合は、必要なタイムアウトを時間と分で入力して、[OK] ソフトキーを押します。
 - タイムアウトの許容可能な範囲は **00:00** から **24:00** までです。00:00 のタイムアウトは無限タイムアウト（タイムアウトなし）を示すことにご注意ください。
 - 入力したタイムアウトが許容範囲外である場合は、[OK] ソフトキーが表示されません。
 - 「:」記号を入力するには、」記号を入力するには、[*]（アスタリスク）または [#]（シャープ）キーのいずれかを押します。
 - 直前に入力した数字または文字を削除するには、左方向キーを押します。
7. [OK] を押すと、システムをシャットダウンするかどうかの確認を求められます。確定する場合のみ続行します。確定できない場合は、[戻る] を押します。
8. [確認] ソフトキーを押すと、電話システムはシャットダウンします。


関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

メモリカードの管理

電話システムには、各種の機能に使用する追加のメモリカードを取り付けることができます。メモリカードメニューを使用して、電話システムに取り付けたメモリカードのステータスを確認したり、カードでさまざまなアクションを実行したりできます。

手順

1. [機能] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[機能] を押します。
2. カーソルキーを使用して、[電話ユーザー] を選択します。
3. カーソルキーを使用して、[システム管理] を選択します。
 - このオプションは、システム管理者により、ユーザーがシステム電話ユーザーとして設定されている場合のみ表示されます。
4. セキュリティ暗証番号（ログインコード）を入力して、[クリプトモード] を押します。
5. 上/下方向キーで、[メモリカード] (IP500/IP500 V2) または [ファイルシステム] (Server Edition) オプションまで表示をスクロールします。表示されるオプションは、電話システムのタイプによって異なります。
6. メニューに、システムのメモリカードに関する現在の状態と、カードで実行できるアクションが一覧表示されます。
7. 表示される各メモリカードのステータスは、[カード無]、[稼動中]、[停止中] のいずれかです。エントリは、サポートされるカードのタイプにのみ表示されます。
 - [CF] - これは、IP500 システムへの取り付けが可能なオプションのコンパクトフラッシュカードを指します。
 - [システム] - これは、IP500 V2 システムへの取り付けが必要な最初の SD メモリカードを指します。
 - [オプション] - これは、IP500 V2 システムへの取り付けが可能な第 2 オプションの SD メモリカードを指します。
8. メモリカードで実行できるアクションは、カードのステータス下に表示されます。使用できるアクションは、カードのタイプとその現在のステータスによって決定します。アクションを選択してから、アクションを実行するカードを選択し、[確認] ソフトキーを押してアクションを開始します。
 - [シャットダウン] (IP500 V2) - このオプションは、[稼動中] カードが表示されているときに使用できます。これによって、カードを非アクティブにすることができます。
 - [スタートアップ] - このオプションは、[停止中] カードが表示されているときに使用できます。これによって、もう一度カードをアクティブにすることができます。
 - [システムバックアップ] (IP500 V2/Server Edition) - このオプションは、[システム] のカードが存在し、アクティブになっているときに使用できます。これによって、電話システムの現在の構成設定をメモリカードのバックアップファイルにコピーできます。

- [システムの復元] – このオプションは、[システム] カードが表示され、アクティブになっているときに使用できます。これによって、電話システムの現在の構成設定をメモリカードのバックアップファイルにコピーできます。
- [アップグレードセッテ] (IP500 V2) – [オプション] カードの設定ファイルを、システムコントロールユニットの [システム] カードにコピーします。
- [アップグレードバイナリ] (IP500 V2) – [オプション] カードのソフトウェアファイルを、システムコントロールユニットの [システム] カードにコピーします。
- [コピー] (IP500 V2) – このオプションは、[システム] と [オプション] の両方のカードがアクティブになっているシステムで使用できます。これによって、[システム] カードの内容を [オプション] カードにコピーします。

関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

システムアラームのレポート

復旧が成功すると **S** 電話のステータスを示す文字の **S** はシステムアラームを示します。システム電話ユーザーとして設定されている場合にこのアラームが発生します。

アラームの詳細は電話機の [ステータス] メニューにも表示されます。これを使用して、システム管理者またはシステム保守管理者に問題を報告できます。アラームはシステムの種類によって異なります。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. アラームメッセージのテキストまでスクロールします。
 - 表示されたら、[管理者] を押してその他の情報を確認します。
 - 表示されたら、[クリア] を押してアラームをクリアします。

関連リンク

[システム管理](#) (148 ページ)

第 30 章: ステータスメニュー

[ステータス] メニューは常に表示されるとは限りません。特定のコールルーティング機能をアクティブにしている場合にのみ表示されます。例えば、"応答不可" がオンに切り替えられている場合です。

システム管理者がユーザーに、ハントグループメンバーシップのステータスを変更したり、ハントグループのサービスステータスを変更したりする権利を付与している場合も表示されます。

関連リンク


- [応答不可](#) (155 ページ)
- [リダイレクト](#) (156 ページ)
- [フォロミ](#) (156 ページ)
- [話中転送](#) (156 ページ)
- [不応答転送](#) (157 ページ)
- [無条件転送](#) (158 ページ)
- [転送先](#) (158 ページ)
- [グループメンバーシップ](#) (159 ページ)
- [グループステータス](#) (159 ページ)
- [モバイルツイニングをオフに切り替える](#) (160 ページ)
- [パケチュウノコール](#) (160 ページ)
- [システムアラーム](#) (161 ページ)

応答不可

[ステータス] メニューを使用して、[応答不可] をオフに切り替えることができます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

- [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
- カーソルキーを使用して、[応答不可] を選択します。
- [応答不可] 設定をクリアするには、[オフ] ソフトキーを押します。


関連リンク

- [ステータスメニュー](#) (155 ページ)

リダイレクト

通話の [リダイレクト] 転送先を設定している場合は、電話の [ステータス] メニューからこの設定をクリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[リダイレクト] を強調表示します。
 - [フォロミー転送先] 設定をクリアするには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - この設定の転送先を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。


関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

フォロミー

他のユーザーが、お使いの電話機に「フォロミー」機能を設定している場合は、[ステータス] メニューからこの設定をクリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[フォロミー] を強調表示します。
 - 設定をクリアするには、[クリア] ソフトキーを押します。
 - この設定の転送先を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。

関連リンク


[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

話中転送

電話に [話中転送] が設定されている場合、その転送設定は [ステータス] メニューからクリアまたは変更できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[不応答転送] を選択します。
3. 転送をオフにするには、[オフ] を押します。
4. 設定を変更するには、[詳細設定] を押します。
 - 「話中転送」のオン/オフを切り替えるには、[話中不在転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 「無応答転送」のオン/オフを切り替えるには、[不応答転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 転送する通話の種類を選択するには、[通話タイプ] を強調表示します。[変更] を押して、オプションの [すべての通話] または [外線通話のみ] を切り替えます。
 - 転送先を変更するには、[転送先] を強調表示して [編集] を押します。番号を入力して [選択] を押します。
 - [保存] を押して変更を保存します。

関連リンク


[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

不応答転送

電話に [無応答転送] が設定されている場合、その転送設定は [ステータス] メニューからクリアまたは変更できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[不応答転送] を選択します。
3. 転送をオフにするには、[オフ] を押します。
4. 設定を変更するには、[詳細設定] を押します。
 - 「話中転送」のオン/オフを切り替えるには、[話中不在転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 「無応答転送」のオン/オフを切り替えるには、[不応答転送] を強調表示して [オン] または [オフ] を押します。
 - 転送する通話の種類を選択するには、[通話タイプ] を強調表示します。[変更] を押して、オプションの [すべての通話] または [外線通話のみ] を切り替えます。

- 転送先を変更するには、[転送先] を強調表示して [編集] を押します。番号を入力して [選択] を押します。
- [保存] を押して変更を保存します。


関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

無条件転送

[無条件転送] 設定は、[ステータス] メニューから、クリアまたは変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. カーソルキーを使用して、[無条件転送] を選択します。
 - 無条件転送をオフにするときは、[オフ] ソフトキーを押します。
 - 転送設定を変更するときは、[詳細設定] ソフトキーを押します。
3. [保存] の順に押します。


関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

転送先

このオプションを使用して、自分宛に現在通話を転送しているユーザーの名前を表示できます。これには、「無条件転送」、「不応答転送」、「話中転送」が含まれます。ユーザーごとに個別のエントリが表示されます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[テンツウサキリ] を強調表示します。

関連リンク


[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

グループメンバーシップ

システム管理者は、[ステータス]メニューからグループのメンバーシップを有効化/無効化する許可をユーザーに付与できます。グループのメンバーシップが無効になると、そのグループのグループ通話は受信されません。

- システム管理者は、ユーザーがグループの [メンバーシップ]、[状態]、[フォールバック] オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、ハントグループ名と現在のメンバーシップステータスを強調表示します。
3. [有効化済] または [無効化済み] ソフトキーを押して、そのグループのメンバーシップステータスを変更します。
4. [終了] を押します。


関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

グループステータス

システム管理者から許可を受けている場合、[ステータス]メニューからグループのサービス状態を変更できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、ハントグループ名と現在のメンバーシップステータスを強調表示します。
3. 次のソフトキーを使用して必要な状態を選択します。
 - [稼働中] (稼働中) - グループは通常通りに作業し、通話を応答可能なグループメンバーに配信します。
 - [NS] (夜間サービス) - グループは [夜間サービス] モードになっています。通話は、夜間サービスのフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール (利用可能な場合) にリダイレクトされます。また、電話システムでは時間プロフィールを使用して、ハントグループの夜間サービスを自動的に開始・終了できます。

- [キューチャウ] (サービス休止中) - グループはサービス休止中です。通話は、サービス休止中のフォールバック転送先が設定されている場合はそこに、それ以外の場合はボイスメール (利用可能な場合) にリダイレクトされます。自分がメンバーであるグループの一つが休止中であるとき、電話には **○** と表示されます。
- [TP] (時間プロファイル) - この設定は、グループのステータスが電話システムの時間プロファイルによって制御されていることを示します。グループが稼働中で夜間サービスになっている時、その時間プロフィールが設定されます。これを上書きして、グループを [休止中] 状態に入れることができます。その後、必要に応じて、電話を使用してグループを時間プロフィール制御に戻すことができます。


関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

モバイルツイニングをオフに切り替える

携帯電話ツイニングのユーザーとして設定された場合は、[ステータス] メニューを使用して携帯電話ツイニングモードをオフに切り替えられます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. 上/下方向キーで、[モバイルツイニング] を強調表示します。
 - 設定をクリアするには、[オフ] ソフトキーを押します。
 - ツイニングメニューにアクセスするには、[詳細設定] を押します。

関連リンク


[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

パークチュウノコール

パーク保留コールが電話システムにパークされ、他のユーザーがパーク解除できるときは、そのパーク保留コールの通知が特定の内線番号に送信されます。自分の電話に通話がパーク保留されている場合は、[ステータス] メニューから通話を表示し、パークを解除できます。

- システム管理者は、ユーザーがこのメニューにアクセスできるかどうかを設定できます。

手順

1. [ステータス] ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。
 - 通話中にこの操作を実行するには、 [PHONE] キーを押してから、[ステータス] ソフトキーを押します。
2. パーク保留コールがある場合は [パーク] オプションが表示されます。内線番号に通話がパーク保留されていない場合、オプションは表示されません。

3. [詳細設定] ソフトキーを押します。
4. カーソルキーで、パーク通話をスクロールします。
5. 特定の通話をパーク解除するには、通話を強調表示して [接続] ソフトキーを押します。

関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

システムアラーム

復旧が成功すると **S** 電話のステータスを示す文字の **S** はシステムアラームを示します。システム電話ユーザーとして設定されている場合にこのアラームが発生します。

アラームの詳細は電話機の [ステータス] メニューにも表示されます。これを使用して、システム管理者またはシステム保守管理者に問題を報告できます。アラームはシステムの種類によって異なります。

手順

1. **A** ボタンを押します。
2. アラームメッセージのテキストまでスクロールします。
 - 表示されたら、[管理者] を押してその他の情報を確認します。
 - 表示されたら、[クリア] を押してアラームをクリアします。

関連リンク

[ステータスメニュー](#) (155 ページ)

第 31 章: メニュー

このセクションでは、電話機に表示されるメニューの概要について説明します。これらは一般的な表示です。メニューオプションは、電話のファームウェアのバージョンと電話システムの設定によって異なります。

システム管理者も利用可能なメニューオプションを制限することができます。

関連リンク

[ステータスメニュー](#) (162 ページ)

[機能メニュー](#) (162 ページ)

[A Menu](#) (163 ページ)

[メニューアクセス制御](#) (163 ページ)

ステータスメニュー

このメニューは、[ステータス] ソフトキーが表示されているときに、そのキーを押してアクセスします。表示される機能は、現在有効化されているオプションによって異なります。「[ステータスメニュー](#) (155 ページ)」を参照してください。

Mobile Twinning	On
Parks...	
Follow Me To	On
Do Not Disturb	On
Forward Unconditional	On
Forward on No Answer	On
Forward on Busy	On
Follow Me Here...	
Forward Here...	
Main	Enabled
Main	In Service

関連リンク

[メニュー](#) (162 ページ)

機能メニュー

このメニューは、[機能] ソフトキーを押してアクセスします。

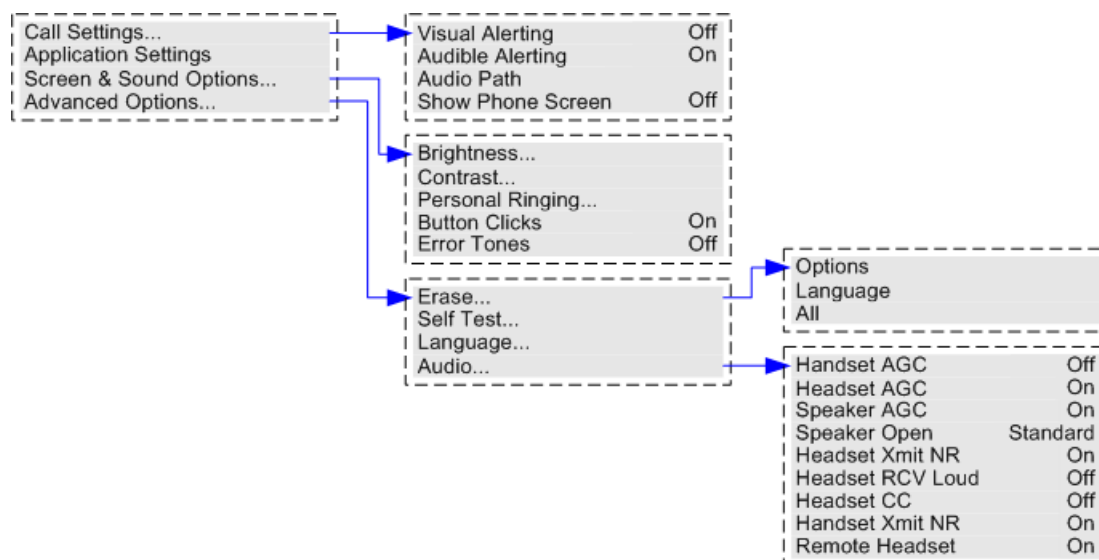
関連リンク

[メニュー](#) (162 ページ)

A Menu

このメニューは、電話システムに保存される設定ではなく、主に電話機に保存される電話機固有の設定に使用されます。

このメニューは、**A** キーを押してアクセスします。利用できるオプションは、電話機のモデルによって異なりますのでご注意ください。



関連リンク

[メニュー](#) (162 ページ)

メニューアクセス制御

一部のメニューオプションは動的で、適切な場合にのみ表示されます。例えば、[機能] メニューは電話がロックされているときにアクセスできません。

他のメニューオプションへのアクセスは、システム管理者が制御します。

- すべてのユーザーに適用されるシステム全体のルールを設定できます。また、ユーザーごとに特定の規則を個別に設定することもできます。
- ユーザーがオプションへのアクセスを制限されている場合でも、ユーザー管理者はそのオプションをユーザーに適用できます。例えば、システム管理者はユーザーに不在転送設定を設定できます。
- メニューアクセスを制限しても、利用可能な短縮コードとプログラム可能ボタンを使用するアクセスは制限されないことにご注意ください。ただし、システム管理者がこれらの削除や追加を実行できます。

システム管理者は、ユーザーによる次の機能群へのアクセスを制御できます。

- **基本の通話機能** - コールピックアップ、パーク、パーク解除、携帯電話への転送といった各機能に関する電話機のメニューオプションに、ユーザーがアクセスできるかどうかを制御します。

- **高度な通話機能** - 応答不可、アカウントコード、番号の非公開、内部自動応答といった各機能に関する電話機のメニューオプションに、ユーザーがアクセスできるかどうかを制御します。また、アカウントコードメニューは、システムがアカウントコードで設定されている場合にのみ表示されます。
- **転送機能** - 転送およびフォローミー機能に関する電話機のメニューオプションに、ユーザーがアクセスできるかどうかを制御します。
- **ホットデスク機能** - ログインとログアウトに関するメニューオプションに、ユーザーがアクセスできるかどうかを制御します。
- **パスコードの変更** - ユーザーが自分のログインコード（セキュリティ資格情報）を変更できるかどうかを制御します。
- **電話のロック** - 電話機をロックしたり、自動的にロックするよう設定したりするためのメニューオプションに、ユーザーがアクセスできるかどうかを制御します。
- **個人管理** - ユーザーが [ログイン] メニューにアクセスできるかどうかを制御します。
- **ボイスメールコントロール** - ユーザーが電話機の [機能] メニューから [ボイスメール] オプションにアクセスできるかどうかを制御します。システム管理者は、ビジュアルボイスメニューにアクセスして、[メッセージ] ボタンを無効にすることもできます。
- **グループコントロール** - システム管理者は、ユーザーがグループのメンバーシップ、状態、フォールバックの各オプションにアクセスできるかどうかを設定できます。ユーザーがどのグループにも設定されていない場合、[グループ] メニューは表示されません。
- **モビリティコントロール** - [モバイルツイニング] オプションは、ユーザーにモバイルツイニングの使用が設定されている場合にのみ表示されます。
- **システム管理コントロール** - [システム管理] オプションは、ユーザーが「システム電話」のユーザーとして設定されている場合にのみ表示されます。

関連リンク

[メニュー](#) (162 ページ)

第 32 章: テキスト文字を入力する

テキスト入力の方法は、機能のタイプによって異なります。

関連リンク

[電話帳検索の文字を入力する](#) (165 ページ)

[追加のアクセント付き文字を入力する](#) (165 ページ)

[その他の機能で文字を入力する](#) (166 ページ)

電話帳検索の文字を入力する

電話帳を検索すると、一致する名前が次のように表示されます。

- キーを押すと、そのキーが表すすべての文字が照合されます。例については、「[電話帳検索の仕組み](#) (78 ページ)」を参照してください。
 - **5** をダイヤルすると **J**、**K**、**L** で始まるすべての名前が照合されます。名前のすべての部分に対して照合がかけられます。
 - 別のキーを押すと、そのキーの文字が追加されます。例えば、**2** を入力すると、**JA** および **KA** など始まるすべての名前が同時に一致します。
 - 別のキーを押すと、そのキーの文字が追加されます。例えば、**7** をダイヤルすると、**JAS** ("Jason" など) および **KAR** ("Karl" など) など始まるすべての名前が同時に一致します。
- その時点までに入力したすべての文字を削除するには、[クリア] を押します。

関連リンク

[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)

追加のアクセント付き文字を入力する

追加のアクセント付き文字をダイヤルする

電話番号パッドのキーを使用すると、ボタンにマークされていない文字を入力できます。

例えば、[2] キーは **ABC** とのみ表記されていますが、これらの文字のアクセント付き形式 (**À**、**Á**、**Â**、**Ã**、**Ä**、**Å**、**Ç** など) と一致します。一致する追加の未表記文字は、システムの言語設定により異なります。

関連リンク

[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)

その他の機能で文字を入力する

- 必要な文字が表示されるまで、ボタンを押し続けて文字を選択します。発生するイベント：
 - 別のボタンを押すとその文字が入力され、新たに選択したボタンの次の文字の入力に進みます。
 - ボタンを押してから 2 秒以上停止すると、現在の文字も入力され、次の文字の入力に進みます。
- テキスト入力モードを選択できます。現在のモードは、ソフトキーのラベルによって次のように表示されます。ソフトキーを押すと、テキスト入力が次のモードに切り替わりません。
 - [abc] - 小文字。
 - [ABC] - 大文字。
 - [Abc] - 先頭が大文字。
 - [123] - 数字のみのモード。
 - [Hex] - 16 進数のみのモード。
- 左/右方向キーを使用して、カーソルを移動します。
- カーソルの前の文字を削除するには、[Bksp[°]-s] を押します。

関連リンク

[テキスト文字を入力する](#) (165 ページ)

索引

A

自動ゲイン制御	134
スピーカー	108
ヘッドセット	105

E

En-Bloc ダイヤル	30
--------------------	----

O

OK ボタン	14
one-X Portal	12

P

PIN コード	
メールボックス	98
ログイン	113

あ

あいさつ	96
アイドル回線設定	20
アイドル表示タイマー	131
アカウントコード	102
強制済み	102
手動	103
ボタン	138
明るさ	127
アクセント付き文字	165
アナログ電話	12
アピアランスボタン	21, 22
回線アピアランス	20
回線ブリッジ	20
コールアピアランス	20
コールカバレッジ	20
アラート中	124
オフ	124
音量	126
が ^レ ッヅ ^ク 着信音	125
自動応答	126
着信ランプ表示	124
アラームトーン	125

い

一時リダイレクト	68
一列表示	128

う

ウェブコラボレーション	12
-------------------	----

え

エラートーン	133
--------------	-----

お

応答	33
コールピックアップ	36
切断	35
通話に応答する	36
コール	33
ページ	36
別の通話に応答する	34
ボイスメールに送信	34
応答不可	57, 65
警告	66
短縮コード	67
ボタン	142
置換	
機能ボタン	136
プログラム可能ボタン	136
ボタンボタン	136
音声プロンプト	100
オンフックダイヤル	30
音量	132
スピーカー	108, 134
コール	31
ハンズフリー	108
ハンドセット	133
ヘッドセット	105, 134
着信音	126, 133

か

会議	51
会議用電話機	107
通話者のド ^ロ ップ	54
参加者のミュート	54
自分から切断する	54
終了	54
詳細設定	53
短縮コード	56
ボタン	140
保留	44, 54
会議の詳細を表示する	53
回線アピアランス	20, 22
回線設定	20
回線ブリッジ	20, 21
が ^レ ッヅ ^ク 着信音	125
画面	127
アイドル時間	131
明るさ	127
言語	130
コールタイマー	129

索引

画面 (続き)			
コントラスト	128	コードをダイヤルする (続き)	
自動復帰	131	転送中	63
通話時間	129	ボイスメール	99
列	128	ログイン	116
き		コールアピランス	20, 21
キー	14	コールカバレッジ	20, 22
ソフトキー	15	[コールパーク] ボタン	139
機能ボタン	16, 136	コールバック通話	25
機能メニュー	162	コールピックアップ	36
キーのブッシュ音	132	[コールピックアップ] ボタン	140
		[任意のコールピックアップ] ボタン	140
		コンテキスト対応	
		会議	55
		コントラスト	128
く		さ	
クイックリファレンスガイド	12	音声	132
グループ	117	削除	
ステータス	119	コール ログ	90
短縮コード	122	連絡先	85
ナイトサービス	119	通話履歴から	90
フォールバック	119	し	
不在着信	87	時間	
ページ	29	コールタイマー	129
ボタン	141	前回の通話時間	129
メンバーシップ	117	システム管理	148
		システムディレクトリ	77
		自動応答	126
け		ボタン	138
警告	66	自動復帰	
携帯内線	72	表示	131
言語	130	自動ロック	115
検索	165	消去	
ディレクトリ	78	コール ログ	90
		詳細設定	
		通話の詳細	89
		通話時間	129
		新しい	
		連絡先	83
		通話履歴から連絡する	84, 91
		す	
こ		スタンド	13
コール ログ	87	ステータス	18
すべて削除	90	アイコン	18
通話の削除	90	ステータスメニュー	155
発信する	88	話中	29
電話をかける	27	メニュー	162
リダイヤル	39	英字	18
連絡先に追加する	91	スピーカー	107
個人管理	12	音量	108
[個人管理] ボタン	141	自動ゲイン制御	108, 134
個人用連絡先です。	77	デフォルト	108
コード		デフォルトハンズフリー音声パス	135
セキュリティ暗証番号	113		
メールボックス	98		
ログイン	113		
コードをダイヤルする	145		
応答不可	67		
会議	56		
グループ	122		
コールピックアップ	37		
停止	47		
フォローミー	70		

せ

制限	
メニューアクセス	163
セキュリティ暗証番号	113
メールボックス	98
切断	35
会議からの	54
会議からの参加者	54
コール	32
ボタン	140
セルラー	72
前回の通話時間を表示	129

そ

ソフトキー	14, 15
-------	--------

た

待機通話の自動表示	130
タイマーボタン	142
発信中	
テキスト	165
ダブルビープ音	44
短縮コード	145
応答不可	67
会議	56
グループ	122
コールピックアップ	37
停止	47
フォローミー	70
転送中	63
ボイスメール	99
ログイン	116
短縮ダイヤルボタン	138

ち

ラストナンバリダイヤル	39
-------------	----

つ

追加	
機能ボタン	136
連絡先	83
通話履歴から連絡する	84, 91
プログラム可能ボタン	136
ボタンボタン	136
追加の通話	26
応答	34
ツイング	57, 72
番号	73
ボタン	142
ツイング通話の呼び戻し	74
ツイン	
通話の呼び戻し	74
転送先	43, 74

コール	25
応答	33
会議	51
コール ログ	87
時間の表示	129
End	32
詳細の表示	89
切断	35
待機通話の表示	130
タイマー表示	129
追加の通話	26
コールの詳細	89
ディレクトリから	82
次へ	59
停止	47
通話の発信	25
話中	29
不応答	35
不在着信	87
ブロードキャスト	29
ページ	29
ボイスメールに送信	34
保留	44, 45
保留解除	45
ミュート	32
再発信	28, 40
リダイヤル	28, 39, 40
履歴	87
通話なし	57, 65
警告	66
通話の終了	32
通話のブロック	65
通話のリダイレクト	57, 59

て

ディスプレイキー	15
ディレクトリ	77
検索	78, 165
追加	83
通話履歴から追加する	84
発信	82
コール発信元	26
編集	85
テキスト	
アクセント付き文字	165
テキストの入力	165
既定のオーディオパス	105, 108, 135
メールアドレス	
ボイスメール電子メール	96
転送	41, 57, 59
ボイスメールへ	41, 99
保留中通話	42, 46
携帯	43
モバイルツイング宛	74
次へ	57, 59
短縮コード	63
ボタン	139

索引

電話機	
言語	130
自動ロック	115
ロックする	114
解除	114
電話	
自動ロック	115
ロックする	114
解除	114
電話スタンド	13
電話帳	77
電話番号	77

と

発信音	
エラー音	133
キーのプッシュ音	132
ダブルビープ音	44

な

内線番号	
2だいしようする	72
内線番号を共有する	68
ナイトサービスグループ	119
ナイトサービスグループ	126
内部ツイニング	57, 72
名前	
ボイスメール	97

に

二列表示	128
------	-----

は

停止	47
短縮コード	47
パーク保留して呼出	49
ボタン	139
アンパーク	47
[パーク保留して呼出] ボタン	141
パスワード	
メールボックス	98
ログイン	113
通話の発信	25
En-Bloc ダイヤル	30
オンフックダイヤル	30
音量	31
追加の通話	26
通話履歴から	27, 88
ディレクトリから	82
ブロードキャスト	29
ページコール	29
再発信	28, 40
リダイヤル	28, 39, 40
連絡先から選択	26

話中	29
不在転送	59
番号の非通知	31
番号非通知	31
ハンズフリー	107
オーディオパス	135
音量	108
スピーカーのデフォルト	108
デフォルト	105
ハントグループ	117
ステータス	119
短縮コード	122
ナイトサービス	119
フォールバック	119
ボタン	141
メンバーシップ	117
ハンドセット	
自動ゲイン制御	134

ひ

ピックアップ	36
[任意のピックアップ] ボタン	140
[ピックアップ] ボタン	140
非表示入力発信ボタン	142
表示	18, 127
アイドル時間	131
明るさ	127
言語	130
コールタイマー	129
コントラスト	128
自動復帰	131
ソフトキー	15
待機通話	130
通話時間	129
列	128

ふ

応答なし	
不在転送	59
不応答	35
フォールバック	
グループ	119
ツイニング	57, 72
フォローミー	57, 68
短縮コード	70
不在着信	87
グループコール	87
不在用テキストボタン	138
フラッシュフックボタン	140
プログラム可能ボタン	16, 136
ブロードキャスト	29
応答	36
ページボタン	141
プロンプト	100

へ

ページ	
応答	36
パーク保留して呼出	49
ページコールを発信する	29
ボタン	141
ヘッドセット	104
音量	105
自動ゲイン制御	105, 134
デフォルト	105
デフォルトハンズフリー音声パス	135
変更	
機能ボタン	136
プログラム可能ボタン	136
ボタンボタン	136
コンタクト	85
編集	
機能ボタン	136
連絡先	85
プログラム可能ボタン	136
ボタンボタン	136
コンタクト	85

ほ

ホイスメール	94
ボイスメール	93
あいさつ	96
コード	98
短縮コード	99
通話をボイスメールに送信する	34
転送	41
転送先	59, 99
名前	97
ホイスメール	94
ボイスメール電子メール	96
ボイスメールガイド	100
方向キー	14
ボタン	
アカウントコード	138
応答不可	142
会議	140
グループ	141
ゴソソカリ	141
コールパーク	139
コールピックアップ	140
自動応答	138
切断	140
タイマー	142
短縮ダイヤル	138
着信音オフ	141
ツイング	142
次へ	139
ツイツツツツ	140
任意のピックアップ	140
停止	139
パーク保留して呼出	141
ハントグループ	141

ボタン (続き)

ピックアップ	140
非表示入力発信	142
不在用リスト	138
リック	132
フラッシュフック	140
ブロードキャスト	141
ページ	141
モバイルツイング	142
ユーザー	143
再発信	140
離席	142
ボタンボタン	14, 136
機能ボタン	16
プログラム可能ボタン	16
保留	44, 45
会議	44, 54
転送	42, 46
転送ペンディング	55
パークとの比較	47
保留音	44
保留解除	45
ツイング通話	74
保留中通話	45

み

ミュート	32
会議参加者	54
ミュート解除	32

め

メッセージ	93
ホイスメール	94
A Menu	163
メニュー	162
アクセス	163
機能	162
ステータス	155, 162
A Menu	163
メールボックス	93
あいさつ	96
コード	98
短縮コード	99
転送先	99
名前	97
メールボックスガイド	100

も

携帯

ツイング	72
通話の呼び戻し	74
転送先	43, 74
番号	73
モバイルツイング	57
モバイルツイングボタン	142

ゆ

ユーザーガイド	12
ユーザーボタン	143

よ

着信音	124
オフ	124
音量	126
か ^レ レ ^ッ 着信音	125
自動応答	126
[着信音オフ] ボタン	141
着信ランプ表示	124
サイレンス	35
呼び出し回線設定	20

り

再発信	27 , 28 , 40
ボタン	140
離席	57 , 59
ボタン	142
リダイヤル	27 , 28 , 39 , 40
リダイヤルモード	40
履歴	87
リダイヤル	39

れ

列	128
コンタクト	77 , 165
検索	78
削除	85
追加	83
通話履歴から追加する	84
発信	82
コール発信元	26
編集	85

ろ

ログ	87
ログアウト	110
ログイン	110
短縮コード	116
ログインコード	113
ロックする	110 , 114
自動ロック	115
解除	110 , 114